滿洲日報
（明治四十八年十二月十五日第三種郵便物認可）
十月十四日發行
發行人 松本豊三　編輯人 木村武盛
大連市東公園町三十一番地 滿洲日報社

聯盟に提出と同時に意見書を中外に公表
わが正當な立場を强調

【東京十四日發】リツトン報告書に對するわが意見書の發表時期については關係當局の間で協議されてゐるが同意見は松岡代表が二十一日東京發ジユネーヴに攜行する豫定、又聯盟理事會は十一月十四日より開會されるので、これ等の關係を考慮した上それ以前 我が正當なる立場を世界に十分認識せしむる必要上、松岡代表より聯盟に提出、同時に全文を發表する外、それ以前出來るだけ速かに意見書の要領を發表する事についても考慮してゐる

我意見書の重點

【東京十四日發】リツトン報告書に對する意見書起草に關する外務、陸海軍聯合協議會は十三日午後七時より外務次官々舍に第二回會議を開催、外務省側谷亞細亞局長、守島亞細亞第一、三浦同第二、柳井同第三各課長、陸軍省側山下軍事課長、本間新聞班長の外軍事課員原中佐、參謀本部側松本歐米、酒井支那兩課長、武藤第四班長、海軍側寺島軍務局長、島田軍令部第三班長、鹽澤軍事普及委員長等參集第一回協議會決定事項に基き外務省で起草案を基礎とし協議の結果、意見書は略完成を見、更に細部の點檢修正を加へ各省持寄最後決定をなし閣議の承認を求めた上、松岡代表が二十一日東京發ジユネーヴに攜行する筈であるが、略完成した意見書原案は邦文大型罫紙百頁內外でその內容は 報告書を辯駁するといふ程度に止らず 大局から攻勢、防禦兩樣の準備が出來てゐる、卽ち報告書の認識不足に對しては親切丁寧に之を啓發し、事件觀察に對して正當な認識を與へ、報告書の誤れる事項は徹細に亘り辯駁が附されてゐる意見書は左の點に重點を置く

一、滿洲事變勃發に導きたる根本問題たる支那の實態を正當に靜視せしめる

一、滿洲國成立の眞相を鮮明にする

一、日本帝國陸軍の行動は至當にして且つ當時執つた唯一の手段であつた事を明瞭にする

支那各地に內亂頻發
非統一國家を世界に明示

【南京十三日發】福建省の第十九路軍は陳國輝の自殺問題を動機として省防軍との軋轢益々惡化し省防軍殘部隊一萬五千と早晚一戰を免れぬ形勢となつた、斯くて支那は中央政府の威信全く地を拂ひ各地に內亂續發するに至り自ら統一國家ならざるを世界に示すに至つた

汪精衞本月末外遊
第四次全體會議を前にして
支那政局は一大轉換

【上海十三日發】純理的對日强硬論を唱へ學良追出まで企て蔣介石と抗爭した汪精衞も最近周圍の空氣益々自己に不利となり蔣介石の獨裁に加ふるに藍衣社の策謀等表面化し來り如何ともし難きを悟り表面病氣を理由に近く外遊するに決し、本月末頃當地から歐洲行便船に乘る模樣である、汪は又最近側近者に對し「余は最近の支那を救ひ得る器に非ず」と嘆聲を洩らしたといはれ汪の外遊後は當然介石の獨裁色彩益々增加するものと見られ第四次全體會議を前に支那の政局は一大轉換を期待さるゝに至つた

聯盟事務總長更迭決定

【ジユネーヴ十三日發】聯盟創立以來事務總長として聯盟のため活躍を續けてゐたドラモンド氏は愈々辭職が承認されたので、その後任には現事務副總長アブノール氏（フランス人）が昇任する事に本日正式に決定した

滿鐵の意見書送達

リツトン報告書を辯駁すべき滿鐵の意見書は豫定のごとく十四日午前六時五十分周水子發飛行機にて渡邊調査課員が攜へて東上した

齋藤首相歸京

【東京十四日發】齋藤首相は鄕里水澤の墓參並に仙臺における自力更生講演を濟ませ十四日午前六時五十分上野驛着で夫人同伴歸京直に私邸に入つた

貴院議員團

井上匡四郞氏一行の貴族院議員滿洲視察團は北滿視察を終つて十三日午後十時半來奉した【奉天電話】

けふ海路渡日の承認答禮使（うらる丸にて）

★★★★★★★

聯盟最惡の場合の我海軍の方策
（7）海軍大佐 中村重一氏講演

★★★★★★★

七日協和會館において開催した「講演と映畫の夕」に軍艦春日の中村重一大佐の藝ぜる「來る國際聯盟總會において最惡の場合（想像する）我海軍の方策」と題する講演要旨は左の如くである（文責在記者）

次にはこの經濟封鎖といふことについて一言申上げたいと思ひます國際聯盟の理事會で最惡なる場合云々といふことになりますと、經濟封鎖とか何とかいふ事が皆さんの頭にお浮びになると思ひますが之は却々難しい問題でありますが殊に政治的方面に關することが非常に多いと思ひます、私は此處に居られる皆さんの內御承知の方々が澤山居られると思ひますがアメリカの通信記者ブロンソン、リーこの人が去る六月の上海のファーイースタンレビユーといふ雜誌に「國際聯盟の對日ボイコットの成否は日本海軍の實力如何にある」といふ見出しを以て載せた記事がありますからしてそれで凡そ御諒解になることゝ思ひます、之を茲に御紹介申上げます、リー氏はかういつて居ります

若し世界の識者が日本の實力を見縊つて日本が原料に缺乏して居るさいふことを餘りに過信してボイコットをやつたら日本は逢に旗を捲いて閉口して了ふだらうさいふことを呑氣に考へて居る手合が居るが、そんな事をしたら最後世界の平和は忽ちに攪亂せられ人類は再び不測な大破壞の巷に捲込まれて了ふだらう、又强力なる海軍を持つて居る日本が苟くも制海權を維持して居る以上は、滿洲及び支那本土の市場及び原料品は日本の獨占下に陷つて了ふであらう、蓋し列國側が日本をボイコットして之を封鎖しやうとしたならば日本の海軍は默つては居らないだらう、日本はこの强力なる海軍を利用して列國の對支貿易に對して妨害を加へるだらう、從つて地位を顚倒してこのボイコットをした列國の方で却つて東洋貿易上にボイコットせられる結果になつて了ふだらう要するにボイコットによつて日本を降參させ得るか否かさいふ問題は日本の制海權が破壞されるか否かの問題にかゝつて居る、日本の海軍が無事で居る以上その能率高き陸軍は支那を威壓するに充分である、支那の市場も相當に確保して置くことが出來ないから日本は金融的閉口することがない、アメリカが若し……

承認答禮專使
けふ海路友邦日本へ
歡喜を面上に湛えて

滿洲國の承認、三千萬民衆はこの歡喜溢れると共に光榮ある滿洲國承認答禮專使として遙々友邦日本に外交部總長謝介石氏を送る事となり、專使並に隨員の一行は瀰儀執政の

親書捧呈 の重大な任務を負はされ、十三日夜來連、明けて十四日出帆うらる丸で輝かしい船出の途についた、水上署の嚴重な取締りのうちた專使の一行は午前九時半待合所貴賓室に入る、希望に燃え新興のよろこびに專使をはじめ隨員一同の誇らしげな顏貌、一歩每に力强く大地を踏んで堂々たる鹿島立だ、これより先滿鐵よりは林總裁、八田副總裁がこの榮ある專使に送辭を述べに來る、山西、村上、竹中、山崎各理事その他關東廳關係、滿洲國側の盛んな見送り裡に定刻十五分前、宮野鼻うらる丸船長の案內で同船サロンに入る、ついで謝專使は

大陸を離 れるにのぞみ左の如く記者團に語つた

最後に一言お話します、今度の仕事は大任務で一日も早く東京に着いて謹んで任務の完成を祈つてゐます、いづれにしても誠心誠意使命の遂行に對し萬全の注意と努力を拂ひます、往復二週間、自分にとつては三度目の渡日ですが今度程大きな輝かしい任務を負はされたのは初めてゞす、私はじめ隨員一同も齋戒沐浴して滿洲國より選ばれた光榮に對し努力します

かくて定刻、うらる丸はその巨艦を岸壁からゆらりと離れたが甲板上榮光に惠まれた專使の一行は何時迄も見送り多數官民に別れを惜み秋雨のうちを滿を蹴り堂々と渡日の途に就いた、尙滿洲國承認答禮專使並に隨員左の如し

專使謝介石氏、隨員、外交部秘書官葉堯公、同勝田重直、同岡野誠治、同事務官呂宜文、同姚任、同顧問官徹嵐、協和會理事張格、財政部事務官楊培、交通部事務官王宗普、興安南分署秘書官克興阿、吉林省事務官單鎭濤、奉天省總務廳科員楊世英黑龍江省總務廳科員張耀先、外交部屬官杜曉歷

因に畏くも聖上に獻上の「宋版の古書」その他數々の贈物を積んで行つた

事業部の機構と擴充する經調會
滿鐵新職制の觀測

新職制の大體の機構は既報のごとくで改正の範圍も狹くかつほゞ豫想された通りであるので社內の動搖も少く發表の時期を待つてゐるしかして新職制の

最大特徵 とされる事業部の體樣については種々臆測が行はれてゐるが、技術局を根幹として新事業を包括する建前は變りがなく、たゞ硫安その他諸新工業は必ずしも事業部にて直接經營するわけでなく、もし內地よりの資本を加へて傍系會社として獨立すれば事業部はその獨立までの管理をなすことゝなるものゝごとくである新職制中において經濟調查會がそのまゝ存置されたことも既報の如くであるが、同會はむしろ擴大充實し、現在の調查課中の一部を合せ、事變前の調查課の事業で

中絕して ゐた滿蒙の根本的調查をさらに續行することゝなるものゝごとくである、總務部は監理部の二課を合せて大きくなるが、他方外事課と調查課は廢されて一部は總務部中に殘り、他は經調中に合流することゝならう、鐵道事部は現在の奉天事務所中の販賣機關その他を合せてこれまた多少擴大するらしく、地方部經理部はほとんど變化なしと見られてゐる

全權部と 打ち合せる筈であるが、若し未決定に終れば總裁旅行中さらに議を練つて歸連後決定する段取りとなるものゝごとくである、從つて豫定通り行けば既報の如く拓務省の認可を得て十一月一日は發表が出來るが、遲れゝば十一月上旬となるべしと豫想されてゐる

滿鐵改制問題の第二回重役會議
あす具體案を附議

滿鐵の職制改正は十日の重役會議で大綱方針が提示されこれに基いて文書課にて各部の課および係の配置および管掌を立案中であつたが十五日第二回の改制問題重役會議を開きさらに

具體案に ついて意見の交換を行ふこととなつた、しかして最初の豫定ではこの第二次會議で最終的決定をなす豫定のごとくであつたが、なほ相當議論の餘地が殘されてゐるのと鐵道部の改革も出來るだけ同時になさんとする氣運が起つて來たので、或は明日は決定を見ずに終るにあらずやともいはれてゐる、しかして若同日決定を見れば十六日來連する大淵理事及び在京中の伍堂、十河理事の意見を徵して本極りとなし、十八日總裁が赴奉の際攜行して……

立候補の屆出けふは四名
市議戰漸やく白熱化

市議政戰には十四日も正午まで石本鏆太郞、中川邦四郞、松浦開地良、千種爲藏の四氏から出馬の屆出があつた中原に鹿を逐ふものこれで三十八名、定員より

五名の超 過となつた石本氏は旅行不在中にて松田清三郞氏が留守師團長格で采配を振り立看板を立てるやら挨拶狀の印刷やらで大車輪の活動を開始し、一面高知縣人會に手を廻し長驅沙河口の防禦線をも突破すべく作戰の計畫中である、新人中川候補は電光石火の勢ひを以て播磨町、近江町、八幡町、二葉町、若狹町を地盤とする鈴木候補の本陣に突貫し松浦……

千種兩新人候補も與へられた滿鐵の協定地盤を死守すべく行動を開始した、市會の大御所……

旗色惡く ……

滿鐵地方施設費
豫算四十五萬圓計上

滿鐵地方部昭和八年度の市街計畫道路、上下水道、築堤等の土地施設關係の事業費は大體四十五萬圓と決定を見たもの、如く近く經理部の承認を得次第具體的事業計畫を立てることになつてゐる、而して明年度のこの種の事業費中主なるものは長春奉天および蘇家屯附屬地の居住者增加に伴ふ必然的な擴張工事で、その他の豫算は何れも七年度に比して二割見當の減額となつてゐるが、前記三事業に次ぐ注目すべきものを擧ぐれば、水道工事で、先づ繼續事業として長春における第四水源地を八年度に完成、その結果給水人口は二萬人の增加となつて現在に比し約一萬人の人口增加までは心配のない狀態となる、水質不良のため井戶掘を要望されてゐる本溪湖の水源地改造も大體五萬圓の豫算で八年度に着手される如く、鐵バクテリヤをなくするための郭家店の井戶掘も同年度に着手に大體決定した、從つて水道工事として殘るものは鞍山のみとなつたが、鞍山は昭和製鋼所の設置が決定を見てから具體案を樹てることになつてゐる、なほ一般道路新設費は勿論改造費の如きは極力八年度においては縮小されることゝなつた

鐵道部の警備委員會

滿鐵々道部鐵道警備定例委員會は十三日午後一時半から鐵道部長室で開かれたが、前回委員會から持越となつてゐた犬釘試驗の結果報告があり、山領委員の說明で大體理想的改良犬釘一種を決定、次いで裝甲モーターカーの改造を可決し、最後に從來列車進行中に機關士から車掌への信號は不可能であるが車掌から機關士への通信方法について研究を遂げ、午後五時すぎ散會した

人事

▲佐藤應次郞氏（滿鐵々道部次長）同日午前十時出帆うらる丸にて神戶へ
▲植村東彥氏（陸軍省兵器局長陸軍少將）同上
▲山本穆氏（砲兵中佐）同上
▲阿部眞言氏（奉東日報社長）同上
▲名村寅雄氏（大每大連支局長）同上
▲廣瀨金藏氏（……油房重役）同上
▲勝部兵助氏（商工省統計課長）同上
▲御影池辰雄氏（關東廳文書課長）同上
▲謝介石氏（滿洲國外交總長承認答禮專使）一行十六名同上
▲京都商工實習學校旅行團一行六十四名 同上
▲神風義塾旅行團一行十二名 同上
▲高田友吉氏（大連商議書記長）同上
▲高見三吉氏（大阪商船大連支店長）十四日午前入港はるびん丸

ほんこん丸船客

【門司特電十四日發】十六日大連入港豫定の香港丸の主なる船客 滿鐵理事大淵三樹、東京商大助教授猪谷善一、日滿貿易協會理事長石塚思、滿洲工業會社重役大越賢一、山田好文、滿鐵社員小池經策、雜誌「祖國」主幹大島高精、大阪稅關吏大坪久太郞

秘策を練

り必勝の意氣物凄いが今の處現議員候補の大物が申合せたやうにみな士氣振はない、その結果は秘に他立候補の立看板と位置換をする者あるので警察の眼も光り出し紙戰いよく激化を思はせてゐる

蛇角

◇
福德圓滿な訪日謝禮使、童顏に喜悅を湛へつゝ東の國へ。
◇
空曇れども胸中晴れぐし、その船路に幸あれ、幸あれ。
◇
支那又復各方面に內亂の火の手があがる、中央政府の名はあれどその實體なし。

滿蒙の戰慄（16）
直木三十五作　淺枝次朗畫

再生 二の二

「あれが、本當の男といふのかしら？――いふのか知らぢやないわ。男つて、あゝした所が、嬉しいんだわ、あゝなくてはならないもんなんだわ」

麗は、そんなことを思ひながら座つてゐた。母親が

「おやすみ、疲れてゐるだらうから」

「えゝ」

麗は、……

と、麗は、首を傾けてゐたが

「今夜は、よすわれ」

「そうかい」

二人は、そのまゝ、默つてゐたが

「お父さん、何うしてらつしやるかしら」

「本當に――あの、お父さんときたら」

二人は、薄暗い電燈の下で、滿洲の父の生死を考へてみた。こうして、どうにか、生活が立つて行くと、父の行つてしまつたすぐ後のやうに不安でもないし、思ひ出しもしなかつたが、餘りに、久しく便りの無いのに、母子は、時々寢床の中で、父のことを話して、そつと、涙を拭くこともあつた。

「大丈夫だとはおもふけど――何しろ、馬賊にでも、さらはれたら新聞にも、出やしないからね」

「姿、死んだとは思へない。きつと、働いていらつしやるわ。今にいゝ便りがくるとおもふわ」

麗は、そう云つたが、それを信じる事はできなかつた。

（もしかしたならと、いふやうな影が、心を掠めると、西城との別れの響ひは、冷たいものゝやうに思へて、悲しさが、湧いてきた。

「そうね」

二人は、淋しい、こうした深夜さう考へてもわからぬ父の事を考へても、何うにもならないといふ事を、幾百日も、經驗してゐた。

「もう、寢ませうか、いくら云つたつて、同んなじ事よ」

と、云つた時、中手が、二階から、降りてくる音がした。

「中手さん？」

「うん」

破竹の勢ひで 東邊道兵匪を撃破

好績を納めつゝ前進

東邊道における日滿兩國軍隊は十一日以來各方面より一齊に前進を開始し各地にて抵抗する兵匪を撃破し破竹の勢ひを以て前進し宣撫員及び政治工作員はこれと同行して各々その任務を遂行しつゝあるこの度の討伐と宣傳及び政治工作の三者の緊密なる提携により討匪行動は今回の軍事行動の特色であつて逐次良好な成績を收めつゝあるが各地における掃匪狀況は次の如し

北地區

高波部隊の主力は海龍、双陽鎭附近より數縦隊となつて南進し南大門、輞通附近にて約三、四百の匪賊を撃破し更に中陽堡の約三百の匪賊に大打撃を與へ十三日午前既に柳河、孤山子附近を通過南進した臨江方面より前進した石家部隊は北老嶺附近の天險により頑強に抵抗した匪首徐達三の部下約二千を撃破し十三日八道溝附近に進出し該地附近にて更に匪賊を攻撃中であるこの方面の匪賊は日本軍の前進に大動搖を來し南方に逃走するもの歸順するもの等續出してゐる模樣である、又八道溝の住民間には日本軍來襲し通化は既に燒却されたりとの噂盛んにして續々濛江附近に避難しつゝあり

中央地區

服部部隊は北山城子にて瀋海線の主要都邑より數縦隊となり一齊に前進し行く〳〵敵匪を撃退し既に向陽鎭、四道溝、新濱の線に進出した模樣である、この方面の匪賊は李春潤の部隊であつて九日以來逐次新濱方面に退却しつゝある、十二日午後服部部隊の主力は新濱の敵を撃破して該地に進入した

南地區

撫順方面より前進した靖安遊撃隊は十二日五木匠拉衣附近にて頑強に抵抗する敵の第三陣地を撃破し十二日午後二時救兵臺西方地區にて更に優勢なる匪賊を攻撃して大勝を博し勝に乘じて救兵臺南方に向ひ追撃中である敵は多數の死體を遺棄して東南方に向け逃走しつゝある模樣である、茂木部隊は本溪湖より安東に亘る主要都邑より數縦隊となつて一齊に前進中である

東地區

鴨綠江沿岸のわが國境警備隊は沿岸の主要地點を嚴重に警備中で機に應じ常に逃避する賊を全滅する隊勢を整へてゐる【奉天電話】

居住外國人に 空から警告

英文で一齊に撒布

東邊道一帶に亘り討匪中の關東軍は同地域に居住する外國人の安全を期するため在奉各國領事館にそれ〴〵通告すると共に關東軍司令官の名を以て左の如き英文の警告書を東邊道一帶に十四日午後飛行機を以て撒布した

東邊道在住外國人諸君、今次關東軍が東邊道一帶の地域において執る討匪行動の目的は治安を攪亂し良民を苦しめ通信、交通線を破壞する等暴戻飽くところを知らざる唐聚五並びに大刀會匪一派を掃滅せんがために外ならず、軍は本討匪行動に原因して不慮の災害の及ばんことを衷心危惧し諸君に對し一時東邊道外に待避せんことを要望するものである、若し已むを得ざる事情により待避すること能はざるものあらば成可く一地に集結し且つ地上並びに上空に對し明瞭なる標識を設け且つ速かに所在の日本軍隊又は滿洲國軍隊に通報する等危害豫防の處置に關し安全を期せられんことを警告す

なほ東邊道一帶に居住する外國人は左の如くである

▲新濱 スタンダード、亞細亞兩石油會社代理店、教會、宣教師米人四名、英人四名
▲通化 教會、宣教師、米人二名 スタンダード、亞細亞兩石油會社代理店
▲桓仁 教會、美孚洋行、亞細亞石油會社代理店
▲沙尖子及び大平哨 美孚洋行代理店
▲寛甸 教會、英人二名、美孚洋行及び亞細亞石油會社代理店
▲臨江 宣教師、米人一名、美孚洋行及び亞細亞石油會社代理店【奉天電話】

大日活問題 圓滿解決

石井署長も調停

非常通路をめぐる大日活の紛糾は去る十二日五千三百圓案による森本法院長の調停甲斐なく第四回の和解協議は決裂したがその後石井大連警察署長も調停に乘り出すこととなり石井署長、森本法院長談合の結果、長氏側一萬圓と森本院長調停案五千三百圓の間をとり六千五百圓を以て和解するやう相方に提示した處中野氏側よりは辯護士を通じて直に承諾する旨返答あり又長氏側よりは十四日正午までに回答することになつてゐたが十四日午前十一時木原、相川兩辯護士は長氏の代理として石井署長を訪れて右案を承諾する旨回答し大日活事件もこゝに完全に圓滿解決することゝなつた

右によつて非常通路九坪餘並びに煖房は中野氏側に引きつがれ長氏側は場内の椅子を搬出することゝなつたが圓滿解決により來る二十四日開廷の非常通路假處分取消に關する第一回口頭辯論並びに十二月六日開廷豫定の占有土地回收並びに損害賠償事件の第一回口頭辯論も中止される筈である

秋空に響く 突撃の喚聲

學生青訓の聯合演習

關東長官統監による關東州内學校青年訓練所及び旅順重砲海軍陸戰隊の聯合演習は十四日午前十時より周水子營城子間に於いて開始された

この日前日來の降雨未だ晴れず折からの細雨をついて美崎步兵少佐の指揮する東軍旅順工大學部南滿工專大連一中二中大廣場常盤沙河口の三青訓及び野戰重砲第一中隊等九百九十餘名は周水子飛行場に淺田砲兵少佐の指揮する旅順工大旅順一中、大商青島日本中學及び商業、旅順青訓滿鐵育成通信講習所野戰重砲第一中隊陸戰隊等千九百餘名は營城子驛附近にそれ〴〵集合し時の來るを待つ

午前十時統監部より演習開始の命令を受取つた兩軍は行動を開始す東軍は先づ營城子平地に進出せんとしこれに對する西軍もまた主力を以て速かに周水子平地に進出せんとし旅大北御道を前進す兩軍とも戰ひを一氣に制せんと意氣旺盛降雨も漸く晴れたが泥濘膝を沒するが步武堂々午前十時四十分由家屯西方地區に於いて兩軍尖兵先づ衝突して最初の火蓋が切つて落された

西軍指揮官はこの時由家屯附近の高地に陣地を占領するここに決し堅牢な陣地を構成するこの狀況を斥候に依り得た東軍指揮官はこの陣地に向ひ總攻撃せんものと各部隊に展開を命じこゝに於いて攻防の一大決戰となつた

砲聲殷々とし折から雲間より洩れる秋光は銃劍に鋭く反射し勇壯、凄慘、午後零時四十分頃東軍指揮は蜿蜒半里に亘る戰線に突撃を命ず、全軍喚聲をあげて陣地に突入防禦軍たる西軍もまたこれに應じ喚聲をあげて邀え撃つこの時統監部より休戰ラッパ鳴り響き第一回攻防演習休止され午後の演習に移るべく東軍は晝食後董家屯後方地區まで後退し午後三時四十分の再演習開始まで待つこととなつた、尚旅順要塞司令官安藤中將は副官を決定終始觀戰した

（寫眞上圖は統監部×印は安藤中將と下圖學生軍の活躍）

門司岸壁に 定期船を横付け

近く快速船配置計畫

大阪商船がサービスの改善

大阪商船大連支店長高見三吉氏は社務打合せのため上阪中であつた十四日入港はるびん丸で歸連、艦中語る

大汽の内地航路割込み說が云々される際上阪したので色んな目で見られてゐるが、決してそんなつもりでなくむしろ豫定の本社行だ、まあ土産話としては二つある、一つは快速船を大連航路に持つて來ると云ふ問題で、今春うすりい丸を入れて香港、あめりか兩船をも加へ六隻で二日に一隻づゝ年五割の航海度數を増やし日滿連絡にサービスする事となつたが、當時より重役の間で香港、あめりかの兩船を少しでも早く代へなくてはとの說から時代の趨勢に鑑み、船型とスピードと交通量を考慮して門司大連間の上下航を翌日着にする計畫が樹てられたのだ、そうなると二十五節、少くとも二十一二節を出さねばならぬが事實世界でそんなに速いものは大西洋定期の

三四萬噸 級のもので船體が小型だと自然バイブレーションが非道いわけである、從つて交通量と船型とスピードの合理化が問題となり、巨額の資本を投ずる以上愼重にする必要があり目下技術的見地よりプランが樹てられてゐる、近き將來に實現するであらう、いづれにしても將來は吉會線によるものと朝鮮經由と大連航路が三つの大きな交通路になる、今一つは來月四日から上下船とも門司の岸壁に横付けとなる、本社としては七八萬圓の出費になるが旅客へのサービスである、大汽の

大連臺灣 閏定期渡航は電報で知つたがそれに關し自分としては何等お話する事はない、入港時間の問題は冬分になればどうしてもそう早くは入港出來まい

建國祝ひの 賀帳を贈る

百廿萬人が署名して 我國民から執政府へ

滿洲國の建設を祝福しわが國民全般の祝意を披瀝せんとして頭山滿翁を顧問とし田中舍身氏を會長として發會された滿洲國建國祝賀會は去る五月以來わが全國民より署名を集め大衆百二十萬人の賛意を得てこの署名を賀帳として一册四萬人合計三十册を作成したがこれを以て日本國民の名に依り建國の祝意を表するため滿洲國執政府に贈る事となつたが同會幹事井上榮並に宮前數堂兩氏はこの賀帳三十册を携へて十四日午前入港はるびん丸にて來連した、右につき宮前幹事は語る

我々は隣邦國民として東洋の樂土建設のため建國された滿洲國に對し擧國一致その祝賀の意を衷心より表したいと思つたがさてその祝意を披瀝する方法としてどうすればよいかと迷つたが國民の總意を一つに集めるには署名が最も適切であり將來共によき記念となる事を想ひ全國民に向つて署名を求めた結果百二十萬人の署名を集め得た次第である、これを四萬人宛三十册の賀帳として執政府に贈るのであるがこれと同時にこの建國を祝し併せて一歳餘に亘る今次事變に際して奮闘する皇軍を慰問するため煙花大會を開催する事となり尖發隊として本會幹事伊藤榮作氏は煙花師と共に尺玉以下四郷の煙花を携へて既に來滿してゐる、これは新京滿鐵附屬地西公園外四ケ所に於いて最も民衆的に開催しわが國粹藝術を公開するものである【寫眞は百二十萬人の署名を集めた賀帳】

秋の樂壇に われ等のテナー

けふ藤原義江氏來る

われ等のテナーからなげきのテナーになり更に喜びのテナーとなつて輝かに秋の大連樂壇を飾るべく藤原義江氏は十四日入港はるびん丸で來連した、ブタペスト、パリソフイヤの國立劇場で天晴れ世界的オペラ歌手としての貫錄をかち得て六月アメリカ經由歸國して最近の滿洲渡來だ艦中語る

本月廿七日から紐育のオペラに出る筈だつたが、最近不景氣で閉場したとの事で渡米を中止した、今度あちらでは主としてオペラに進出し、ボエム、リゴレット等に一役買つて出たが結局滿洲事變の最中だつたので日本人の唄手と云ふ事が興味をつないだのだと思ふ、愉快だつたのはジユネーブの最後の出演の際の如きは例の十三對一の問題でゴツた返してゐるところで異樣な感に打たれた、歸朝後は在郷軍人共濟會等の主催でしきりに獨唱會を開いた、そして北海道九州と廻つて乘船前に別府で軍傷病兵のために歌つた許りだ

非常にうれしかつたのは自分が出發の際六十名許りの步ける傷病兵がわざ〴〵停車場に見送りに來てくれた、自分としてこんなに感じた事はなかつた、生母との二十三年ぶりの面會、ジヤン〳〵雜誌や新聞に書かれたが二十三年も會はないとまるで親子なんて云ふより友人と會つた樣な感じがするものだ、むしろ昔から云ふ樣に生みの母より育ての母で自分にとつて今度來る時養母が見送つてくれたがその方がずつと情愛があつた樣に覺える、十五日に大連でそして奉天撫順長春安東で獨唱會を開いて歸る、大連奉天には舊友服部友等澤山居るので懷しい【寫眞ははるびん丸で】

人質專門ギャング

哈市で頭目逮捕さる

【ハルビン特電十三日發】十二日吉林街で英米煙草商家甸出張所長ウドロフ夫人を殺害逃亡し十二日特區警察に逮捕された犯人は元軍中尉張南彥なるもので同人は郊外馬家溝に居住し多數の子分をハルビン市中に潛入させ人質拉致專門の匪賊頭目であることを自白した、最近市中に於て殆ど每日行はれた子供拉致事件を始め香港上海銀行支配人をゴルフ場から拉致せんとした件、豪商カワリスキー氏を舊ハルビンにて拉致せんとした件等皆この一味の仕業で彼等は白晝公然と自動車を驅つて人質を拉致する恐るべきギヤングで市民を極度に恐怖させてゐたものだがこれで拉致事件も激減しようなほ犯人逮捕の端緒は現場で射殺された賊の遺留品から端緒を得たもので特區警察の初めての科學的捜査である、頭目の就縛で一味は芋蔓的に舉げられる模樣である

西崗街派出所の二巡査解職

秋季滿鐵檢查に際し應援警官の拂底當代の名目のもとに管内居住民より金錢を寄附せしめた小崗子署西崗街派出所員安田庄平及び同所監督の任にある取締巡査樋口政治郎兩氏は十三日附を以て解職されたが責任上解職された西崗街派出所取締の樋口巡査は十四ケ年間勤續せるもので同僚から惜まれてゐる

分離派代表の 轉身に不滿

また蒸返しの形勢を示す三業組合の紛擾

三業組合の紛糾は十三日石井署長の調停で圓滿解決した模樣であつたが分離派中には代表湖月、淡月八千久、きぬた四氏のアツケない轉身ぶりに不滿を抱くものが多く十四日早朝より寄々協議を行ひ、何等かの反對手段に出でるべき形勢を示し、又一方總會決議無效訴訟提起中の菊田氏もなほ訴訟取下げを行はず訴訟材料の蒐集に努めてゐる模樣であるが、何も知らず十四日正午石井署長に圓滿解決の謝辭を述べに來た田中副組合長以下幹部は保安係でこの形勢を知つて大いに驚き、直に對策を講ずべく、石井署長に面會もせず早々引きとつて行つた

また猪島に海賊團

十日上陸から島民を監禁して 戎克を奪つて逃亡

十日午後三時頃猪島に一艘の戎克船に長銃、拳銃を携行せる十三名の海賊上陸し島民を監禁中十三日午前十一時同灣附近を航行中の山頭村渡泥河子居住李德椎所有戎克一艘を掠奪西方へ逃走した、海賊は九月二十六日來襲した天下好の一味とは別らしく旅順警察署では營口警察署その他州外各警察署に手配した

强奪した金は 再建資金へ

更に秘密本部を發見

【東京十四日發】警視廳の赤色ギヤング追及は眞劍味を加へて益々峻烈に行はれてゐるが十三日に至り一味の秘密本部堤ビル五階一室から眼と鼻の所にある京橋區西銀座雜ビル五階にも秘密本部を設けてあることが判明し警官隊は午後同所を襲ひ空氣拔の穴に巧に隱匿されたピストルの實彈六發を押收した、また今泉等が川崎第百大森支店から强奪した三萬餘圓は大體その八割が山本某の手で共產黨再建資金として一味にばら撒かれたこと判明し警視廳は全國的に手配して山本某の逮捕に全力を注ぐことゝなつた

東支西部線の 客貨取扱中止

東支鐵路は西部線哈市滿洲里間旅客貨物列車の復活は當分見込立たぬため遂に歐亞連絡旅客並びに日滿および南滿東支連絡による旅客手小荷物および一般貨物にして哈市以西發着のものは當分の間中止する旨十三日附を以て關係方面に通達するところあつた

なほ日滿および南滿東支連絡による哈市以東各驛發着のものに對しては今暫く東部線の情勢を見たるうへ東支側で何分の手配をなすこととなつてゐるが、東部線は十一日橫道河子、高嶺子間において脫線事故あつて以來不通で現在はハルビン、一面坡間のみ旅客列車を運轉せしめてゐる狀態である

橋本憲兵司令官 飛機で赴錦

憲警會議による治安警察目的遂行のため最初の視察をなすことになつた橋本憲兵司令官外五名（立川署長不參加）は東塔飛行場に準備されたフオッカー機に搭乘し十四日午前八時二十分離陸し一路錦州差して出發した、なほ一行は錦州まで奉山沿線を飛行機で視察し錦州に一泊列車にて歸奉の豫定【奉天電話】

哈達灣驛襲撃

十四日午前零時すぎ匪賊十四、五名が長敦線哈達灣驛を襲撃、電話機を破壞のうへ驛收入金並に驛員巡警の着用した被服金錢を掠奪し同一時二十四分ごろ逃走した、人命には異狀なし

州外署長會議

州外署長會議は十四日午前十時から奉天署樓上で開催、林警務局長は十四日午前八時十五分着列車で來奉して列席し會議は治安警察上の連絡警備等を協議することになつてゐる【奉天電話】

天氣予報

十五日 北東の風 曇一時晴
滿潮（午前十時四十分 午後十一時）
干潮（午前四時四十分 午後四時四十分）

各地氣溫 十四日午前十一時

大連	旅順	營口	奉天	長春
一六度	一六度	一五度	一八度	一八度

けふの小洋相場（正午） 金百圓は 一三三圓二五錢

四男力儀豫て病氣の處養生不相叶本日午前四時死去致し候間此段謹告仕候 追而葬儀は明十五日午後三時自宅出棺聖德街祭齋場に於て相營み可申候
昭和七年十月十四日
父 藤本顯吉
親戚友人一同

國難日本刀（124）

高桑義生作　京極佳夕畫

？の男（三）

「旦那」

と連れは小五郎に呼びかけた。

「金魚のうんこのやうに、ぞろぞろつながって來やあがる、不景氣な面だ」

「立ち止まるな」

「なあに、眼があつても節穴同然でさあ。かんじんの事は見えねえが、それで、金と女に眼がねえと來てゐる。あきれた代物だ」

「濤の字、さッさと行かう」

「ちよッ、本降りになって來やあがった」

その頃から、雨は蕭々と音をたてゝ降って來た。

「ひとつ走り、驅ませうか」

二人は雨のなかを小走りに、まもなく衣紋坂。

澤崎の廓は、すべて江戸吉原に準じたもので、衣紋坂から吉原道左にまがると、大門口——門をくゞれば仲の町だ。

小五郎は威勢のいゝこの男を連れて、ゆうべの茶屋、伊豆屋のくゞり戸から——大戸はひたと下りてゐる。

「おや、いらつしやいまし。雨でお戻りでございますか？」結構ですわ」

と出迎へた女は、あいそがいゝ。

「それもさうだが、知人に會ったので——。ゆうべの座敷がいゝな、いっぱいやりながら、話をして……」

「それから、五十鈴さんへお越しでございますか？」

「ばかをいふな。雨で流連するがらぢやない。話がすめば歸るのだ。酒の支度が出來たら、勝手にやるから、手をたゝくまで、誰も來るな」

と小五郎はいひつけた。

「濤の字、お前だらう？」

「……」

「わざわざあの中に、立ちまじつて、知らぬ顔で話を聞いてゐるあたり、すつかり男をあげたものだ」

「さうでもねえ。旦那に聲をかけられた時はギヨッとしましたよ」

「相棒は？——お前一人の仕事ぢやないな。お前は手傳った方で、やったのは、間宮か、佐吉か？」

「いゝえ……」

「だが、お前には斬れまい。斬れる腕ぢやない」

「旦那にかゝつちやあ、かなはない。そいつはまつたくお手の筋だが、實は、旦那は御存じない男でだてんの吉——新まいでさあ。それもついこの間、傳馬町を出たばかり……」

「妙な名だな。武士ではなささうな——それがやったか」

「まつたく、さほど出來ろとは思ひませんが、やつぱり腕ですかれ」

「そりやあ精神だ。劍の妙諦は、結局精神力だ」

小五郎は、幕末の三名人といはれた齋藤篤信齋（彌九郎）の練兵館で、塾頭兼師範代をつとめた、維新の俊傑中、劍名一世にとゞろいたものである。

「そんなもんですかね。やッつけたのは、わたしで、首を斬ったのが、その男……」

「高札は？」

「わたしがやりました」

「ホ、ウ、道理で、まづい字だと思つた。だが、文句は立派なものあれもお前の案か？」

「ヘッヘッ……ありや寫しです。處々變へたが、骨はちやんと出來てゐるのを、そつくりそのまゝ借りたので。だが、旦那も口が惡いや」

高札の文句は大方きまつたものそれを寫したものらしい。

「その通りだらう。とにかくよくやつた。彼奴は當然天誅をうける奴、日本人の面よごしだ」

小五郎は盃をさした。

相手の男は、黒船清次といふ者義賊と稱し、浪士を裝ふ、時代の副産物だ。

飛脚屋六兵衛を殺し、その首を辨天橋のほとりにかけたのは、彼とさうしてだてんの吉といふ——

「で、その吉とやらは？」

と小五郎はきいた。

荒川秋子孃送別舞踊會

清子孃と共に大連舞踊界に活躍した荒川秋子孃は近く結婚すると共に思ひ出の舞踊界から引退することゝなつたので、秋子孃を師匠として新舞踊に精進してゐる曙舞踊會が主催となり、荒川姉妹とテーブルを並べて働いてゐる滿鐵婦人協會の後援で、來る十六日午後六時から協和會館で秋子孃送別の舞踊大會を催す

今回の舞踊は全部秋子孃の振付になるもので、姉さんの清子孃が總指揮をさることゝなつており荒川姉妹をはじめ曙會々員一同が總出演をするがプログラムは四部三十七組、會費一人四十錢である

映話

入江たか子と中野英治が滿洲にロケした「滿蒙建國の黎明」の大連封切は▲英パン來滿が飛び出したゝめに延びのびになつて期日が確定せなかつたが▲この程來る廿日から山中監督と寛壽郎のコムビ物として期待される「口笛を吹く武士」と同時上映と決定▲また「滿蒙建國の黎明」は弘報係の「政府承認へ」と組んで大連婦人團體聯合會主催で協和會館でも上映これは時局奉公資金募集のためである▲帝國館が「秋の帝國館御あんない」といふ美しいパンフレットを作つてファンに配布してゐる▲東京カフエーに出てゐた新興キネマの女優久米順子と手塚登美子がけふの船で左樣なら

明夜に迫る 藤原義江獨唱會
會員券は朝から前賣

われ等のテナー藤原義江氏はけふ入港のはるびん丸で來連したが十五日夜協和會館における本社主催大連滿鐵社員俱樂部後援の獨唱會に出演するが、オペラ歌手として世界的名聲を贏ち得て歸朝したわれ等がテナーに果然人氣が集り、また他の追從を許さぬ民謠風の小品に大衆的支持を受け物凄い盛況を呈するものと豫想されてゐる、會員券は一般二圓、俱樂部員及び本紙讀者（優待割引券持參）は一圓五十錢で十五日午前九時から社員俱樂部で前賣と共に座席券を交換するから滿員賣切れにならぬうちに求められたい

仁俠の卷
河合映畫時代劇 寶館上映

この一篇も赤河合映畫が大作品主義への轉向を示した前後篇十五卷の時代劇傑作品として、また更に俳優から監督に轉じた根岸東一郎の野心的な作品として注目された映畫である

即ち河合德三郎原案總指揮、根岸東一郎原作監督でマキノ全盛時代と同じやうな行き方、狙ひどころが現はれて來たとも見られる作品である

而も前後篇十五卷が殆ど劍戟で終始してゐる點、全く大衆ファンを目安とした時代劇であり、根岸東一郎はそのマキノ時代に培はれた所謂マキノ趣味を盛りいろいろ變つた手法を見せ、その點またそれが例へ模倣であるにせよ河合の時代劇としては大きな飛躍を志した異色ある作品である

ストオリは三人の男と女の三つの女出入を扱つたやくざものだが組立が亂雜であるのが缺點である、これは事件を面白く多角的に展開しサスペンスを盛らうとしたところから生じたもので、それだけ河合映畫としては珍らしく複雜なストリオであり思ひ切つた今日までの河合ファンへの態度轉向でもある、これは判で押したやうな河合映畫にファンが倦怠を覺えて來た今日、明かに示された河合の方向轉換である

キヤストも葉山純之輔以下青柳龍太郎松本榮三郎五味國枝橘喜久子らを總動員してゐる光つてゐるのは葉山純之輔と五味國枝である

日銀、本年內に第四次の利下げか
公債政策上豫測さる

【東京十四日發】第三次日銀利下げ以來短期金利は商業手形の二、三厘安を始めとしコール協定率の二厘安、當座貸越協定率の二厘安大藏證劵日歩の五毛安等稍低下したが其の傾向も停頓してゐる、然るに政府の年度內公債發行豫定額は六億八百萬圓に達し、此のうち一部分は日銀をして市場に賣出さしめる事になつて居り、而も本年內に賣出を必要とされゐる樣だから、日銀に對しこの金利の低下除々はかなり重大な障礙を與へる譯で、公債政策上本年內にもう一回利下げを行ふのではないかとの推測が相當有力に行はれてゐる

紐育準銀も利下げか

【ニューヨーク十三日發】七日以來二分で保合つてゐたニューヨークコールマネーは本日俄然一分に急落、更に銀行引受手形も四分に引下げられ八分の五パーセントの低率を示した、之がため近く準銀の（六月末以來二分五厘）利下げあるべしと取沙汰されてゐる

遼陽の東北方に洋灰工場を建設
東京有力者間に計畫進捗す
待望する遼陽住民

遼陽の東北方張臺子煙臺附近に埋藏され居る石灰石を原料とする洋灰會社の設立計畫は今春來東京の有力者間に計畫され其關係者が一再ならず來遼、實地調査中であつたが仄聞する處に依れば該計畫の洋灰工場の製産方法は日本に於ても僅かに一ケ所ある位の新式で多量の水を使用する關係上相當水量を有する位置であるが原料産地附近に於ては渾河と太子河の二大河があり渾河は撫順に於けるオイルセイル工場の關係上適當地と認められず、結局原料産地に最も近距離にある太子河の水流を利用するに便利な遼陽を以て最適地として設立の計畫準備は着々として進められ近く東京と遼陽に創立事務所が設けらるゝ段取りとなつて居る實現の曉は機關區列車區は既に移轉し軍部の家族も亦近く內地歸還の噂ある今日在住民は暗夜に燈を得た心特といふべく從つてその實現の一日も速かならん事を希つて居ると同時に他方面からの之に對する故障に對しては全在住者が擧つて排除すべきであると緊張して居る【遼陽發】

撫順炭を大量輸送
需要期迫り

さきに滿鐵々道部では匪害その他のため撫順炭の輸送に大支障を來したゝめ、去る六日から一日六百四十車の大量輸送を行つてゐたが九日以後再び特別輸送その他のために貨車、乘務員共に不足を來し本月一日以後十四日までの撫順炭の缺車および制限は一千車に達した、その結果需要期を目前に控へた商事部では大恐慌を來し、鐵道部、炭礦等の關係方面に對し十五日以後一日七百車の撫順炭輸送を要求して來たが、鐵道部では大體特別輸送も終了したので要求に添ひ得るやう貨車繰の準備を整へてゐる

市中の小賣商の勉强振り
組合より安いもの

市中商店と市場及組合との小賣値段につき九月十五日現在に於て關東廳調査課の調べによれば左の如く、組合並に市場の値段必ずしも安くない、各地別にその例證を擧ぐれば左の如し（尤も調査は市中値段が組合値段より安いもののみを擧げたものである）

▲大連

組合名	品名	組合値段	市中値段
遞購	味の素一罐	八四	八〇
滿消	角砂糖一封度	一〇	九
同	三矢サイダー	一六	一五

時局匡救事業の內容と効果
東京支社　T・F生

（五）

若しこの十六億圓の資金が政府當局の計畫通りに七年度以降九年度までの三年間において土木事業費、軍需品製造費、小學校費、古船解體費、不動産金融資金、中小商工業資金その他種々の名目の下に使用されて國民の間にバラ撒かれるとしたら相當に救濟されることと信ぜられる、しかしながら今日最も窮乏の極にある貧民が直に今回の救濟事業に依つて救助されるかどうかは甚だ疑問である、何んとなれば今回の時局匡救事業費に依つて窮民の直接に受ける恩典は土木事業に從事して賃銀を得るといふ以外にないからである、なほ三ケ年間における預金部の低利資金融通計畫が必ずしも政府當局の豫定する如く短期間のうちにかく多額に放出されることは實際問題として考へられない、殊に政府が今回時局救濟事業として行はんとするものは前述の如く主として土木事業であるが治水、灌漑、道路その他開墾、用排水幹線の改良、林道開設、暗渠排水事業等を起したところで一時的に失業者を救濟するといふだけのことであり、又小學校費の臨時增額や軍需品の製造繰上げ等も一時的に貧弱町村を救濟したり、或は軍需品關係だけの商工業者を救濟する働きをなすだけで、これ等の時局匡救對策に依つて我國の全般的經濟界が立直るといふような大きな望みを掛けることは出來得ない、寧ろかくの如き期待は無理なことであらう。

（六）

しかし今回の時局匡救對策の實施に依つて相當の効果を擧げることは勿論豫想し得ることである、例へば四分二厘の郵便貯金の利子を三分に引下げこれと順應して銀行利子の引下を行ひ、思ひ切つた低金利政策を斷行することに依つて當然或程度の物價騰貴を現出し特に農産物の價格は今後相當高くなるであらうと見られる、更に又不動産金融の途が開かれることになれば自から農村の金融は圓滑になり、中小商工業資金の融通が行はれゝば資金難に苦慮しつゝある中小商工業者が若干救濟されることになるから、多少財界は活氣を呈し國內産業の振興を見るであらう、もちろんこれのみで直に財界が好景氣になるとは思はれないが、多少なりとも國民の生活難が緩和されるであらうことは期し得らるゝ、尚失業者救濟を目的とする土木事業は昭和七年度に於いて內務省所管の土木事業だけでもその使用する延人員は（一）農村振興土木事業六千八十八萬九千二百八十八人（一）北海道農漁村振興事業四百八萬六千九十三人（一）失業應急事業五百七十七萬五千六百六十七人（一）地方改良應急事業百七萬一千四百二十八人

滿洲電氣協會に滿洲國人も參加
張實業總長を名譽會長に推戴
十八日總會で擴充す

滿洲に於ける電氣事業及電氣利用の進歩發達を圖る目的で設立された社團法人滿洲電氣協會は創立以來既に滿三ケ年を經過

その基礎 も漸次鞏固となり、現在會員四百五十餘名を擁する有力な電氣關係業者の團體となりつゝあるが、一面同協會員は殆ど在滿邦人より成り滿洲國側會員僅少にして今後滿洲國の電車統制、電氣事業法制定其他電氣關係にして解決を要すべき重大問題山積しつゝあるので、これらの諸問題解決に向つて日滿民間有力者が互に提携獻策するは日滿兩國の親善、日滿經濟提携上極めて緊要なりとの論有力となり、滿洲電氣協會をして單なる日本人のみの機關とせず、滿洲國人をも參加せしめ名實兼備の滿洲電氣協會たらしむべく過般來理事者側に於て

滿洲國側 と折衝を續け、入江副會長は滿洲國實業部總長張燕卿氏と種々意見の交換を遂げた結果、張總長もその趣旨に大いに贊成、名譽會長就任を內諾、滿洲國側よりの役員推薦をも快諾したので本問題は急速に進展し、愈々來る十八日午後四時より大連ヤマトホテルに於て臨時總會開催、定款一部變更、役員互選の運びとなつた、卽ち現在の役員は定款第十一條に於て理事七名以內、監事二名、評議員若干名とあるをこれを名譽會長一名推戴、理事十五名以外、監事三名乃至四名に增員すべく定款を改正すると共に、同離

名譽會長 に張燕卿氏を正式に推戴、理事以下評議員につき滿洲國側より推薦の役員を互選することに決定、滿洲國側よりの役員の顏振れは未だ確定しないが右臨時總會にて決定と共に滿洲電氣協會も愈々日滿官民電氣關係者を網羅した名實兼備の協會となる譯で、かゝる機關における日滿人合體の機關の出現は同協會を以て嚆矢とすべく、期待されてゐる、尚同協會では本月下旬か來月早々奉天に於て役員會を開催し、同協會の進むべき方針、事業計畫等について具體的協議を遂げることゝなつたが、滿洲國電氣事業の

根本方針 の決定、電業統制、電氣事業法制定、その他電氣關係規則制定等に關して滿洲國政府に對し種々獻策する筈で、その活躍は斯界より多大の期待を以て迎へられてゐる

商工業資料を澤山蒐めた
勝部商工省統計課長談

去る八月十六日來連以來約二ケ月に亘り軍部を始め關東廳滿鐵並びに商工會議所の協力を得て、滿蒙の一般商工業に關する調査を進めてゐた商工省統計課長勝部兵助氏は十四日午前出帆うらる丸にて愈々歸國の途についたが氏は語る

永い間彼方此方と歩き廻り一般商工業に關する各種の調査資料を集めて來たが、幸ひ軍部關東廳を始め滿鐵、商工會議所等の永年に亘る調査資料の提供を受けてその目的を達成し得たのを深く感謝すると共に非常に嬉しく思つてゐる、滿蒙の商工業に對し何かの感想をと思つても今は資料を蒐めた許りで、これから歸つてこの多くの資料を纏めてからでないとお話し出來ない、この調査資料を整理した結果に依り商工省としての將來滿蒙に對する方針を決定する事になるが、出來るだけ早く纏めたいと考へてゐる

滿洲各地九月中金融組合の業績

滿洲金融組合聯合會調査＝九月中に於ける大連外各地金融組合業績に就いて見るに都市組合組合員數二千二百一名、出資口數一萬三千八百四十八口、出資總額六十九萬二千四百圓、村落組合組合員數六千二百二十五名、出資口數九千百十八名、出資金小洋九萬一千八十圓、これを前月末に比すれば都市組合組合員數は十四名減、口數七十口增、金額三千五百圓增、村落組合員數二名、增口數六口、金額小洋六十圓の增、次ぎに九月末現在の預金貸付狀況を見るに都市組合預り金合計五十七萬三千三百三十四圓、貸出合計百三十一萬八千五十八圓、これを前月に比すれば預金五萬三千五百十一圓の增、貸出三萬四千六百三十四圓增と何れも微增、村落組合に於ては金勘定預り金五十九萬八千七百三十圓、貸付金六十七萬七千五百七十九圓、洋勘定預り金八十七萬四千百二十六圓、貸付金九十五萬一千六百七圓、これを前月末に比較すれば金勘定預金一萬四千四百一圓增、貸付は四千八百二圓の減、洋勘定預金一萬六千六百五十一圓減、貸付五千三百三十圓增、と何れも前月末に比し大差なく順調な推移を示してゐる、今各組合別に預金貸付を對照すれば左の如し

▲都市組合

議決事項の說明にゆく
高田會頭上京

既報の如く大連商議會頭高田友吉氏は來る十八日日本商議の第五回滿洲問題委員會に出席のため十四日出帆うらる丸で上京の途についた、同委員會では大連商議の議決事項につき種々質問がある筈であるが、船中語る

關東州關稅問題、滿鐵地賣炭値下問題、その他鐵道運賃問題について種々こちらの意見を說明しようと思つてゐる、會頭として最初の上京でもあり顏つなぎの意味もあり、すべては田村副會頭と相談の上二人で出席する事になつてゐる

兩副會頭就任認可

大連商工會議所では築島信司氏、瓜谷長造兩副會頭の就任認可申請中のところ十三日附を以て認可の旨大連商議宛通報があつたが正文の到着は二、三日遲れる筈

アメリカ財界は景氣立消え氣味

大統領選擧をあと一月に控えながら待望のアメリカの景氣はもう一つ冴えない樣である

諸市場頭重

九月上旬五十二ドル半の高値に達したユー・エス・スチール株はその後次第に下げて四十ドル臺を示現しつゝ越月したが、八日には三十五ドル半となり七月から九月へかけての値上りの半分を吹き飛ばしてしまつた

◇

棉も現物は七セントの關門を辛ふじて支えてゐたが、八日政府發表の第三回米棉收穫豫想が千一百四十二萬五千俵で、前回よりも十一萬五千俵增、民間豫想平均より二十八萬七千俵增であつた爲め更に四十ポイント以上崩れて現物定期共六セント代に墜落した。今後産地からの出廻り狀態と一般商工界の推移如何で相場はどうなるか判らない

◇

面白いのはいろ〱の相場が十月五日をキッカケにして下がつてゐることで——これは四日アイオワ州のデモインで試みられたフーヴァ大統領の最初の選擧演說が案外評判惡くこれが覿面に祟つたのである

◇

アイオワと云ふと作物價格下落と負債重壓に惱む中西部農村の內で人心最も險惡化した州で、例の農民ストライキもこゝに發生したのである。不平憤懣の農村大衆の投票がどう動くかは選擧に容易ならぬ影響を及ぼす、民主黨ルーズヴエルトは九月二十九日に早くもスー・シチーで演說會をやつた。フーヴァも安閑としてゐられなくなつたのである

◇

所でフーヴァの演說はどうであつたかと云ふと、既に過去となつたこの春の金融危機切拔に就ての手

滿洲日報

舊態一切を清算し 進一歩の對蘇策

不可侵條約と滿洲國

日露滿三國不可侵條約問題は滿洲政府代表の帝都訪問を契機として急速に進展を見るべく豫期さるゝが右に就き滿洲政府は日本と協力左の方針を以て謝外交總長大橋次長より駐日蘇聯大使トロヤノフスキー氏との間で折衝を進めると確聞する

即ち日露滿三國間の安寧秩序は單に蘇聯側の主張する武力的抑壓のみでは安固を期せられ難く思想的政治的革命即ち共産主義的策謀根絶により始めてその目的は達成さるとの見地から

一、從來蘇聯國が執り來つた『共産主義的策謀を第三者の策謀となしその責任を回避する如き』態度を根本的に變革し絶對的責任の歸着點を明かにする

一、滿洲國内に於ける露國共産黨員の策謀特に東鐵沿線その他各地に潜在する宣傳機關細胞分子の解散撤去を絶對條件とする

一、共産主義的不可侵地帶即ち一定の緩衝區域設定

一、右條約上の効力發生と共に蘇聯國は滿洲國内に於ける治外法權の撤廢を承認し滿洲國の自主的取締りに協力する義務を負ふ

等に就いて要求し以て有形無形に親善提携を阻害する一切の事態を排除するといふにあり

而して滿洲國は蘇聯國の有する東鐵等の既得權益を建國の聲明に基いて尊重するも尚一層兩國の親善を增進するためその障害となる如き奉露協定等舊軍閥でなされた不合法的條約はこの際互讓的に一擧に解決の意向で極力國交親善に努力すると【新京發】

ロシアの對日態度

滿洲國人に對しても好意を有す 廣田駐露大使歸朝談

【敦賀十四日發】廣田駐露大使は十四日午前六時入港の連絡船天草丸で二年振りの歸朝を爲したが同大使は船中にて語る

東鐵が危險だといふので二日チタに立往生しウスリー線經由十日浦鹽に着いた、ロシアの日本に對する態度は好意的で赴任來二ケ年別に難問題もなく漁區問題も無事解決し、松方氏の石油交渉も無事成立、北樺太石油對ロシアの原油交渉も進捗し成功するものと思ふ、ロシアは滿洲問題には好意を有し滿洲國政府に對し領事館設置を許すとの聲明をしてゐるのだから事實上承認も同様だ、ロシアが國境に兵力を集中したのも別に敵對行動のためでないと信ずる、自分はロシアと不可侵條約を結ぶも不可なしと信ずるもその成否は全國民の意思にかゝつてゐる

と語つた、なほ大使一行は午後九時五十五分發列車で上京した(寫眞は廣田大使)

廣田大使歸京

【東京十四日發】廣田駐露大使は午後八時二十五分着歸京した

支那側が直接交渉の機運釀成に努力

報告書に餘り期待せず

【上海特電十四日發】報告書に對する支那側の意見はなほ外交委員會で研究中で纏まつては發表されてゐないが政府當局は要人談の形式で「中央通信」を通じ「報告書細部の研究に努力を集中するより、國際間の空氣及び日本の態度に注意する事が必要だ報告書は畢竟するに報告書に過ぎず、日支問題解決については聯盟會議における討議を通じて日本が從來強硬態度を改め聯盟の監視の下に適當な解決を圖るなら大勢に從ひ國權を喪失せざる原則によつて解決辦法を考慮すべきだ、日本が態度を變へず又之によつて國際間が惡化すれば之に對し適當の準備をなすべきだ」と直接交渉の氣運釀成に努めてゐる

蘇炳文が聯盟に皇軍誣告の僞電

張學良に依頼されて

【北平十四日發】滿洲の擾亂と日本軍が慘虐なる如く宣傳するを事とする學良は又も蘇炳文をして東鐵護路軍哈滿總司令の名を以て十二日附左の如く國際聯盟に打電せしめた

日本軍は東支鐵道が國際の鐵道なる特質を忘却して空に陸に爆撃を擅にし富拉爾基の鐵橋を破壞鐵道從業員を慘殺赤十字隊を射擊する等その他沿線各地共その慘虐言語に絶し護路軍は職責上これが防遏に當つたがその結果は全部日本軍の責任である

フーヴァの聲明尊重

米辯護士大會

【ワシントン十三日發】アメリカ辯護士協會國際法委員會は年次大會にて日支問題に關し曩にフーヴァ大統領が聲明した武力による領土變更を認めずとの原則を國際法上の重要原則の一として尊重する旨を反復確認し左の發表を行つた

聯盟が日支紛爭を獨力調停せんとしたが失敗し、日本は全滿洲を占領した、曩に聯盟總會はボリヴィア、パラグアイ間紛爭に南米十九國の執つた原則行動を是認した

と述べ日支問題についても之を基準とし道義的力を發揮すべき旨を暗示した

吉田大使御召

皇族懇話會に

【東京十四日發】皇族懇話會の今月例會は十五日午後四時澁谷區御竹梨本宮邸に御開催、秩父宮殿下以下各殿下御出席の上畏くもリットン卿以下聯盟調査委員團に隨行した參與官吉田伊三郎大使を召され「リットン報告書」の題下につき約一時間半說明を御聽取相成る事となつた

松岡洋右氏

參內御挨拶言上

【東京十四日發】國際聯盟帝國代表として二十一日東京出發ジュネーヴに赴く松岡洋右氏は十八日午前十一時參內天皇陛下に拜謁仰付られ赴任の御挨拶言上の筈である

鈴木文治氏 壽府で活躍

【東京十三日發】社會大衆黨顧問鈴木文治氏は十八日東京發松岡洋右氏一行と共にシベリア經由ジュネーヴに向ふことゝなつた、表面上來年二月上旬開かれる國際勞働局の理事會に出席のためとの理由であるが、鈴木氏は數回國際勞働會議に出席し英、佛、獨、白等世界各國の社會運動の領袖に知人多くその間にあつて聯盟總會の裏面で活躍せんためである

勞農新聞の報告書批判

【モスクワ十三日發】リットン報告書につき沈默を保つてゐたロシア側は本日イズベスチヤ紙上ラデックの評論で始めて沈默を破つた

氏は報告を日本に對する世界の輿論を總動員しアメリカの反日的立場を強化せんとすと評し、報告書は一方日本のロシア襲撃を使嗾すると同時に反日戰線の共同陣營にロシアを捲き込まんとしてゐる又報告書中興味ある點は日本が報告に屈した場合世界の帝國主義列強が極東問題を如何に解決せんとするかを示せることである、例へば滿洲を國際植民地化し全支那は國際共同借款團を再設せんとする如きこれである

混成第三十八旅團 十月十三日歸還を完了

【東京十四日發】陸軍省發表＝混成第三十八旅團は(新義州經由)十月十三日を以て衞戍地に歸還完了せり

軍縮兩會議再開

【ジュネーヴ十三日發】休會中の軍縮幹部會は來る十一月三日より再開、又一般委員會は會期一週間にて十一月廿一日より召集するに夫々決定した

米軍縮全權靜養

【ロンドン十三日發】フーヴァ案につき十三日日本代表松平大使を訪問諒解を求むるはずであつた米軍縮全權ノーマン、デヴイン氏は風邪にて會見を延期し目下靜養中である

英佛代表會商

【ロンドン十三日發】軍縮會議を中心とする英佛會談は十三日午後もマック英首相、サイモン外相、エリオ佛首相、フリユーオー佛大使との間に討議が進められたエリオ首相は會談內容につき一切口を緘して語らなかつた

軍縮會議延期

【東京十四日發】軍縮會議幹部會はロンドンにおける英佛交渉のため更に十一月三日まで會合を延期する事になつたが、米國大統領選擧並に獨總選擧終了するまでは軍縮問題は大した進展なきものと觀らる

開通した江橋(嫩江)大鐵橋

官民一致で難局打開が急務

鈴木政友總裁車中談

【東京十四日發】鈴木政友會總裁は十五日和歌山市に開催される近畿大會出席のため十四日午前九時東京驛發特急で西下した、車中氏は語る

明年度豫算編成期も近づいたが我黨から政府に對して注文する

やうな事なく批評的立場で進む今日の如き非常時には官民一致

時局の艱難を打開せねばならぬ國民生活の更生は第一に政府は國民の自力更生し得るやうな道を與へ國民も政府のみに賴らず自力更生するやう努力する事が肝要だ、增稅問題をはじめその他時局匡救に關する恒久對策はいづれ政務調査會で具體案を確立する事になつて居る、ジュネーヴの國際聯盟も結局日本を窮地に陷らしむる事はあるまい、樂觀はしないが悲觀もしてゐない

新規要求の審査は頗る困難

省議は豫定より遲る

【東京十四日發】大藏省の來年度豫算新規要求十二億圓查定は各省殊に陸海軍の要求強硬にて審査困難を極め最初の豫定の如く十八日頃大藏省議に附すことは不可能となつた爲め大藏省側から高橋藏相に對し歸京延期方を申出た

藏相歸京延期

【東京十四日發】高橋藏相は十五六日頃歸京の豫定のところ二十日頃迄歸京を延期した、從つて大藏省議前に來年度豫算の決定は困難となつた

定例閣議々事

【東京十四日發】定例閣議は十四日午前十時開會後藤農相より北海道凶作水害被害視察狀況を報告し北海道本年作柄は平均三分作程度で網走、根室、釧路方面が最も酷い、昨年、今年引續きの不作凶作に水害も加へて農民の窮狀は言語に絶すると視察地の慘狀寫眞等を提示し一時間に亘り報告し、次いで小山法相より赤色ギャング團檢擧經過、紫山塾頭〇〇〇取調顛末等を說明し正午散會した

都市計畫の打合せに來た

閻奉天市長來連談

大奉天を目指す都市計畫の用件を帶び奉天市長閻傳紱氏は十四日午後七時五十分着「はと」にて來連滿鐵、關東廳等と種々打合せをなすことゝなつたが、途中迄出迎への記者に對し車中語る「誰にも知らさず潜航的に來たのに見つかつてしまつた」と前提し

◇…大連には七ケ月ぶりで來た、一度出連したい〳〵と思つてゐるうちつい多忙なので延び〳〵になつた、今度來たのは奉天の都市計畫について滿鐵、關東廳と打合せのためだ今度こそ徹底的にやるつもりだ

◇…商埠地も、城內もなく一律に現在全面積の三倍百七十五平方キロの尨大なものだ、これに要する經費は電車、バス、水道、ガス、電燈等の市營によつてこれにあて來年に下水工事に取掛るつもりで居る、ある程度の借款と委任經營によつて大丈夫彩票なぞを募る必要はない、今でも既に附屬地と商埠地の間の大道路が殆ど出來て並木もしげり公園花園もとゝのひ、城內も見違る程に綺つた

◇…全權部の新京移轉と共に大奉天の將來に對し悲觀說をなすへるものもあるが、自分はむしろ工業都市として充分生命のあることを確信する、兵工廠の如きも近く機械工場として使用し滿洲における唯一の工業都市とするつもりだ、その他自分の考として教育機關の完成に對し努力する、今市では七小學校と一圖書館を有するがこれとてもつと增加させたい、そして社會館を作り人事相談所や簡易宿泊所をも設置したい、大連では遼東ホテルに投宿、三日間程大連に居つて歸奉する(寫眞は閻氏)

社會事業視察官 宮內省より派遣

遂て關東州管內にも

【東京十四日發】殖民地各地の公共社會事業團體中宮中の御補助御奬勵金を拜受するものは多數に上つてゐるが宮內省はこの種團體視察のため事務官書記官を派遣することゝなり十五日は高木書記官が出發臺灣へ廿二日には濱巻書記官が牛井屬を從へ朝鮮に向ひ約六十ケ所の公共事業團體を視察御下賜の使途事業狀況を視察することゝなつた近く關東州にも派遣されるがこの視察によつて今後紀元節賜金の範圍額をも講究することゝなる模樣である

聯盟副總長 廢止案否決

【ジュネーヴ十三日發】聯盟通常總會豫算委員會は副總長及び事務次長廢止案を否決暫定案として副總長アブノール氏の總長承認及び事務次長に日獨英三國より選任するに決し小國の策動は失敗した

滿鐵經調會の組織に變革

奉天勤務員の引揚げに伴ひ

滿鐵の經濟調査會は今年一月創設されて以來、第一部と第五部を奉天に常駐させ、十河委員長以下幹部は大連と奉天の間を往復して時局に關する經濟調査を行つてゐたが、今月下旬より關東軍司令部が長春に移駐するので、これを機會に現在奉天に居る經調員の大部分を大連に引揚ぐることゝなり、岡田第五部主查以下二十日より順次歸連し新京には二三人を殘して軍との連絡に當らせる筈、しかしてこれを機會に經調會の組織に多少の變革があるべく現在綜合的研究に當つてゐる第一部は調査課の舊來の事業たる滿蒙の基本的研究に當ることになるのではないかと見られてゐる

北滿水災義捐金 卅四萬圓に上る

第三回に全部を送金

【東京十四日發】八月二十六日成立せる北滿水災救援中央委員會では全國的に義捐金募集中のところ今日まで御內帑金四萬圓の外三十四萬圓あり御內帑金は九月二日に一般義捐金は九月十五日及十月五日に外務省を經じ武藤全權宛電送し武藤全權より滿洲國に交附したが第三回分は義捐金全部送金するはずでその額は十三、四萬圓に達する見込みである、主なる寄附者次の如し

▲五萬圓宛三井八郎右衛門、岩崎小彌太▲一萬圓宛日銀總裁土方久徵、正金頭取兒玉謙次、生命保險協會、在華紡、日本紡績同業會▲六千五百四十七圓華族會館▲五千圓東拓總裁高山長幸、根津嘉一郎、第一銀行頭取石井健吾、馬越恭平

財政部昇格案

樞府審査會議開く

【東京十四日發】政府は今回關東廳官制中改正の勅令案を上奏樞府に御諮詢あらせられたので樞府は十四日午前十時より事務所で下審査會議を開き二上翰長以下書記官河田次官、西山財務部長その他出席下審査を終了したが右改正要旨は現在の財務部を財務局(局長は勅任)に昇格し內務警務財務の三局とするものである

津浦線の排日

日貨不積載運動

【天津十四日發】津浦鐵路從業員に最近日貨排斥運動盛となり鐵路當局に對し日貨を搭載すべからずと要求したが當局は營業上實行を肯ぜざるため工人側は鐵路局に對し若し我との要求を容れざれば自發的行動に出でんと警告を發し日貨不積載を實行せんとしてゐるが其背後に鋤奸團や救國抗日團が活動して居り成行は注目されてゐる

山西の局面に變化豫想

【天津十四日發】太原より某方面に達した情報によれば閻錫山は突然河邊村に歸る事となつたが、原因は太原は接客に暇を潰し兼ての抱負である「十年自强」の計畫の研究が出來ないので郷里でゆつくり研究するのだといはれてゐるし又主席徐永昌は近日太原を發し漢口に蔣介石を訪問し軍事政治問題を協議すると傳へられ山西の局面に何等かの變化が起るのではあるまいかと豫想されてゐる

滿鐵社の重役會議

經調關係事項

滿鐵重役會議は十三日午前および午後に亙つて開會林總裁、八田副總裁、村上、山西、竹中、河本、山崎の各理事出席經濟調査會關係事項につき協議した

兵器局長歸國

去る廿八日陸路來滿して奉天新京吉林等を視察し關東軍を始め關東廳、滿鐵等わが國在滿機關首腦部と會見重大用務につき打合せ中であつた陸軍省兵器局長陸軍少將植村東彦氏は山本稔砲兵中佐と共に十四日午前十時出帆うらる丸にて歸國の途についたが出發に際し語る

私の今度來滿の用務については今お話しする事は出來ないが目下日滿双方協議中であり何れ具體的な決定を見た上で發表の機會もあらう

歐米視察に

御影池課長出發

關東廳文書課長御影池辰雄氏は今回關東廳より約十ケ月の豫定で歐米視察を命ぜられ十四日午前十時出帆うらる丸にて松崎關東廳秘書官、葉梨代議士その他官民多數に見送られ華々しく船出したが氏は語る

別段これといつてお話しする事もありませんが歐米各國を巡遊し各國の情勢を視察して來たいと思ひますが特に滿洲事變及び上海事變に對する各國々民の認識並に滿洲國承認に對し各國民の觀測の影響等を出來るだけ觀察して來たいと思つてゐます、何れ歸りには何かよい土產話を持つて來たいと考へてゐます

勇士の遺骨を出迎えませう

けふ 午後四時四十五分大連驛着

あす 午前十時はるびん丸にて故山へ

出淵大使

近く滿洲視察

【東京十四日發】出淵大使は滿洲國の現狀視察及び同國當局と意見交換の必要を認め十一月二十二日東京發渡滿各方面視察後十二月二日一旦歸京更にパリ、ロンドンに立寄りワシントンに歸任し對米外交の重大使命に當る事なつた

石井參與官

廿日頃大連へ

重要書類傳達の使命を帶びて石井陸軍參與官は萩少佐松山大尉を隨へ十四日午後七時五分着列車にて驛頭岡村參謀副長等の出迎へを受けて奉天に到着した往訪の記者に對して左の如く語る

余は陸軍大臣の命により滿洲の狀況特に現狀の視察に派遣された、政情關係特に豫算問題の折衝があるので本月中に是非歸京せねばならぬ、從つて在滿日數は少いため奉天新京大連の主要都市だけを巡訪し先輩各位の御指導に與りたい希望である第一線將兵の勞苦を親しく慰問し奧地の實狀を視察し得ないのは甚だ遺憾である私は十五日武藤全權、小磯參謀長等に面接し陸軍大臣よりの書類を渡し種々會談する考へだが奉天には三日滞在し長春に行き廿日頃大連に赴き歸途は朝鮮經由二十四日頃歸京の積りである【奉天電話】

大淵滿鐵理事

門司着

【門司特電十四日發】大淵滿鐵理事は小池庶務主任帶同香港丸により十六日着連、滿鐵本社その他關係官廳各會社等に就任の挨拶をなし且事務上諸般の打合せをなす筈で滿である、今朝門司に寄港し下關鮮案內所貝塚主任その他の出迎へを受け門司、小倉等を視察した、大淵理事は語る

今回不肖理事に就任したので取敢ず本社に赴き正副總裁各理事その他社外各方面に挨拶をなし種々社務に關し打合せをなす筈である、中央の金融界その他に關し報告する用事もあるが萬事本社の方針を承つて行動するつもりである

青木駐西公使

【東京十四日發】新任スペイン公使青木新氏は夫人同伴十五日午後一時東京驛發門司より海路赴任の途による筈

社說

日支直接交渉は決議上當然

國際聯盟の小國側にても、支那の不統一狀態を知るに及びて其心境に聊か變化を生じたと傳へられる。今後我國に於て、文書に言論に、支那の眞相及び日支關係の眞相を傳ふるに努力するならば、漸次認識を深めるに至るであらう。殊に小國側は日支兩國の直接交渉を主張せんとする向もあるに至つたといふ。此の考は曾つて大國側にもあつたのだが、小國側の策動によつて葬り去られたのである。併しながら此事は今更問題とするまでもなく當然である。去年十二月十日の理事會の決議には「本件の特殊なる事情に顧み、日支兩國政府に依る兩國間紛爭問題の終局的且根本的解決に寄與せんことを希望し國際關係に影響を及ぼし日支兩國間の平和又は平和の基礎たる良好なる了解を攪亂せんとする處ある一切の事情に關し實地に就き調査を遂げ理事會に報告せんが爲め五名より成る委員會を任命する決定す」とある。即ち「日支兩國政府に依る……解決」を前提としてゐる。日支直接交渉は既に動かすべからざる原則になつてゐるのである。それを、調査團が解決方法を決定すべきものと思はれたり、國際聯盟が報告書によりて之れを決す可きもの思はれたりするのは誤解である。報告書の中にも、建言會議を招集するにつき其の方法までも決定し、結局は理事會が之れに立入つて最後の決定を爲すやうに仕組んであるのは越權である。改めて決議文の始めに立戻つて考へ直す必要がある。

市會議員選擧戰始まる

大連市會議員選擧の投票日も近くなり、選擧戰も漸く多忙ならんとする。十四日正午までの候補届出三十八名、定員を超過すること五名となつたから、各候補共油斷は出來ない。市街要所々々に立並んだ候補者氏名の看板も選擧風景の賑かさを示し、言論戰、文書戰と追々開展しつゝある。滿洲の狀態が全然一變した今日であるから、市としては各方面に態度を一新しなければならぬ。隨つて市民の市政に對する覺悟も、從前よりも全然變らねばならず、又一層眞劍にならねばならぬ。市民に此意氣込あれば市會議員にも反映せねばならぬ。此際市會議員選擧戰は、今少し活氣が早し、今少し新鮮味があつてもよい筈だ。但し新進候補が割合に多いのは多少此の時代の影響を示すものであらうか。今の新事態に適應して、大大連問題、滿洲國と日本國との連結點としての經濟的施設、市自身の內容充實等市として考へねばならぬ多くの問題がある。隨つて市民として自治の精神を、今よりもつと働かせねばならぬ場合が多くなる筈だ。それには、投票すればよいといふのでなく、此際を機として市政の現在將來を改めて考察すべきである。

商店のサービス

本紙八相欄には市民生活に關する生きた社會問題が多く、各方面の注意を惹いてゐることゝ思ふ。其の中の一つで「小賣商店と接客」と題されたのは、大連各商店の顧客に對するサービスが惡く、一般の小賣商店の傾向に比較して時代後れだといふ意味であつた。此のサービスなるものは、近年歐米の商店學として極めて盛んに研究されたもので、特に店員の顧客に對する言語態度等は極めて詳細に渉つて訓練されてゐる。之れが日本にも入り來り、殊に、都市の商店、大商店には採用されてゐる。但し此のサービスも盛んになればなる程一方では資本主義の弊害をも伴ふものだから、歐米大商店流のサービス法を其のまゝ日本に流入することの利害は、更に研究を要する問題である。

併しながらサービスを顧客に對する親切丁寧の精神によつて統理するならば、大小東西古今に通じて、益あつて害なきものである。此の研究によりて小商店でも大商店に對抗の途を發見し得る筈であつて、繁榮策として考量す可き事項たるは勿論である。

商工會議所と手近な發展策

此の八相欄投書の終りに、商工會議所も斯樣な手近な繁榮策に努力したらよからうとの意味があつた。之れも注意すべき言と思ふ。丁度商工會議所も會頭副會頭、書記長とすべての機關が改任されて、新時代に應ず可き陣容を整へた時である。大きな事には夫々努力すべき事も益々多くなるが、從來餘り注意されなかつた細かい方にも盡力するもよからう。高田會頭の談話にも、會議所が一般商工業者と親しみが足らず、商工業の之れを利用すべき設備に缺くる所があるといふ樣な意味の言語があつたやうに記憶する。敢てサービス云々を此處に持ち出すわけではないが、手近なことで、一般の、殊に中小の商工業者の利益になり參考になることを研究したり、又之れを實際に當つて補導したりする方法を講ずることも結構であらうと思ふ。相談部といふやうなもの、計畫があるとも新聞に出てゐたが、恐らく同樣な精神から來るものであらうか。

大連中央卸賣市場改組問題圓滿解決

補償金は日本人四萬五千圓 滿洲人五萬四千圓で手打ち

市役所で最終會合

紛糾に紛糾を重ねて來た大連中央卸賣市場の改組問題はいよいよ十四日午後四時、市役所側から小川市長、岡野助役、當業者側から溝部、田淵、山縣の各代表それに支那側全部市長應接間に會合、吳越同舟、劇的場面の裡に

圓滿解決 した、杉野市長以來四代の市長にまたがり幾多の波瀾を經、曲りなりにも過般の市會において通過した右改組案は補償金問題に絡み當業者側との妥協が付かず市會決議の十月一日より實施出來なかつたので小川市長も當面の責任者とし頗る焦慮の模樣であるが一方大內市會議長も決議機關の責任者とし市長と當業者との仲に立つて種々斡旋するところあり、その結果當業者側から條件の提出も見、忌憚なき意見の交換となり、直接膝詰談判ともなつて漸く妥協點を見出し十四日午後三時半から市役所市長應接間で會見となつた、而して問題の中心となつてゐた補償金は脫退組、殘留組と區別した市長の

原案徹回 しこれを日本人、滿洲人に二分しこれによつて日本人に四萬五千圓、滿洲人に五萬四千圓、北支那青果會社に二萬圓、藏前屯組合に一千圓合計十二萬圓、ソレに出荷獎勵を意味して日本人に二分、滿洲人には山東物の場外取引を禁止する意味に於て四分、何れも荷物取扱手數料として補助する事とし從來の感情を一切水に流し互讓の精神に基いてめでたく握手したのである、時に同四時、日本人側はそれより直に同業者に覺書の捺印を求め滿洲人側は十五日全部の押捺を得、いづれも十五日小川市長の手許まで提出し異議なく誓ひを樹てる筈である

舊市場制の解消に直面して

殘留、脫退兩者語る

長は稍安堵の色を示し頗る氣嫌よく左の如く語つてゐた

杉野市長以來歷代の市長に亘り市政の癌として長年紛糾したこの難問題が今日めでたく解決を見たことは市民共同利益のため誠に慶賀に堪えない、この問題は市會も通過したのだし是非實施せねばならない緊急の必要に迫られてゐた、幸ひ諸君の御援助を得、當業者達にも襟度を示して貰つて縮る感情もサラリと一掃し互ひに手を握つたのである、今まで長曳いたことは市民に對して申譯ないが實施後は充分市場の機能を發揮して御期待に添ふ心算である、なほ將來は大大連の市場として恥しからぬやう百年の大計を樹て場所を選び完備せる施設を行ふ目論見であるが當分は現在の信濃町市場をそのまゝ使用の豫定である

殘留組

殘留組の卸賣人組合長たる同昌號明吉昌氏は語る

◇…どうしても改組しなくてはならぬものである以上、この際解決したのは喜ばしいことです、我々が問題解決につきいろいろの意見を持つてゐたやうに彼是れ傳へられたやうですが、我々が一番重要視したのは要するに場外禁止の廳令が間違なく發布されるかどうかといふことでした、といふのは廳令が出なければ市場で安心して商內出來ないからです、ところが今度いよいよ廳令が出ることを確かめたので一同安心して贊成した次第です

◇…かくて問題が圓滿に解決した以上、今後は通告の經緯をサラリと捨て、市當局は勿論他の仲買人達とも融和協力し以て市場繁榮のため努力することになり一般消費經濟のために貢獻したいと思ひます

脫退組

右に就き脫退組の組合長溝部素太郎氏は語る

◇…多年の懸案たる卸賣場問題が漸く四代目の市長小川さんの手によつてめでたく解決を遂げたことは吾々としても欣快に堪へぬ今迄のいろいろな經緯を思ひうかべて見ると實に感慨無量であるが、それにしてもあれ程解決がむづかしかつた本問題が手のひらをかへしたやうにごくあつさり片付いて見ればなんだか拍子拔けのしそうな感がないでもない

◇…これといふのも市場問題は市民に重大な關係があり本問題の解決は市民の福利增進にあるといふ市長の言葉もありいつまでも爭つてゐたのでは市民の反感を招きまた仲に立たれた關東廳の面目、大內市會議長の仲裁を蔑にすることにもなりこの際涙を振つて解決案に贊成したわけです、私共といへども市民の一人であり瓦となり全きよりも玉となつて碎けた次第です、これで今迄のいざこざもあつさり水に流して新しい市場のために一致して盡力いたします

補償金の分配方法

脫退組で協議

脫退組卸賣人は假調印後溝部組合長の宅に集り補償金四萬五千圓の分配案につき種々協議した結果各卸賣人に問屋權の賠償として一率に各千三百圓を次に二千圓を今後設立される日本人仲買人組合の基金に、殘り三萬圓を各取扱高に應じて按分により分配することに意見の一致を見た

市場取締規則

十五日發布の關東廳令

卸賣市場の市營單一制も漸く當業者側と妥協を見圓滿解決に至つたので勅令を仰ぐ必要もなくなりけふ十五日右取締に關する關東廳令が發令されることになつた、その內容は左の通りである

第一條 中央卸賣市場を開設せんとするものはその取扱ひ品目を定め關東長官の許可を受くべし、同一品目の中央卸賣市場は關東長官の指定する地區內に於ては一開設者に限り之れを開設することを得、前項の指定地區は之れを別に告示す

第二條 中央卸賣市場の開設者以外の者にして中央卸賣市場に於て卸賣の業務を爲さんとする者は關東長官の許可を受くべし

第三條 卸賣の業務を爲す者はその業務を行ふ市場に於て自己の取扱ひ品目の部類に對する物品の仲買業務を爲すことを得す

第四條 中央卸賣市場開設ありたる時はその取扱ひ品目に就て當該指定地區內にありては中央卸賣市場類似の業務を爲し又は中央卸賣市場外に於て卸賣市場行爲を爲すことを得す

第五條 關東長官は中央卸賣市場の開設又は卸賣りの業務を爲す者に對して必要なる事項を命令することあるべし

第六條 第二條乃至第四條の規定に違反したる者は二個月以下の懲役又は二百圓以下の罰金に處す

第七條 法人の代表者にはその屆人その他の從業者法人の業務に關し本令に違反したる時は本令に規定する罰則は法人の代表者に之れを適用す

信濃町市場をその儘新市場に

十一月一日より實施　◇……小川市長談

十四日圓滿妥協を見た中央卸賣市場の市營單一制は近く市參事會の同意を得來る十一月一日より實施の豫定であると、右に關し小川市

リットン報告書の檢討(4)

張學良一派の挑戰

關東軍參謀 臼田寬三氏講演

九月十八日の事變突發は支那の挑戰でないといひ、その理由として種々項目が擧げられてゐるやうであるが、彼等の問ひに對し日本が明快に答へてゐるにも拘らず、何等か爲めにしやうとする張學良等のスパイの言のみを以て報告書の文句を綴つてゐる、然し事變の勃發は斷じて支那の挑戰によるものである、次ぎに述べる事によつてお判りになるだらう。

☆

北大營には當時第六百十九團、第六百二十一團等の精鋭がゐた、これ等を完全に武裝させ數ケ月分の給料を渡し十七日には營庭において彈藥を何十發となく渡してゐる、これは捕虜の言或は拾得した日記等を見ると明かに記載されてゐる、處が第六百十九團、第六百二十一團の精鋭なる團の外に第六百二十團があるが、この團は前の二團に比較するとずつと弱い、茲に支那即ち張學良の計畫があつたのだ、この團の一個連に武裝をさせなかつた、といふのは武裝せずに戰爭が出來る筈がない、日本軍と戰ひを交へれば武裝しないこれ等の兵は逃亡するか無抵抗で降伏するかの途を選ぶより外ない、張學良がリットンに口をすつぱくしていつた無抵抗なるものはこれだつたのだ、無抵抗のトリックさへ前以て用意してゐたのですぞ。

☆

これ等の事は事變數日後判つた事であるが、北大營の裏に相當大きな彈藥庫がある、この彈藥庫には十七日に彈藥を出して閉めた封印がされてゐた、後日の證據の爲めに寫眞を撮りはしたが開けて驚いた廣い彈藥庫の中には一發の彈さへなかつたのです、これを以てしても如何に周到に對日作戰がなされてゐたか知れやう、現に兵隊は三四週間以前から外出止めをしてゐる、これも後で押收した週番日誌に記されてゐた、また北大營附近には御用商人が澤山住んでゐる、これ等御用商人の第七旅團納入品の臺帳を見ると十五、十六、十七三日間に納められたものは少くない、未だに當時の御用商人も奉天に澤山住んでゐる。

☆

元來支那の將校は妾を澤山抱へてゐることによつて有名である、彼等支那將校等は妾達に得意になつて十七日夜「明日は日本と戰爭をするのだ」と語つて居る、又支那將校は出入の御用商人と大抵關係を結んでゐる、その關係上彼等商人は將校の口から得々と十七日夜「明日は日本と戰爭があるぞ」と聞かされてゐる、かうした事實はいくらもあり細い例は多いのである、然しこんなことを一々リットンに報告するのは大人氣ない事であるからして吾々は言はなかつた。

☆

次ぎは日本の錦州爆擊であるがこれも怪しからぬといつてゐる、日本は交通大學が東北政權の中樞をなしてゐたるが故に爆擊したといふ、然し滿洲の政權を握つてゐた張學良は當時北平の順承王府で遊んでゐた、斷じて交通大學は政權の中樞をなしてはゐなかつたといふ、然るに事實は何うだ、張學良の無二の片腕黃顯聲は命辛々逃出して錦州に辿りついて東北の敗殘兵を糾合し滿洲を攪亂し日本に對抗せんと劃策してゐたのだ、それにも拘らず交通大學は政廳でない、然るに日本はこれを爆擊したといつてゐる、日本の執つた行動は決して不信ではないのだ。

☆

日本は屢次飛行機を以て新民、大凌河、錦州と飛行偵察を行つたが、この飛行偵察に當つたところにおいて射擊を受けて仕方がなかつた、然も交通大學附近は大きな建物が並んでゐて自然的に軍事の策源地として好適に出來て居り、一目瞭然軍事的にも動きつゝあつたのだ、これを叩きつぶすのは當り前のことではないか、後から見ると交通大學の入口の扉の下に恐れ多い話ではあるが、わが皇室の菊の御紋章が彫られ泥まみれとなつてゐた、何たる侮辱だ、これにも種々な事情があつて必ずしも菊の御紋章ではないとの話もあるが、彼等のすることである、何をするか判つたものぢやない。

語學校落成式

大連語學校並に大連羽衣高女では來る十六日午前十時三十分より新校舍落成祝賀式を擧行する

教育視察團

十四日發渡日

滿洲國最初の日本教育視察團たる文教部次長許汝棻氏同學司長上村哲彌氏等十四名は帝國教育會の招待に依り十四日午後四時半新京發二十四日朝東京驛着數日間滯在して東京の教育界を視察した上京都、大阪、廣島、福岡等を視察の豫定【新京發】

銀資本の勸業銀行

滿洲國無關係

滿洲に三千萬元の銀資本勸業銀行を創立するとの起案パンフレットがかれて計畫者の手により關係筋に配布されて居たが滿洲國政府部でも右の企圖は全然關係せず政府も持ち株の如きも考へてゐぬと傳へられてゐる【奉天電話】

劉湘軍成都に迫る

【漢口十四日發】成都來電によれば劉湘軍及び羅澤州等の部隊の成都進擊は愈々急にしてその主力部隊は既に順慶に迫り破竹の勢ひを以て劉文輝を壓迫しつゝ西進してゐる、劉文輝は西藏軍の邊境よりする進擊防禦のため大部隊を金沙江方面に遣つてゐるため頗る劣勢で非常な苦境に立つてゐる、劉湘は戰局の推移を靜觀してゐる、鄧錫侯、田頌堯、楊森等の各將領に對し態度決定を迫つてゐるが劉湘の眞意はこの際一擧にして各軍閥を討滅し四川の王座を占めんとするものであると、尙劉湘は十三日附蔣介石宛電報で劉文輝の罪惡を列擧しこの際斷然これを討伐することに決せりと中央政府を全然無視した態度を示してゐる

有吉公使を

滿鐵總裁招待

林滿鐵總裁夫妻は十四日正午滯連中の有吉公使夫妻を滿洲館に招き午餐を共にしたが八田副總裁以下各理事夫妻出席して歡談した

宮崎代議士一行

七日來長ハルビン、チチハルを視察調査をなし再び來長せる政友會代議士宮崎氏外四名は十四日午前中は宮廳子及び日本側各機關を訪問後、午後滿洲國側各總長並に各司長級と國務院において會見、意見の交換を行ひ午後四時よりヤマトホテルにおいて永曜會々員と懇談會を開催十五日午前九時南行の筈【新京電話】

三宅中將滿鐵訪問

三宅光治中將は十四日午後二時滿鐵本社に林總裁訪問、約十分間會談の後辭去した

佐藤次長上京用務

滿鐵々道部次長佐藤應次郎氏は十四日出帆のうらる丸で東京に向つたが十一月初旬歸連の筈で鐵道省その他と鐵道問題の打合せをなし歸途は大阪において關係方面との打合せをなす筈

王永江記念碑

十六日除幕式

金州新市街東鐵龍公園に建設中の故王永江氏の記念碑はこの程竣成したので十六日午前十時より除幕式を擧行するはずである

貴院視察團

奉天事情調査

井上團長以下一行の貴族院議員は十四日午前九時半領事館に川越全權隨員主席と森島總領事代理として中野領事を訪問滿洲現下の狀況を聽き北大營の古戰場に勇士の英靈を弔ひ、闞博敍市長、臧式毅と會見挨拶し滿洲國奉天省の事情につき會談するところありヤマトホテルにて十二時半軍司令官の午餐に臨み休憩の後三時に北陵を見物し五時半省政府招待の晚餐宴に臨んだ【奉天電話】

八相

實際には困難な邦人俥夫

不助

◇邦人の人力俥夫出願者に對し「體面の爲め不許可の內規」を打破せられたる事は誠に結構であり、大連の爲政者並に御歷々の紙上に發表せられたる御意見には敬意を表するものである

◇が併し私は理論と實際と一致せざるを悲しむものであろ、御歷々の御意見では邦人が俥夫にさへなれば喰へて行くといふのが前提であるかの樣に考へられるそれには遺憾ながら贊意を表し得ない

◇私の過去二十幾年間組合役員生活の經驗から割出せば明治四十五年田中署長時代を最初として數回特例が設けられましたが悉く失敗に終つた

◇公表を憚るが或る陸軍の傷痍兵が更生の途を辿るべく苦境を訴ふるの切なりし爲め特例を設けて仕事に從事さしたが

◇これは邦人の意志薄弱であるのか社會の罪であるのか、參考のため以下項をわけて記して見やう

一、生活程度の最低下にある支那の勞働者と拮抗出來ざる事

二、如何に宣傳を巧にするも需用者の取越苦勞から邦人俥夫を歡迎せざる事

三、組合費並に月稅は車主が負擔するとしても被服其他は自己持ちなる事

四、朝鮮其他の植民地の如く帳場營業の實施不可能なる事情にある事

五、貸車をするとしても從來の成績不良の爲め俥主が容易に應ぜざる事(篤志家がある場合は例外)

六、如何に眞面目であつても收入と支出が償はれば何事も成立せざる事

關東廳辭令(十四日)

長官々房文書課長御影池長雄出張不在中代理を命ず　關東廳事務官 水谷秀雄

審議室主査を命ず 官報々告主任を命ず　關東廳事務官 御影池辰雄

審議室主査を免ず 官報々告主任を免ず　同 關原時三郎

旅順高等公學校教授 鈴木定次

關東廳體育研究所指導員 宮畑虎雄

關東廳視學委員を命ず(各通)

大連日本橋小學校囑託 園山民平

關東廳視學委員を囑託

人事

▲日笠芳太郎氏(本社囑託) 夫人同伴十四日午前七時入港はるびん丸にて着連

▲宮本雄一郎氏(靜岡縣選出代議士)以下五名、靜岡縣町村長會駐滿支軍隊慰問團一行 同上

▲星野新三氏(辯護士) 同上

▲原田準平氏(北大教授理博) 同上

▲吉川義章氏(電通大連支局長) 同上

▲鶴谷末吉氏(關東廳理事官) 夫人同伴同上

▲イ・スヒルワネック氏(駐日蘇聯大使館員) 夫人同伴同上

▲藤原義江氏(聲樂家) 同上

▲滿洲國建國祝賀會一行 同上

▲闞博敍氏(奉天市長) 十四日午後「はと」にて來連

▲星長氏(滿鐵社員) 同上

▲剛崎虎雄氏(國際運輸ハルビン支店長) 同上

▲緒方規雄氏(千葉醫大教授) 十四日午後八時着連ヤマトホテル投宿

▲齋藤茂一郎氏(南昌洋行專務) 同上

▲レーボス氏(奉天ベルギー領事) 同上

▲ジョーン氏(青島郵政局員) 同上

▲楢崎觀一氏(大每奉天支局員) 十四日午後四時半發新京へ

▲永井思無邪氏(住友製鋼所員) 十四日午後八時着連遼東ホテル投宿

大觀小觀

日本朝野百二十萬人の署名ある建國賀帳、愈々大連に着いた、一冊四萬人分で三十冊の尨大なもの、之れには執政も、驚いて且つ喜ぶことだらう▲東邊道兵匪の驅逐、極めて好成績、匪賊逃走のあとから宣撫員及び政治工作員を置いてあと始末をする▲北滿水災義捐金、御內帑金四萬圓の外に三十四萬圓、滿人新政に謳歌してよし▲赤色ギャングの秘密本部も暴露され、調査も益々進展す、大森支店の中にシンパ四人も居たとは驚くべし▲リットン報告書につき、露紙沈默を破つて曰く、反日戰線の共同戰線にロシアを捲き込まんとす、滿洲を國際植民地化せんとす、全支那に國際共同借款團を再設せんとす、よく見たよく言つた▲廣田駐露大使歸朝して曰く、ロシアは滿洲問題に好意を有す、滿洲國を事實的に承認してゐる▲汪精衞愈々外遊か、張學良を追ひ出し、學良去れば蔣介石の勢力衰へると見込んで打つた一芝居、ガラリと外れた今日、其の立場は困難だらう▲學良去るなら自分も去ると云ひながら密々居据わりを策して、學良の憤慨的頑張りとなつた▲今度御自分だけの外遊はさびしからう。

本日廳報及廳報附錄 大連市公報を添ふ

市況(十四日)

株式

東新軟調 當市弱保合

東新後場弱保合を入れ當市の五品新豆各二十錢安東新一圓一錢安と引けたが場況閑散

◇定期後場(單位十錢)

銘柄		當限	先限
新豆	寄	二一六	二一九
	引	—	—
五品	寄	二一六	二一九
	中	—	二一九
	引	二一六	二一九

◇延取引

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	三六	三六	三六	三六
新豆	二三五	二三五	二三五	二三五
東新	一六九	一六九	一六九	一六九

特產

豆は低落 高粱強調

大豆は乘替もの丶外買氣薄に低落したが高粱は閑散ながら仕手關係にて強調を呈す、粕と油は閑散保合

◇定期後場(銀建)

▲大豆(低落)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 八十四車

▲普通大豆 出來不申

▲豆粕(保合)單位厘 出來高 一萬二千枚

▲豆油(保合)單位錢 出來高 一千箱

▲高粱(強調)單位厘 出來高 四車

▲包米 出來不申

〈現物後場〉(銀建)

銘柄	寄付	大引
混保(袋込) 大豆(裸物)	五三二〇	五三二〇
普通(袋物) 大豆(裸物)	五一九〇	五一九〇
豆粕	一六二〇	一六二〇
豆油	一三五〇	一三五〇

大豆出來高 十車　普通出來高 十車　豆粕出來高 一萬枚　豆油出來高 五百箱　高粱 出來不申　包米 出來不申

錢鈔

爲替保合乍ら鈔票軟り

日米第四回二三弗二分の一と同事ながら當市氣配強く二十錢高と寄り軟りに引けた

◇定期後場(單位錢)

期	寄付	高値	安値	大引
期近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 三百三十八萬圓

◇現物後場(單位錢)

時	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 銀對金 一萬圓 銀對洋 二萬六千圓

商品

麻袋變らず 綿糸保合

大阪三品後場保合を入れたが當市氣乘薄に見送り麻袋も變らず保合

銘柄	約定期	値段	俵數
●綿布 ●綿絲 軍人	十月限	六三〇	一〇

出來高 十俵

奧地市況

銘柄			
▲奉天票	現物		六四、二〇
▲奉天大洋	現物	九二、四〇	九二、七〇
	先限	一〇七、〇〇	一〇七、二〇
▲開原大洋	現物	九二、五〇	九二、六〇
▲長春大洋	現物	九七、二〇	九七、二〇
▲哈爾賓大洋	現物	七三、八〇	七三、八〇
▲安東鎭平銀	現物		

市場電報

神戶特產

銘柄	限		
▲哈爾賓大豆	當限	一、三二一	一、三二八
	先限	一、三二七	一、三二五
▲哈爾賓小麥	十二月	九九五	一〇〇〇
	十月	一、四四〇	一、四六〇

大豆現物 不申　先物 不申　豆粕現物 一七二　先物 三五三　滿洲小麥 五五〇　豆油現物 不申

東京株式(長期)

銘柄	後場寄	後場引
一回(東株)	一五八〇	一五七〇
一回(東新)	一六三〇	不申
二回(東株)	一五七〇	一五七〇
二回(東新)	一六二七	一六二六
五品 中	不申	不申
先	不申	二三四
豆 新	二三〇	二三〇
中	不申	二三五
先	二三五	二三五

東京株式(短期)

銘柄	東新	鐘紡
寄値	一六二五	不申
引値	一六一九	二〇七二
高値	一六二八	二〇七二
安値	一六二三	二〇六九

大阪株式(長期)

銘柄	鐘新	滿鐵新
寄値	九二九	不申
引値	九三〇	不申
高値	九三〇	不申
安値	九二五	不申

大阪株式(短期)

銘柄	後場寄	後場引
大株	六七四〇	六七二〇
大新	六二〇〇	六一四〇
鐘紡	二〇九〇	二〇九三
鐘新	九三五	九三三
東株	不申	不申
東新	一六二一	一六二〇
日糖	五八〇	五八〇
郵船	不申	不申
滿鐵	不申	不申
滿鐵新	不申	不申

銘柄	大新	鐘新		東新	滿鐵
寄値	六一九〇	九二八〇		一六二六	五一六〇
引値	六一六〇	九二七〇		[illegible]	五一六〇
高値	六一九〇	九二八〇		[illegible]	五一六〇
安値	六一六〇	九二五〇		[illegible]	五一六〇

大阪期米

限	後場寄	後場引
十月	二〇四九	二〇四八
十一月	二一〇四	二〇九八
十二月	二一四二	二一三八

神戶期米

限	後場寄	後場引
十月	二〇六八	二〇五四
十一月	二一〇〇	二〇九六
十二月	二一四九	二一四二

東京期米

限	後場寄	後場引
十月	二〇三九	二〇三二
十一月	二一〇〇	二〇九三
十二月	二一三四	二一二九

大阪綿糸

限	後場寄	後場引
十月	一六七一	一六七九
十一月	一六八六	一六九二
十二月	一六九九	一七〇五
一月	一七〇九	一七一四
二月	一七一六	一七二一
三月	一七二四	一七二三
四月	一七二九	一七二三

橫濱生糸

限	後場一節	後場二節
十月	八五三	八五一
十一月	八四三	八三八
十二月	八三二	八二八
一月	八三五	八三一
二月	八三六	八三九
三月	八三六	八二九

退職特別賜金交付公債政府買上價格 至十月二十日分 額面百圓ニ付 九拾參圓九拾錢　關東廳

滿日各地版

滿洲國、大英斷で度量衡を改革
ドイツの行つた先例に倣つて經濟發展のため斷行

【新京】從來滿洲國內には度量衡の不統一のため經濟發展の上に種々の不便を來すのみならず農民はこれが不統一のため不良官憲の搾取を受け困窮甚だしきものがあり度量衡の改正については建國以來叫ばれてゐた問題であり新聞紙上にも二三掲載され來つたが實業部當局に於ては目下銳意研究中である、而してこれが改正は滿洲國の經濟上一新紀元を來すのみならず從來搾取に搾取を重ねられて來た農民は統一と共に大體三割の利益を示し自然購買力を增加することゝなり斯界の發展を示す事明であるしかしながら急激なる改革は教養のない現住民に多大の不便と錯誤を與へることになるので關係當局でもこれを愼重に考慮中であるが曾てドイツで普佛戰爭直後大英斷を以て改革に當りドイツ產業界に幾多の利益をもたらしたに鑑み滿洲國に於てもこれにならひ一大斷行を試みんとしてゐる

長大內在鄉軍人分會長滿鐵現業員代表林保線區長弔詞朗讀、次に山の內中尉は武藤軍司令官井下守備隊司令官滿鐵正副總裁其他數十餘對の弔電を讀み次ぎに弔詞の順序で燒香其他守備隊家族代表松井中隊長婦人婦人會代表大內署長婦人沿線代表熊岳城地委員古川議長山路校長雪本校長吉村國境警察隊長の燒香最後に松井中隊長參列者に懇篤なる謝辭を述べ併せて第四中隊將士一同は元氣で警備の任務を果してゐるからどうぞ御安心下さいと挨拶をなし午後四時終了したが斯くも盛大なる慰靈祭は生前の勳功を語るもので故人の冥福を心から祈つて退散した

故渡邊上等兵の守備隊葬を執行
瓦房店稀にみる盛儀

【瓦房店】九月十三日午前七時四洮線開通驛附近の激戰に於て獅子奮迅の働きをなし赫々たる武勳を現はし壯烈なる戰死を遂げ護國の神となつた故陸軍步兵上等兵渡邊春次勳位の守備隊葬は佛式により十月十三日午前二時半より市民倶樂部に於ていと莊嚴裏に執行された

祭壇正面には故陸軍步兵上等兵渡邊春次之靈と名旗を揭げ白布に包まれた悲しき姿の遺骨を上段中央に安置しありし日生前勇氣潑溂たる俤を偲ぶ半身像を奉安儀仗兵四名左右に着劍いかめしく靈を護る祭壇には大內警察署長越智地方事務所長石井驛長林保線區長廣本分區長警察署員一同其他より贈られたる供物を備へ松井中隊長及第四中隊將士一同より心を込めた活花を左右に立て武藤關東軍司令官關東長官井上守備隊司令官滿鐵正副總裁岩田三大隊將校團第四中隊將士一同荒川領事大內警察署長越留地方事務所長遼陽時局委員會熊岳城時局委員會國境警察隊其他より贈られたる十數對の花環を左右に飾る陸軍側岩田大隊長西川大尉山元中尉片山中尉第四中隊松井中隊長以下三十六名鐵道事務所長越智地方事務所長大內警察署長其他各所長滿洲國李縣長代理荒川參事張實業局長其他日滿官民及沿線各地より多數參列式場は狹き迄にギツシリ滿ちたが流石に水を打つた樣に寂として靜かである

先づ伊藤中尉の司會で略歷を指示して詳細なる戰況の報告次ぎに大連本願寺鈴川草野瓦房店福原本願寺小川昭和寺妙法寺五ケ寺の僧侶の讀經香煙縷々として立ち昇る次いで松井中隊長の弔詞に一同哀愁の淚を誘ふ、續いて越智地方事務所長大內警察署長李縣長代理張實業局

野本巡查部長署葬執行

【撫順】撫順署應援警官として警防中十二日夕管外塔連に於て七名の匪賊潛入匪賊の一隊と交戰し賊彈に心臟部を打ち貫かれて現場に卽死した大連警察署勤務關東廳巡查部長野本隆治氏の葬儀は十五日午後一時から撫順警察署々葬として同署構內に於て嚴かに執行の筈であ

撫順縣下被害者を縣公署當局で救濟
匪賊に蹂躪された跡

【撫順】匪賊に蹂躪された撫順縣下千金堡外六ケ村の住民は目下家は燒かれ衣食はなく秋風冷たい昨今全く氣の毒な狀態にあるので撫順縣公署では右各村の罹災民を救濟するとゝもに各村の復興をはかるべく今回右に關する布告を公布するとゝもに夏縣長を委員長として救濟委員會を組織し又奉天省公署より四萬元、撫順炭礦より三萬五千元の救濟基金を仰いで目下着々救濟の歩みをあげてゐるが、委員會では中央に民會、建築、計畫、宣傳調查の各部を設け又各村には現地委員若干名宛を設けて罹災の程度其他を查定連絡してゐるが罹災民に對しては目下一日一人十錢の食費を支給し又家屋建築補助として五人を一戶として五十圓を支給しつゝあり、罹災民はこゝもと躍喜してゐるが、被害狀況を示せば

村別	人口	死者
千金堡	二、七九一	八六
大東州	一、二八八	三七
小東州	七九四	七
東州河	九二〇	八
寨承濟	八九六	七五
平頂山	一、三六九	四〇〇
揚柏堡	二八	一三
計	八、〇五八	六二〇

特產運搬に滿洲國の警備策
裝甲自動車を配備

【新京】特產物出廻り期をひかへ地方匪賊の橫行の爲めに百姓の特產物運搬に支障を來し爲めに特產商の打擊大なるものあるが實業部では重大問題とし之等の運搬方法を考究中であつたが軍部滿鐵の了解を得て地方の各主要都市に裝甲自動車を配置し匪賊の襲擊にそなへる事になり豫算約十五萬圓を計上具體的方法に就いて研究中であるが旣に大連及奉天に部員を特派了解運動中である、而して兩方面も大體に於て之を諒としておる模樣で近く實施されるに至る筈である

特產の出廻遲延で吉林の經濟界寂寥
金融界も著しい閑散ぶり
注目される出廻後

【吉林】朝は早くから夜は遲くまで愛と汗で働き續け、豐年や萬作を祈り、且樂しみながら植え附けた農作物が旣に刈取りの時期が來て居るにも拘らず匪賊の橫行甚だしきため折角汗の賜として豐に實つた田園を眺めながら手を付ける事も出來ず、一般農民は困窮の極に達してゐたところ過般來我が官憲の應援保護のもとに漸く刈取を開始したが、これが例年ならば九月頃より本月頃は頗りに活氣を呈して各經濟界にも相當な景氣を見出せるべきであらうが前記の如き有樣にて本年度の特產物出廻り期は約二ケ月の遲延で、先づ本月末より來月がその動搖期と見るべきが至當である、これに依つて現在經濟界は如何なる程度に動いて居るか、某經濟通の言に依るならば現在の吉林經濟方面は全く今の處話にもならない樣な有樣で、特產品の出廻期になるまでは其の豫想も付かないと、しかし追々刈取りも進んで居る現在、遲く共來月頃は多少の活氣を見せるものと豫想されてゐる、更に金融機關は如何なる方面に動いてゐるか、數字的にこれが統計を示せば大體左の如くであるが、これは吉林滿銀支店に於ける預金及び貸金を區別的に示すものである

昭和六年より預金の部

▲（八月）日本人四〇六、五九九六圓、支那人三四、六九一圓、外國人五、〇八四圓合計四四六、三七一圓▲（九月）日本人三九三、九一八圓、支那人八、一五四圓、合計四〇二、〇七二圓、▲（十二月）日本人金票四八二、〇七二圓、銀票六六七、五六六圓支那人金票一〇、三八九圓、銀票二二、三〇〇圓、合計金票四九二、四六〇圓、銀票八九、八六六圓▲（昭和七年三月末）日本人金票四〇四、三五二圓、銀票一七、一九九圓、支那人金票二九、三四五圓、銀票五一、二三〇圓、合計金票四三三、六九七圓、銀票六八、四二九圓▲（九月）日本人金票八四一、二二三圓、銀票七六、六〇〇圓、支那人金票四八、八六八圓、銀票五三、三一二圓、合計金票八九〇、〇九〇圓、銀票一二九、九一二圓

貸出しの部（昭和六年度）

▲（八月末）內地人四九、一八二圓、支那人二四八、八八〇圓、合計二九八、〇六二圓▲（九月）日本人四六、〇〇一圓、支那人二五、六九九圓、合計三〇一、七〇〇圓▲（十二月）日本人金票四六、一〇〇圓、支那人金票二七、二二九圓、銀票八、〇〇〇圓、合計金票二六五、七六〇圓、銀票五四、一〇〇圓▲（昭和七年三月末）日本人一一八、一〇九圓支那人金票三七、三五〇圓、合計金票三三〇、四三三圓、銀票三三七、三五〇圓▲（九月）日本人五二、二四五圓、支那人一八二、九五〇、合計二三五、一九五圓

右の通りであるが一般的に日本人の方は木材關係が多く、支那人は貿易商人の取引多くして、統計表を見ると貸出の六年度九月以後の減少は事變の影響を受けたものと、昭和七年度九月の如きは例年に比して實に減少を示して居る、然し十一月に入つてはこれ等の減少も稍恢復するものと思はれるが、現在の處此の位のものであらう、預金の方は日本人側では相當增加を示して居るが、これは事變に際しての軍部關係が多く、支那人の方は事變當時以後が其の影響を受けて少く現在は稍向上の域にあり、果して此後の出廻期を控へての經濟界の動きに注目されてゐる

高粱刈取で匪賊は附屬地へ
奉天署嚴重な警戒

【奉天】沿線匪賊の跳梁に際し奉天附屬地は我軍警の不眠不休の嚴重なる警戒で一歩も寄りつけず一件の强盜事件さへなくて濟んだが今後高粱も刈り取られ隱蔽物がなくなつて橫行の自由を失つた賊團は四散して漸次沿線附屬地內に潛入する模樣あり奉天署では更に之が警戒を嚴にしてゐるが是等不良分子の潛入で市內にコソ泥が殖えないとも限らないし旣に附屬地境界線ではこうした事件が多くなつて來たので一般市民もこの際大いに注意されたいと

鮮農逃げ歸る

【撫順】撫順南方三里岡家堡子の鮮農崔元德外五名は最近時局稍安定したため現地に歸農し永稻刈取中匪賊に拉致され平山子部落に於て匪賊のため耳を切落される等の慘行をうけたが、匪賊團が討伐隊と衝突した隙に乘じ十三日身を以て當地に脫出して來た

氏は原籍地新潟縣中頸城郡津有村上野田に生れ昭和五年一月高田步兵第三十聯隊第三十聯隊第二中隊に入營、六年一月滿洲駐屯を命ぜられ四月旅順に駐屯聯隊に加はり昨秋の事變勃發と同時に多門師團の麾下に加はつて江橋を初め吉林、大興、チチハル錦州、哈爾濱と南北全線の大戰鬪に參戰して顏面、手等に負傷し赫々たる勳功をたて、今春四月二十日大連出港內地に凱旋し五月步兵伍長に任ぜられ滿期退營し、越へて六月一日關東廳巡查を拜命大連署に勤務中本月三日撫順署應援隊に加へられて來撫附屬地附近の警防に勤務してゐたものであるが沈着剛膽なる勇士で今回匪賊と衝突の際も身に一彈を受けながら四發まで發砲應戰して居り所持の騎銃には銃把に賊彈が深く縱貫し當時の激鬪を偲ばせてゐる

學童使節の手紙各學校に配布す
お友達への返信に懸命

【安東】曩に來滿した可愛らしき訪滿學童使節一行は各地に於て日滿親善の意義深き足跡を印し多大の收穫を齎して無事歸國したが、日本全國學童より安東の學童に贈られた心からの親愛な文章に認められた繪葉書數千枚並に滿洲語に譯した鳩山文相よりのメッセーヂ（去る三日大和校に開催の日滿學童交驩會に於て朗讀したもの）約五千枚は十一日安東縣公署に屆けられたので直に各學校に配布することゝなつた、尙日本側は旣に各校生徒にそれぞれ配布ずみで母國のなつかしいお友達への返信を認め滿洲國の眞實の姿を紹介しようとしきりに文案を練つてゐる模樣である

リットン節
正論を天下に示すため
廿日奉天から放送

【奉天】リットン報告書に對する日本朝野の激憤は今や底止する處を知らぬ有樣であるが滿洲樂界の耆宿樂童村岡氏はその正當なる批判を天下に呼びかけるため人口に膾炙し易いリットン節を作り來る二十日樂童氏自ら奉天放送局より全滿及び內地へ放送することになつたその歌詞左の如し

津上蒼洋作歌　村岡樂童作曲

一

認識不足の聯盟が
調查委員を派遣して
支那と滿洲を調查する
調查もよいがリットンさん
顧と二人で水入らず
お舟に乘つたも乙なもの
アラ……リツトンサン

二

海陸分離の三班で
滿洲入りの調查員
之から先が命懸け
懸ける命は一つきり
顧が惜むも無理ぢやない
お腰を拔かして惡宣傳
オヤ……リツトンサン

三

調查の結果は知れたこと
我が朗かな大滿洲
三千萬の民衆が
學良倒して建てた國
極東淨土の平和鄉
文句つけるな調查員
オヤ……リツトンサン

開通した洮昂線發着時間表
當分一日一往復

【チチハル】北滿未曾有の大水害により洮昂線は去る七月下旬以來不通となつたので洮昂鐵路局では一時的便法として船車連絡により貨物旅客の輸送を實施すると共に一方破壞個所の復舊を晝夜兼行で急ぎつゝあつたが最難工事の江橋鐵橋も此程漸く修繕を終り十日試運轉の結果成績良好なりしため十一日より洮南龍江間の列車運行を復舊することゝなつた、然し匪賊の橫行甚だしき爲め當分の間晝間のみの一日一往復とし龍江、洮南兩驛發着時刻は左の如くである

△洮昂線上り（各等）
龍江驛發　午前九時
洮南驛着　午後五時二十五分

△洮昂線下り（各等）
洮南驛發　午前七時三十分
龍江驛着　午後三時十分

△齊克線下り（各等）
龍江驛發　午前七時
泰安驛着　午前十時二十八分

△同　上（二、三等）
龍江驛發　午後〇時十分
泰安驛着　午後四時

△齊克線上り（二、三等）
泰安驛發　午前七時
龍江驛着　午前十一時

△同　上（各等）
泰安驛發　午後二時十分
龍江驛着　午後五時四十五分

△中東線上り
龍江驛發　午前七時四十分
中東驛着　午前八時三十分
龍江驛發　午後一時五十分
中東驛着　午前二時四十八分

△中東線下り
中東驛發　午前九時十分
龍江驛着　午前十時十五分
中東驛發　午後三時三十分
龍江驛着　午後四時二十分

この苦心、この美擧
馬占山討伐戰から（一）

本稿は北滿の曠野で降雨と洪水と泥濘と蚊軍と戰ひながら文字通り惡戰苦鬪、馬占山討伐に當つた部隊將兵たちの手記である

敵出る迄

此處小興安嶺の西の端劉家店の一軒家、時七月廿七日夜正子夕刻より泣き出した空、雨は次第に强く軒を打ち暗澹たる夜に一入凄慘の氣漂ふ、乏しき蠟燭の光の敵に漏れるを恐れて、天幕を以て掩ひ中に集ふは大隊長、副官外二三名千餘の馬軍殲滅を期しての配備に一兵一銃をも惜みて第一線に出し大隊長の下には警備に任ずべき一兵もない。

身を沒する草原を豪雨に打たれて傳令が歸つて來る「敵の無電が入ります」……無線通信手金成上等兵が報告する「ローマ字暗號で……」距離は「二十四日のより非常に近く四粁乃至七粁半徑內に敵の居ること確實であります」通信手の自信ある判斷に、忍び入る夜風に大隊長の聲が微に響く、燃ゆるが如き信念と鐵の如き決心、此間總ての作戰計畫を立て、命令は下達せられた、遠隊の部隊に傳ふべく傳令が一人、二人闇に消へて行く、二十四日徹宵警戒し、馬軍全滅の大計畫のもとに發二十五日午前一時、急遽正白旗六井より三井五井の間に出動、陣地を占領し拂曉濃霧に掩ばれ東進の狀を知り踵ふ間もなく郭家店東方地區に轉進した大隊主力、東進する馬軍千を王格廠附近に奇襲せる江澤部隊數十年來の豪雨に道といはず畑といはず、山の頂迄が膝を沒する北滿特有の泥地を行程十餘里、休憩の暇を惜む。急迫せる情況に、濕地に「モガク」戰友を銃を以て援け出し、圓匙に馬脚を掘て救ひ出し、斯くすること數度、全身泥まみれとなる、此頃携行する糧秣旣に乏しく文字通り連日不眠不休不食にて疲勞其極に達し、漸くして馬軍北進の要路劉家店附近に到着した。

企圖秘匿が此處もと最大重要事、晝の工事は勿論、喫煙、談話も愼まねばならなかつた、小康を得た空は次第に暗く險しく、夕刻に到り豪雨沛然として來り、山脚といはず山頂に到る迄流水草を靡かせ雨宿りする一木なく全身濡れ鼠の如くなり、加ふるに膝よりは水に浸り遠雷に「銃聲か」と耳をそば立て時折り來る雷光に透視し「敵騎近づき」と疑心暗鬼を生ずるは此の心情を讃へたものか、加ふるに蚊群の攻擊は口といはず眼といはず、追へども盡きぬ、車がかりの陣備へと許り猛襲し、一代の怪傑馬占山も物の數とも思はぬ、上州健兒の「つはもの」も此處許りタジタジの態、未だ宵ながら明ぬべき夏の夜も、今宵のみは長きこと未だ曾て見ない所、斯くして徹宵豪雨と蚊群に惱まされ明くれば七月二十七日、我軍旗拜授記念の日、夜來の豪雨も小止みとなり、朝靄の漸く霽て一面の草原眼前に展開する頃、時しも午前正に九時、豫て出した展望哨より「敵縱隊見ゆ「定めの信號あり「脊が聲が高い」と制する戰友一分、二分敵の大縱隊は刻々迫る、伏す、三百餘名の心中や如何。

幸ひなる哉、努力は報ひられ、二十七、二十八兩日大追擊の後二十九日拂曉文字通りの全滅戰を敢行し、軍人最高の名譽たる感狀を授與せられ、我が軍旗の榮光なして輝かしめた（小河軍曹）

敵から糧秣給與

劉家店附近の戰鬪より追擊に追擊を加へられた敵は携帶糧秣（砂糖、馬鈴薯、干葡萄）を捨て、命からがら遁走する、家ある每に其處にて馬鈴薯を煮る、未だ煮へ切らない內に吾が追擊隊が到着する彼等は其れを捨てゝ遁走する……此等馬鈴薯砂糖等を食ひながら（勿論空腹を滿たすことは出來ない）追擊する吾が追擊隊ほくほく、誰か云ふ「敵は吾々に糧秣を給す」と、實に遁走する身の悲しきぞ。

顏の形變る

馬軍殲滅戰より正白旗十六井に歸つた或日の午後、〇〇一等兵が手拭で顏を覆ひ襦袢袴下を洗濯して居ると〇〇上等兵曰く「ニーニー早く水を持ち來れ」と、一等兵は支那人に間違へられたのだ、一等兵は憤慨した、一等兵曰く「顏は蚊に食ばれて變形するし頭髮は伸びる、それに榮養不良で瘦せ衰へ髮大盡」支那人と間違へられても仕方がないと

沿線往來

▲森楠吉氏（全權府情報課勤務）十三日着任
▲茄田博夫氏（奉天驛事務助役）今回滿鐵々道部庶務課に榮轉さなり不日赴任の筈
▲濱田耕作氏（文博京大教授）十六日奉天城內皇宮博物館を視察午後三時發安奉線で平壤へ
▲梅田潔氏（東大教授）同上
▲淸水遼陽署長　警務會議列席の爲め十四日朝奉天へ
▲東北帝大小野教授は十六日、平壤燃料廠角大佐は二十二日來撫の筈

第九回煖房展覽會

十月 15日 16日 17日

於大連民政署横空地

猛烈な敵の攻擊に後退する學生軍

壯烈なる追擊戰展開

旅大道路の聯合演習

命令	
東軍	軍は正午以來猛烈なる敵の攻擊を受け黑石礁附近に後退するの已むなきに至れり學生は當面の敵と決戰を避け郭家屯既設陣地まで後退し爾後軍の右側を掩護すべし
西軍	萬難を排し當面の敵を驅逐し敵の側背を脅威し本隊の攻擊を有利ならしむべし

關東州內學校靑年訓練所及び旅順重砲、海軍陸戰隊の聯合演習は十…

□□隊形紊れず□□（聯合演習所見）

結びがたき露營の夢

敵影月明に出沒

これに對し後退中の東軍も漸く全部隊既設陣地たる郭家屯に集結し得たので同地に於いて最後の決戰を試みんとしたが蒼然たる暮色漸く迫り來り視野狹ぜすために東軍は同地に西軍は大辛寨屯にそれぞれ露營することに決しこゝに演習第一日の夜間戰鬪となる

兩軍參加各學生徒は漸く身にしむ秋風をものともせず月明を浴びて飯炊爨、前哨線の警備につき又兩軍盛んに斥候をはなつて敵情をさぐり又小銃部隊を以て夜襲するなど挑戰の準備にかかつた

しやツ、小癪　猪島の賊

旅順署口惜がる

十三日猪島に現はれた海賊十三名はその後の調査によると賊艇は十一日頃猪島に上陸全島民を全部監禁してゐたことが判明した

猪島は全島民共全くの貧民部落であるがため金品物資を掠奪を目的とせば賊團が案外の貧之村に一驚を喫したことゝ推察されるが、一方實狀が何等の收獲物も皆無な孤島に三日間も滯在してゐた不敵大膽振りは見方によればやはり天下好一味の者が天下好の狀況を探査すべく來襲した者では無いかとも想はれる

十一日猪島上陸後掠奪乘艇して來た船はそのまゝ追跡したのでこのジヤンク艇が卽刻通知すれば旅順署はみごと一網打盡逮捕の快報が齎されたのであつて署員一同は大に口惜しがつてゐる

滿鐵附屬地の匪賊防禦設備

滿鐵地方部匪賊出沒のおそれある各附屬地市街地に匪賊防禦用として約五萬五千圓の經費を以て鐵條網その他の設備を行つてゐたが最近全部の完成を見たので取敢ず今回はこれを以て防禦設備を打切ることゝなつた

西部戰線異狀なし

第二段階、文書戰展開の

大連市議選擧戰

齒科醫學會總會

南滿洲齒科醫學會第十七回總會は十六日午前九時より大連醫院大講堂にて開催、當日の學術講演は左の通りである

一、臨床瑣談　川越己之助
二、重篤なる急性左右下顎骨々髓炎の經過に就て　吉岡　支一
三、犯罪人と過剩齒發生について　大島　新平
四、自家考案の「アロイピン」陶齒利用の「ダミー」に就いて　小林喜三郎
五、興味ある表皮癌の一例　野澤　鈞
六、女性の口腔と生殖器　原正平
七、演題未定　矢島　好定
八、余の考案による紫斑病患者齒齦出血における止血裝置に就て　遠藤至六郎
九、「モヒ」患者の口腔所見　德坂　恒夫／岡本　樂一
十、「ワンピースキヤスト」製作順序　鈴木　忠男
十一、琺瑯質と象牙質との境界部に於ける組織學的所見　橫山　東一
十二、「ヌペルカイン」の齒科的價値　野津　鈞／矢島　好定
十三、舌潰瘍の一例に就て　寄藤　好郎
十四、大島「キヤスト白金アロイ」の「デモンストレーション」　小林喜三郎
十五、重罪犯人の口腔　大島新平
十六、所謂劣等兒の血型と齲蝕との關係　吉岡　支一
十七、唾石症に就て　吉見　勇
十八、臨床例一　寄藤　好郎

大連官民有志　林總裁招待

新任理事も出席　昨夜ヤマトホテルの歡迎宴

大連民政署長、市長、商議會頭、市會議長等主唱の大連官民有志の林滿鐵總裁、新任山崎、河本兩理事歡迎の晩餐會は十四日午後六時半から大連ヤマトホテルで開かれた、林總裁、山崎、河本兩理事、西脇秘書役をはじめ市中から小川市長、大內市會議長、高田商議副會頭、築島商議副會頭、榊本海關長等官民約百三十名出席、殊に滿洲國人側の出席が多かつたことが注目をひいた、同ホテル大食堂で歡談裡に宴…

漸く顏觸が揃ふ

旅順市議戰々機來

爭奪戰

西部戰線

謝答禮使の日程

來る廿六日まで滯京

【東京十四日發】愈々十七日神戶入港のうらる丸で來朝する承認答禮使謝介石氏の日本滯在中の日程左の如し

▲十七日神戶入港▲十八日午前九時二十五分臨時列車で入京、同日參內大宮御所、宮家等に伺候（旅館は帝國ホテル）▲十九日公式參內、午後明治神宮、靖國神社參拜▲二十日多摩御陵參拜夜外務大臣晚餐會▲二十一日濱離宮で鴨獵、夜陸軍大臣晚餐會▲二十二日夜海軍大臣晚餐會

二十三日を以て帝室の接待を了へ二十六日まで滯京の筈だが同使節は明大出身なので同大學ではこの間何等かの催しを行ふ筈

滿洲展期待さる

搬入締切は二十四日

爐邊戀しく

愈々けさ九時から

煖房器具展覽會

本社主催の煖房器具展覽會は過般來より大連民政署橫空地に於て會場設備の準備中であつたが、いよいよ去る十三日出品參加者廿七名本社に參集して七十四小間の多數の割當ても終了し本十五日より十七日まで三日間、午前九時より午後五時まで盛大に擧行することになつた出品者側もこの機會を利用して決死的サーヴイスを以て宣傳するといふ意氣ごみを見せてゐるので需用者としても多數の煖房器具より充分セレクトして購入すれば相當安いものが手に入るわけである…

文藝欄

競馬記念祝賀

十五日星ケ浦

大連競馬俱樂部では十五日午後二時より俱樂部創立十週年記念祝賀會を星ケ浦競馬場にて開催するが當日は俱樂部關係者約千名を招待し祝賀式後十ケ年勤續の役員及び從業員の表彰を行ひ終つて福引並に餘興がある

大和尚山探勝會

一、日時　十月十六日（午前七時滿電…）
一、募集人員　先着者二百名（十五歲以上健脚家）
一、會費　金一圓五十錢（晝食つき）
一、コース
第一班　響水寺＝觀音閣＝頂上＝石鼓寺＝朝陽寺＝響水寺
第二班　響水寺＝朝陽寺＝石鼓寺＝山頂＝朝陽寺＝響水寺
附記　第一、二兩班とも一時半には響水寺に歸着につき、響水寺に於て二時間休憩その間谷を鑑賞三時半同地發、途中谷山果樹園を經て五時大連着
一、會券取扱　滿電常盤橋待合所、バス待合所滿日本社

主催　滿洲日報社

銀行からシンパ四名を引致

碇玉舟畫伯來連

藤原義江のレコードが

全部揃ひました　御試聽は是非

西通七八　一木洋行へ　電二二四六七

神嘗祭遙拜式

大連神社では十七日神嘗祭の當日午前十時より例年の通り同社境內遙拜場に於て大連民政署長、大連市長、滿鐵總裁始め氏子役員等參列の上遙拜式を執行する

奬學會運動會

家族慰安會

御嶽教秋季大祭

市內八幡町十一番地御嶽教會では秋季大祭として十七日午後七時より前夜祭同十八日正午より本祭を執行し式終了後餘興として參拜者には福引あり第一等當籤者には奈良一刀彫の巨匠加納鐵齋次代市川鐵琅師作彫の神大黑天尊像（御丈五寸）一體を贈呈すると

けふの滿日講堂

▲原田聚文氏油繪展覽會　十五、十六、十七の三日間每日午前九時より

安樂椅子

會葬御禮

母イセ儀昨十四日午後五時死去仕候間生前辱知の諸賢に謹告仕候

追て葬儀は十五日午後四時東本願寺に於て執行可仕候

大連市西通り（朝日舍）

昭和七年十月十五日

小野一次郎　親族　同

父與根藏儀病氣中の處十四日午後一時死去致候間此段御通知に替へ謹告仕候

追而十五日午後四時途中行列を廢し西本願寺に於て葬儀執行仕候

昭和七年十月十四日　大連市近江町三十三番地

男　佐々木與一郎　鳥羽鐵工所

會葬御禮　滿洲國協和會中央事務局　林　兵吉

曙の鐘（437）

倉田潮
河野想多畫

曙の鐘（六）

通夜の夜更けになつてから平津が自動車で乗りつけて來た。彼はあけみの自殺したことを告げようと淺駒の小舍に行つて、そこでマリアの死を聞き、驚いてこゝへ馳せつけたのだつた。

一座の人はあけみの自殺を聞くと憮然と驚いた。が、誰もマリアが生前人の惡口を云つたことがないことや、惡人を讃美してゐたことを思ひ出して、あけみの離章のやうな生涯を批判しなかつた。平津はマリアの靈前に合掌してやゝ暫くめいもくしてゐたが、座にもどると一同に向つて、

「通夜の席で自分のことを申すのはおかしいですが、時が迫つてゐるので押て申上げます」と云つた「私もこれでいよ〳〵自分の役目を果したつもりですし、それに皆の仲間からしば〳〵督促をうけてゐるので、今夜を最後に皆さんと御別れして、また新しく海上生活をしたいと思つてをります。私は幾度も逢つてはゐませんが、マリアさんの言葉の中には今もなほ私の頭の中に忘れないで殘つてゐる名言があり、それが時々私の心を鞭うち勇氣づけてくれるのです。明日から取りかゝる私の海上の新生活も、その言葉に影響されるところが多いだらうと、今も靈前に感謝の意を捧げたつもりです。それから此處へ來る前に辯護士のもとへ行つて、お夏より子宏川などが何のくらゐの刑をうけるものかと聞いて見ましたが、その云ふところによると何れも不能犯なので、それほど長いこともない、特に獄內の務めがよくて改悛の心が見えれば數年にして歸されると云ふことでした、彼等がもし無事に獄を出たなら、私は留守ですからマリアさんの生前の教を皆さんから傳へて新生涯に這入るやうに勸めて下さるやう御願ひ致します」

「承知しました」

と淺駒が答へると、よもぎは感激をすゝめて

「平津さんまでマリアの言葉に感じてゐるのですか。私達も今も話し合つたことですが御同樣マリアの教へに深く動かされてゐるのです」

「特に私達は」と春木がたえ子をかへり見て云つた「私達は將來マリアさんの教へを金科玉條として世の中を送つて行き度いと思つてゐます。

「聖書の中に」とたえ子が言葉を繼いで「一粒の麥もし地におちて死なずば唯一つにてあらん、もし死なば多くの實を結ぶべし、と云ふ句があります。マリアさんは死んで多くの實を結びました。こゝにゐる人總てがマリアさんの主張に感じて甦生たちかつたのですからマリアさんの實から生じた芽だと云つて差つかへないでせう」

「特に春木さんとたえ子とはマリアの實から生じた美しい雄花と雌花ですわ」

さう云つてよもぎは二人に握手させた。二人はその手を暫くの間解かなかつた。よもぎは言葉をついで、

「皆さん。私達はほんとにマリアの實から生れた新しい芽のつもりになつて、改めて人生の第一歩を踏み出しませう」

「さうです」

と一同はそれに應じた。その時夜はほの〴〵と明けかゝつて、曙の鐘は一室に集つた甦生の人々のかど出を祝福するかの如く、通夜の闇を追つていん〳〵と鳴り響いた。

一同は皆首を垂れて、黎明の空氣に波紋を織つて廣がつて來る其の鐘の音に聞き惚れるのであつた（をはり）

新刊紹介

▲農業の滿洲（十月號）關東州內に於ける支那人農業（栅橋民）北滿に於ける肉用鳥及鷄卵集散狀況（滿鐵哈爾濱事務所）在滿邦人農家の經營狀態、邦農移民に對する農業經營の指標（岡川榮藏）滿洲移民の水稻は母國の產業を脅威するが（黑澤謙吾）日本蠶業の將來と滿洲の養蠶（湯川秀夫）滿洲井戶、蓖麻子油業の硏究（福永端穗）自給肥料分析表、滿洲農作物作況（滿鐵農務課）農業低利資金融通請願書、連載講座は滿洲の果樹害虫（近藤緘馬）滿洲特用作物の栽培—亞麻の卷—（稻留帶刀）緬羊の飼育（伏見覺）その他編輯部輯にかゝる滿洲主要市場に於ける蔬菜、果實副業品の價格表がある（定價三十五錢、發行所大連市紀伊町八十五番地滿洲農事協會）

けふの放送

大連 JQAK　十月十五日

▲午前六時ラヂオ體操
▲午後七時ニユース
（七時十分子供時間）尋常一、二、三年生程度
▲童話「バタになつた虎の話」香川岩雄
▲獨逸語講座「テキスト第六十課」大連語學校講師萩榮
▲筑前琵琶「加茂の宵月桂小五郎」法洸山上地旭靜
▲萬歳　川田梅丸、雛子連中
▲職業紹介事項
▲ニユース
▲氣象通報

東京 JOAK

十月十五日午後六時三十分
▲座談會（名古屋より）滿洲の科學を語る（日本側出席者）日本學術協會々員滿洲大學教授醫學博士久野寧、日本學術協會々員宇都宮高等農林學校講師農學博士山崎百治、日本學術協會々員滿鐵地質調査所技師ドクトル新帶國太郎、日本學術協會々員前滿洲（奉天）教育專門學校教授理學博士大賀一郎（滿洲側出席者）滿洲人科學者四名
▲獨唱と合唱（七時）（一）獨唱（ロバートフランツ四十年祭）イ、惱む我胸、明本京靜譯詞ロ、淸きラインの流れ、鹽入龜輔譯詞ハ、夜曲、ジンニン譯詞ニ、君よ再び明本京靜譯詞ホ、秋、鹽入龜輔譯詞（二）合唱「夢にも君」「輝く祖國」明本京靜譯詞、獨唱明本京靜、合唱ポリヒムニア、コール、ピアノ伴奏並指揮小松清
▲詩吟（七時三十五分）玉木一雄（一）君が代（二）正氣歌、海軍中佐廣瀨武雄作（三）弘齊木戸公允作
▲連續講談（七時五十分）「關根彌次郎第四席」田邊南龍

第十回　滿日特選碁戰

互先 先番　初段　宮下秀洋
初段　坂口常治郎

—【4】—

●六一ツの六　○六二カの十
●六三ワの十　○六四タの九
●六五ルの十　○六六ヨの九
●六七ワの九　○六八への四
●六九への五　○七〇リの四
●七一トの四　○七二リの三
●七三ヌの五　○七四リの五
●七五ヌの六　○七六リの六
●七七ヌの七　○七八リの九
●七九リの七　○八〇チの七

對局者の感想

黒曰く　七一の手は單に七三に打つて居る方本手だつたかも知れません

滿洲日報
十月十四日發行
發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社 滿洲日報社

聯盟に提出と同時に意見書を中外に公表
わが正當な立場を强調

【東京十四日發】リツトン報告書に對するわが意見書の發表時期については關係當局の間で協議されてゐるが同意見は松岡代表が二十一日東京發ジユネーヴに携行する豫定、又聯盟理事會は十一月十四日より開會されるので、これ等の關係を考慮した上それ以前 **我が正當なる立場を世界に十分認識せしむる必要上、松岡代表より聯盟に提出、同時に全文を發表する外、** それ以前出來るだけ速かに意見書の要領を發表する事についても考慮してゐる

我意見書の重點

【東京十四日發】リツトン報告書に對する意見書起草に關する外務、陸海軍聯合協議會は十三日午後七時より外務次官々舍に第二回會議を開催、外務省側谷亞細亞局長、守島亞細亞第一、三浦同第二、柳井同第三各課長、陸軍省側山下軍事課長、本間新聞班長の外軍事課員原中佐、參謀本部側松本歐米、酒井支那兩課長、武藤第四班長、海軍側寺島軍務局長、島田軍令部第三班長、鹽澤軍事普及委員長等參集第一回協議會決定事項に基き外務省で起草案を基礎とし協議の結果、意見書は略完成を見、更に細部の點檢修正を加へ各省持寄最後決定をなし閣議の承認を求めた上、松岡代表が二十一日東京驛發ジユネーヴに携行する筈であるが、略完成した意見書原案は邦文大型罫紙百頁內外でその內容は **報告書を辯駁するといふ程度に止らず 大局から攻勢、防禦兩樣の準備が出來てゐる、** 卽ち報告書の認識不足に對しては親切丁寧に之を啓發し、事件觀察に對して正當な認識を與へ、報告書の誤れる事項は徹底的に亘り辯駁が附されてゐる意見書は左の點に重點を置く

一、滿洲事變勃發に導きたる根本問題たる**支那の實態を正當に靜視せしめる**
一、**滿洲國成立の眞相**を鮮明にする
一、日本帝國**陸軍の行動は至當**にして且つ當時執つた唯一の手段であつた事を明瞭にする

支那各地に內亂頻發
非統一國家を世界に明示

【南京十三日發】福建省の第十九路軍は陳國輝の自殺問題を動機として省防軍との軋轢益々惡化し省防軍殘部隊一萬五千と早晩一戰を免れぬ形勢となつた、斯くて支那は中央政府の威信全く地を拂ひ各地に內亂頻發するに至り自ら統一國家ならざるを世界に示すに至つた

汪精衛本月末外遊
第四次全體會議を前にして
支那政局は一大轉換

【上海十三日發】純理的對日强硬論を唱へ學良追出まで企て蔣介石と抗爭した汪精衛も最近周圍の空氣益々自己に不利となり蔣介石の獨裁に加ふるに藍衣社の策謀等表面化し來り如何ともし難きを悟り表面病氣を理由に近く外遊するに決し、本月末頃當地から歐洲行便船に乘る模樣である、汪は又最近側近者に對し「余は最近の支那を救ひ得る器に非ず」と嘆聲を洩らしたといはれ汪の外遊後は當然介石の獨裁色彩益々增加するものと見られ第四次全體會議を前に支那の政局は一大轉換を期待さるゝに至つた

聯盟事務總長更迭決定

【ジユネーヴ十三日發】聯盟創立以來事務總長として聯盟のため活躍を續けてゐたドラモンド氏は愈々辭職が承認されたので、その後任には現事務副總長アブノール氏

けふ海路渡日の承認答禮使（うらる丸にて）

承認答禮專使
けふ海路友邦日本へ
歡喜を面上に湛えて

滿洲國の承認、三千萬民衆はこの歡喜溢れると共に光榮ある滿洲國承認答禮專使として遙々友邦日本に外交部總長謝介石氏を送る事となり、專使並に隨員の一行は洵儀執政の

親書捧呈 の重大な任務を負はされ、十三日夜來連、明けて十四日出帆うらる丸で輝かしい船出の途についた、水上署の嚴重な取締りのうちを專使の一行は午前九時半待合所貴賓室に入る、希望に燃え新興のよろこびに專使をはじめ隨員一同の誇らしげな顏觀、一歩每に力強く大地を踏んで堂々たる鹿島立だ、これより先滿鐵よりは林總裁、八田副總裁がこの榮ある專使に送辭を述べに來る、山西、村上、竹中、山崎各理事その他關東廳關係、滿洲國側の盛んな見送り裡に定刻十五分前、宮野鼻うらる丸船長の案內で同船サロンに入る、ついで謝專使は

大陸を離 れるにのぞみ左の如く記者團に語つた

最後に一言お話します、今度の仕事は大任務で一日も早く東京に着いて謹んで任務の完成を祈つてゐます、いづれにしても誠心誠意使命の遂行に對し萬全の注意と努力を拂ひます、往復二週間、自分にとつては三度目の渡日ですが今度程大きな輝かしい任務を負はされたのは初めてゞす、私はじめ隨員一同も齋戒沐浴して滿洲國より選ばれた光榮に對し努力します

かくて定刻、うらる丸は岸壁からゆらりと離れ榮光に惠まれた專使は時迄も見送り多數官民の秋雨のうちを涙ぐみ目の途に就いた、專使並に隨員左の如し

專使謝介石氏、隨員書官栄燊公、同秘書官野誠治、同事務官任、同總務官兪事張格、財政部通部事務官士宗鑌濤、奉天省總務秘書官克興阿黑龍江省總務廳交部顧問官杜嘯壓因に畏くも聖上に古書」その他數々行つた

事業部の機構と擴充する經調會
滿鐵新職制の觀測

新職制の大體の機構は既報のごとくで改正の範圍も狹くかつほゞ豫想された通りであるので社內の動きはそのまゝ存置されたことも既報の如くであるが、同會はむしろ擴大充實し、現在の調査課甲の一部を合……

最大特徵 ……

全權部と ……

中枢して ……

滿鐵地方施設費
豫算四十五萬圓計上

鐵道部の警備委員會

滿鐵の意見書送達

リツトン報告書を辯駁すべき滿鐵の意見書は豫定のごとく十四日午前六時五十分周水子發飛行機で渡邊調査課員が携へて東上し

（フランス人）が昇任する事に日正式に決定した

齋藤首相歸京

【東京十四日發】齋藤首相は水澤の墓參並に仙臺における更生講演を濟ませ十四日午前五十分上野驛着で夫人同伴歸邸に私邸に入つた

貴院議員團

井上匡四郎氏一行の貴族院議員滿洲視察團は北滿視察を終つて日午後十時半來奉した【奉天電】

滿鐵改制問題の第二回重役會議
あす具體案を附議

滿鐵の職制改正は……**具體案に** ついて……

聯盟最惡の場合の我海軍の方策
(三) 海軍大佐 中村重一氏講演

立候補の屆出けふは四名
市議戰漸やく白熱化

……**五名の超** ……**旗色惡く** ……

ほんこん丸船客

人事

滿蒙の戰慄 (三〇)
直木三十五作　幾枝次朗畫

再生 二の二

破竹の勢ひで東邊道兵匪を擊破
好績を納めつゝ前進

東邊道における日滿兩國軍隊は十一日以來各方面より一齊に前進を開始し各地にて抵抗する兵匪を擊破し破竹の勢ひを以て前進し宣撫員及び政治工作員はこれと同行して各々その任務を遂行しつゝあるこの度の討伐と宣傳及び政治工作の三者の緊密なる提携により討匪行動は今回の軍事行動の特色であつて逐次良好な成績を收めつゝあるが各地における討匪狀況は次の如し

北地區

高波部隊の主力は海龍、双陽鎭附近より數縱隊となつて南進し南大門、轉通附近にて約三、四百の匪賊を擊破し更に中陽堡の約三百の匪賊に大打擊を與へ十三日午前既に柳河、孤山子附近を通過南進した臨江方面より前進した石家部隊は北老嶺附近の天險により頑強に抵抗した匪首徐達三の部下約二千を擊破し十三日八道溝附近に進出し該地附近にて更に匪賊を攻擊中であるこの方面の匪賊は日本軍の前進に大動搖を來し南方に逃走するもの歸順するもの等續出してゐる模樣である、又八道溝の住民間には日本軍來襲し通化は既に燒却されたりとの噂盛んにして

中央地區

續々濛江附近に避難しつゝあり服部部隊は北山城子にて瀋海線の主要都邑より數縱隊となり一齊に前進し行く〱敵匪を擊退し既に向陽鎭、四道嶺、新濱の線に進出した模樣である、この方面の匪賊は李春潤の部隊であつて九日以來逐次新濱方面に退却しつゝある、十二日午後服部部隊の主力は新濱の敵を擊破して該地に進入した

南地區

撫順方面より前進した靖安遊擊隊は十二日五木匠拉表附近にて頑強に抵抗する敵の第三陣地を擊破し十二日午後二時救兵臺西方地區にて更に優勢なる匪賊を攻擊して大勝を博し勝に乘じて救兵臺南方に向ひ追擊中である敵は多數の死體を遺棄して東南方に向け逃走しつゝある模樣である、茂木部隊は本溪湖より安東に亘る主要都邑より數縱隊となつて一齊に前進中である

東地區

鴨綠江沿岸のわが國境警備隊は沿岸の主要地點を嚴重に警備中で機に應じ常に潰逃する賊を全滅する隊勢を整へてゐる【奉天電話】

居住外國人に空から警告
英文で一齊に撒布

東邊道一帶に亘り討匪中の關東軍は同地域に居住する外國人の安全を期するため在滿各國領事館にそれ〲通告すると共に關東軍司令官の名を以て左の如き英文の警告書を東邊道一帶に十四日午後飛行機を以て撒布した

東邊道在住外國人諸君、今次關東軍が東邊道一帶の地域において執る討匪行動の目的は治安を攪亂し良民を苦しめ通信、交通機關を破壞する等暴戾飽くところを知らざる唐聚五並びに大刀會匪一派を掃滅せんがために外ならず、軍は本討匪行動に原因して不慮の災害の及ばんことを衷心危惧し諸君に對し一時東邊道外に待避せんことを要望するものである、若し已むを得ざる事情により待避することを能はざるものあらば成可く一地に集結し且つ地上並びに上空に對し明瞭なる標識を設け且つ速かに所在日本軍隊又は滿洲國軍隊に通報する等危害豫防の處置に關し安全を期せられんことを警告す

なほ東邊道一帶に居住する外國人は左の如くである

▲新濱　スタンダード、亞細亞兩石油會社代理店、教會、宣教師米人四名、英人四名
▲通化　教會、宣教師、米人二名スタンダード、亞細亞兩石油會社代理店
▲桓仁　教會、美孚洋行、亞細亞石油會社代理店
▲沙尖子及び大平哨　美孚洋行代理店
▲寬甸　教會、英人二名、美孚洋行及び亞細亞石油會社代理店
▲臨江　宣教師、米人一名、美孚洋行及び亞細亞石油會社代理店【奉天電話】

大日活問題圓滿解決
石井署長も調停

非常通路をめぐる大日活の紛糾は去る十二日五千三百圓案による森本法院長の調停甲斐なく第四回の和解協議は決裂したがその後石井大連警察署長も調停に乘り出すこととなり石井署長、森本法院長談合の結果、長氏側一萬圓と森本院長調停案五千三百圓の間をとり六千五百圓を以て和解するやう相方に提示した處中野氏側よりは辯護士を通じて直に承諾する旨返答あり又長氏側よりは十四日正午までに回答することになつてゐたが十四日午前十一時木原、相川兩辯護士は長氏の代理として石井署長を訪れて右案を承諾する旨回答し大日活事件もこゝに完全に圓滿解決することゝなつた

右によつて非常通路九坪餘並びに煖房は中野氏側に引きつがれ長氏側は場內の椅子を搬出することゝなつたが圓滿解決により來る二十四日開廷の非常通路假處分取消に關する第一回口頭辯論並びに十二月六日開廷豫定の占有土地回收並びに損害賠償事件の第一回口頭辯論も中止される筈である

建國祝ひの賀帳を贈る
百廿萬人が署名して我國民から執政府へ

滿洲國の建設を祝福しわが國民全般の祝意を披瀝せんとして頭山滿翁を顧問とし田中舍身氏を會長として發會された滿洲國建國祝賀會は去る五月以來わが全國民より署名を集め大衆百二十萬人の贊意を得てこの署名を賀帳として一冊四萬人合計三十冊を作成したがこれを以て日本國民の名に依り建國の祝意を表するため滿洲國執政府に贈る事となつたが同會幹事井上藥並に宮前鼓堂兩氏はこの賀帳三十冊を携へて十四日午前入港はるびん丸にて來連した、右につき宮前幹事は語る

我々は隣邦國民として東洋の樂土建設のため建國された滿洲國に對し與國一致その祝賀の意を衷心より表したいと思つたがさてその祝意を披瀝する方法としてどうすればよいかと迷つたが國民の總意を一つに集めるには衷心より祝意を罩めて書いた署名が最も適切であり將來共によき記念となる事を想ひ全國民に向つて署名を求めた結果百二十萬人の署名を集め得た次第である、これを四萬人宛三十冊の賀帳として執政府に贈るのであるがこれと同時にこの建國を祝し併せて一歲餘に亘る今次事變に際して奮鬪する皇軍を慰問するため煙花大會を開催する事となり先發隊として本會幹事伊藤榮作氏は煙花師と共に尺玉以下四千發の煙花を携へて既に來滿してゐる、これは新京滿鐵附屬地西公園外四ケ所に於いて最も民衆的に開催しわが國粹藝術を公開するものである【寫眞は百二十萬人の署名を集めた賀帳】

土產話としては二つある、社行だ、まあなつもりでなくむしろ豫定の本

門司岸壁に横付け
定期船を近く快速船配置計畫
大阪商船がサービスの改善

大阪商船大連支店長高見三吉氏は社務打合せのため上阪中であつた十四日入港はるびん丸で歸連、船中語る

大汽の內地航路割込み說が云々される際上阪したので色んな目で見られてゐるが、決してそん日滿連絡にサービスする事となつたが、當時より重役の間で香港、あめりかの兩船を少しでも早く代へなくてはとの說から時代の趨勢に鑑み、船型とスピードと交通量を考慮して門司大連間の上下航を翌日着にする計畫が樹てられたのだ、そうなると二十五節、少くも二十一二節を出さねばならぬが事實世界でそんなに速いものは大西洋定期の三四萬噸級のもので船體が小型だと自然バイブレーションが非道いわけである、從つて交通量と船型とスピードの合理化が問題となり、巨額の資本を投ずる以上愼重にする必要があり目下技術的見地よりプランが樹てられてゐる、近き將來に實現するであらう、いづれにしても將來は吉會線によるものと朝鮮經由と大連航路が三つの大きな交通路になる、今一つは來月四日から上下船とも門司の岸壁に横付けとなる、本社としては七八萬圓の出費になるが旅客へのサービスである、大汽の

大連臺灣 間定期渡航は電報で知つたがそれに關し自分としては何等お話する事はない、入港時間の問題は冬分になれば、どうしてもそう早くは入港出來まい

秋空に響く突擊の喚聲
學生靑訓の聯合演習

關東長官統監による關東州內學校靑年訓練所及び旅順重砲海軍陸戰隊の聯合演習は十四日午前十時より周水子營城子間に於いて開始された

この日前日來の降雨未だ晴れず折からの細雨をついて美崎步兵少佐の指揮する東軍旅順工大學部南滿工專大連一中二中大廣場常盤沙河口の三靑訓及び野戰重砲第一中隊等九百九十餘名は周水子飛行場に淺田砲兵少佐の指揮する旅順工大旅順一中、大商靑島日本中學及び商業、旅順靑訓滿鐵育成通信講習所野戰重砲第一中隊陸戰隊等千九百餘名は營城子驛附近にそれ〲集合し時の來るを待つ

午前十時統監部より演習開始の命令を受取つた兩軍は行動を開始すとしこれに對する西軍もまた主力を以て速かに周水子平地に進出せんとし旅大北街道を前進す兩軍とも戰ひを一氣に制せんと意氣旺盛降雨も漸く晴れたが泥濘膝を沒するが步武堂々午前十時四十分由家屯西方地區に於いて兩軍尖兵先づ衝突して最初の火蓋が切つて落された

西軍指揮官はこの時由家屯附近の高地に陣地を占領することに決し堅牢な陣地を構成するこの狀況を斥候に依り得た東軍指揮官はこの陣地に向ひ總攻擊せんものと各部隊に展開を命じこゝにおいて攻防の一大決戰となつた

砲聲殷々とし折から雲間より洩れる秋光は銃劍に鋭く反射し勇壯、凄慘、午後零時四十分頃東軍指揮は蜿蜒半里に亘る戰線に突擊を命ず、全軍喚聲をあげて陣地に突入防禦軍たる西軍もまたこれに應じ喚聲をあげて邀え擊つこの時統監部より休戰ラツパ鳴り響き第一回攻防演習休止され午後の演習に移るべく東軍は晝食後董家屯後方地區まで後退し午後三時四十分の再演習開始まで待つことゝなつた、尙旅順要塞司令官安藤中將は副官を決定終始觀戰した

(寫眞上圖は統監部×印は安藤中將と下圖學生軍の活躍)

人質專門ギヤング
哈市で頭目逮捕さる

【ハルビン特電十三日發】十二日吉林街で英米煙草滿家甸出張所長ウドロフ夫人を殺害逃亡し十二日特區警察に逮捕された犯人は元陸軍中尉張南彥なるもので同人は郊外馬家溝に居住し多數の子分をハルビン市中に潛入させ人質拉致專門の匪賊頭目であることを自白した、最近市中に於て殆ど毎日行はれた子供拉致事件を始め香港上海銀行支配人をゴルフ場から拉致せんとした件、豪商カワリスキー氏を舊ハルビンにて拉致せんとした件等皆この一味の仕業で彼等は白晝公然と自動車を驅つて人質を拉致する恐るべきギヤングで市民を極度に恐怖させてゐたものだがこれで拉致事件も激減しよう

なほ犯人逮捕の端緒は現場で射殺された賊の遺留品から端緒を得たもので特區警察の初めての科學的搜査である、頭目の就縛で一味は芋蔓的に擧げられる模樣である

西崗街派出所の二巡查解職

秋季淸潔檢査に際し應援警官の辨當代の名目のもとに管內居住民より金錢を寄附せしめた小崗子署西崗街派出所員安田庄平及び同所監督の任にある取締巡查樋口政治郎兩氏は十三日附を以て解職された、責任上解職された西崗街派出所取締の樋口巡查は十四ケ年間勤續せるもので同僚から惜まれてゐる

分離派代表の轉身に不滿
また蒸返しの形勢を示す三業組合の紛擾

三業組合の紛糾は十三日石井署長の調停で圓滿解決した模樣であつたが分離派中には代表潮月、淡月八千久、きぬた四氏のアツケない轉身ぶりに不滿を抱くものが多く十四日早朝より寄々協議を行ひ、何等かの反對手段に出づべき形勢を示し、又一方總會決議無效訴訟提起中の菊田氏もなほ訴訟取下げを行はず訴訟材料の蒐集に努めてゐる模樣であるが、何も知らず十四日正午石井署長に圓滿解決の謝辭を述べに來た田中組合長以下幹部は保安係でこの形勢を知つて大いに驚き、直に對策を講ずべ

秋の樂壇にわれ等のテナー
けふ藤原義江氏來る

われ等のテナーからなげきのテナーになり更に喜びのテナーとなつて朗かに秋の大連樂壇を飾るべく藤原義江氏は十四日入港はるびん丸で來連した、ブタペスト、パリ、ソフイヤの國立劇場で天晴れ世界的オペラ歌手としての貫祿をかち得て六月アメリカ經由歸國して最初の滿洲渡來だ船中語る

本月廿七日から紐育のオペラに出る筈だつたが、最近不景氣で閉場したとの事で渡米を中止した、今度あちらでは主としてオペラに進出し、ボエム、リゴレツト等に一役買つて出たが結局滿洲事變の最中だつたので日本人の唄手と云ふ事が興味をつないだのだと思ふ、愉快だつたのはジユネーブの最後の出演の際の如きは例の十三對一の問題でゴツた返してゐるところで異樣な感に打たれた、歸朝後は在鄕軍人共濟會等の主催でしきりに獨唱會を開いた、そして北海道九州と廻つて乘船前に別府で陸軍傷病兵のために歌つた許りだ

非常にうれしかつたのは自分が出發の際六十名許りの步ける傷病兵がわざ〲停車場に見送りに來てくれた、自分としてこんなに感じた事はなかつた、生母との二十三年ぶりの面會、ジヤン〲雜誌や新聞に書かれたが二十三年も會はないとまるで親子なんて云ふより友人と會つた樣な感じがするものだ、むしろ昔から云ふ樣に生みの母より育ての母で自分にとつて今度來る時養母が見送つてくれたがその方がずつと情愛があつた樣に覺える、十五日に大連でそして奉天撫順長春安東で獨唱會を開いて歸る、大連奉天には舊友惡友等澤山居るので懷しい【寫眞ははるびん丸で】

また猪島に海賊團
十日上陸から島民を監禁して戎克を奪つて逃亡

十日午後三時頃猪島に一艘の戎克船に長銃、拳銃を携行せる十三名の海賊上陸し島民を監禁中十三日午前十一時同灣附近を航行中の山頭村渡泥河子居住李德館所有戎克一艘を掠奪西方へ逃走した、海賊は九月二十六日來襲した天下好の一味とは別らしく旅順警察署では關口警察署その他州外各警察署に手配した

强奪した金は再建資金へ
更に秘密本部を發見

【東京十四日發】警視廳の赤色ギヤング追及は眞劍味を加へて益々峻烈に行はれてゐるが十三日に至り一味の秘密本部堤ビル五階一室から眼と鼻の所にある京橋區西銀座都ビル五階にも秘密本部を設けてゐたこと判明し警官隊は午後同所を襲ひ空氣拔の穴に巧に隱匿されたピストルの實彈六發を押收したまた今泉等が川崎第百大森支店から强奪した三萬餘圓は大體その八割が山本某の手で共產黨再建資金として一味にばら撒かれたこと判明し警視廳は全國的に手配して山本某の逮捕に全力を注ぐことゝなつた

く、石井署長に面會もせず早々引きとつて行つた

東支西部線の客貨取扱中止

東支鐵路は西部線哈市滿洲里間旅客貨物列車の復活は當分見込立たぬため遂に歐亞連絡旅客並びに日滿および南滿東支連絡による旅客手小荷物および一般貨物にして哈市以西發着のものは當分の間中止する旨十三日附を以て關係方面に通達するところあつた

なほ日滿および南滿東支連絡による哈市以東各驛發着のものに對しては今暫く東部線の情勢を見たうえ東支側で何分の手配をすることゝなつてゐるが、東部線は十一日横道河子、高嶺子間において脫線事故あつて以來不通で現在はハルビン、一面坡間のみ旅客列車を運轉せしめてゐる狀態である

橋本憲兵司令官飛機で赴錦

つた橋本憲兵司令官外五名(立川署長不參加)は東塔飛行場に準備されたフオツカー機に搭乘し十四日午前八時二十分離陸し一路錦州差して出發した、なほ一行は錦州まで奉山沿線を飛行機で視察し錦州に一泊列車にて歸奉の豫定【奉天電話】

警務會議による治安警察目的遂行のため最初の視察をなすことにな

哈達灣驛襲擊

十四日午前零時すぎ匪賊十四、五名が長敦線哈達灣驛を襲擊、電話機を破壞のうへ驛收入金並に驛員巡警の着用した被服金錢を掠奪し同一時二十四分ごろ逃走した、人命には異狀なし

州外署長會議

州外署長會議は十四日午前十時から奉天署樓上で開催、林警務局長は十四日午前八時十五分着列車で來奉して列席し會議は治安警察上の連絡警備等を協議することになつてゐる【奉天電話】

天氣予報

十五日

北東の風　曇一時晴

滿潮(午前十一時四十分 午後十一時)

干潮(午前四時四十分 午後四時四十分)

各地氣溫　十四日午前十一時

大連	十六度
旅順	十六度
營口	十五度
奉天	十八度
長春	十八度

けふの小洋相場(正午)　金百圓は　一三三圓二五錢

國難日本刀（124）

高桑義生作　京極佳夕書

？の男（三）

「旦那」

と連れは小五郎に呼びかけた。

「金魚のうんこのやうに、ぞろぞろつながつて來やあがる、不景氣な面だ」

「立ち止まるな」

「なあに、眼があつても節穴同然でさあ。かんじんの事は見えねえが、それで、金と女に眼がねえと來てゐる。あきれた代物だ」

「清の字、さツさと行かう」

「ちよツ、本降りになつて來やあがつた」

その頃から、雨は蕭々と音をたてゝ降つて來た。

「ひとつ走り、駈ませうか」

二人は雨のなかを小走りに、まもなく衣紋坂。

滝崎の廓は、すべて江戸吉原に準じたもので、衣紋坂から吉原道左にまがると、大門口――門なくば仲の町だ。

小五郎は威勢のいゝこの男を連れて、ゆうべの茶屋、伊豆屋のくゞり戸から――大戸はひたと下りてゐる。

「おや、いらつしやいまし。雨でお腰りでございますか？」結構ですわ」

と出迎へた女は、あいそがいゝ。

「それもさうだが、知人に會つたので――。ゆうべの座敷がいゝな。いつぱいやりながら、話をして……」

「それから、五十鈴さんへお越しでございますか？」

「ばかをいふな。雨で流連するがらぢやない。話がすめば歸るのだ。酒の支度が出來たら、勝手にやるから、手をたゝくまで、誰も來るな」

と小五郎はいひつけた。

「清の字、お前だらう？」

「………」

「わざ／＼あの中に、立ちまじつて、知らぬ顔で話を聞いてゐるあたり、すつかり男をあげたものだ」

「さうでもねえ。旦那に聲をかけられた時はギヨツとしましたよ」

「相模は？――お前一人の仕事ぢやないな。お前は手傳つた方で、やつたのは、間宮か、佐吉か？」

「いゝえ……」

「だが、お前には斬れまい。斬れる腕ぢやない」

「旦那にかゝつちやあ、かなはない。そいつはまつたくお手の筋だが、實は、旦那は御存じない男で、だてんの吉――新まいでさあ。それもつい此の間、傳馬町を出たばかり……」

「妙な名だな。武士ではなささうな――それがやつたか」

「まつたく、さほど出來るとは思ひませんが、やつぱり腕ですかね」

「そりやあ精神だ。劍の妙諦は、結局精神力だ」

小五郎は、幕末の三名人といはれた齋藤篤信齋（彌九郎）の練兵館で、塾頭兼師範代をつとめた、維新の俊傑中、劍名一世にとゞろいたものである。

「そんなもんですかね。ヤツつけたのは、わたしで、首を斬つたのが、その男……」

「高札は？」

「わたしがやりました」

「ホ、ウ、道理で、まづい字だと思つた。だが、文句は立派なもの――あれもお前の案か？」

「ヘツヘツ……ありや寫しです。處々變へたが、骨はちやんと出來てゐるのを、そつくりそのまゝ借りたので。だが、旦那も口が惡いや」

高札の文句は大方きまつたもので、それを寫したものらしい。

「その通りだらう。とにかくよくやつた。彼奴は當然天誅をうける奴、日本人の面よごしだ」

小五郎は盃をさした。

相手の男は、黒船濤次といふ者、義賊と稱し、浪士を裝ふ、時代の副産物だ。

飛脚屋六兵衛を殺し、その首を辨天橋のほとりにかけたのは、彼とさうしてだてんの吉といふ――

「で、その吉とやらは？」

と小五郎はきいた。

荒川秋子孃送別舞踊會

清子孃と共に大連舞踊界に活躍した荒川秋子孃は近く結婚すると共に思ひ出の舞踊界から引退することゝなつたので、秋子孃を師匠として新舞踊に精進してゐる睦舞踊會が主催となり、荒川姉妹とテーブルを並べて働いてゐる滿鐵婦人協會の後援で、來る十六日午後六時から協和會館で秋子孃送別の舞踊大會を催す

今回の舞踊は全部秋子孃の振付になるもので、姉さんの清子孃が總指揮をさることゝなつており荒川姉妹をはじめ睦會々員一同が總出演をするがプログラムは四部三十七組、會費一人四十錢である

明夜に迫る 藤原義江獨唱會

會員券は朝から前賣

われ等のテナー藤原義江氏はけふ入港のはるびん丸で來連したが十五日夜協和會館に於ける本社主催大連滿鐵社員俱樂部後援の獨唱會に出演するが、オペラ歌手として世界的名聲を贏ち得て歸朝したわれ等がテナーに果然人氣が集り、また他の追從を許さぬ民謠風の小品に大衆的支持を受け物凄い盛況を呈するものと豫想されてゐる、會員券は一般二圓、俱樂部員及び本紙讀者（優待割引券持參）は一圓五十錢で十五日午前九時から社員俱樂部で前賣と共に座席券を交換するから滿員賣切れにならぬうちに求められたい

嘩話

入江たか子と中野英治が滿洲にロケした「滿蒙建國の黎明」の大連封切は▲英パン來演が飛び出したゝめに延び／＼になつて期日が確定せなかつたが▲この程來る廿日から山中監督と寛壽郎のコムビ物として期待される「口笛を吹く武士」と同時上映と決定▲また「滿蒙建國の黎明」は弘報係の「敢然承認へ」と組んで大連婦人團體聯合會主催で協和會館でも上映これは時局奉公資金募集のためである▲帝國館が「秋の帝國館御あんない」といふ美しいパンフレツトを作つてファンに配布してゐる▲東京カフエーに出てゐた新興キネマの女優久米願子と手塚登美子がけふの船で左樣なら

仁俠の巻

河合映畫時代劇　寶館上映

この一篇も河合映畫が大作主義への轉向を示した前後篇十五卷の時代劇特作品として、また更に俳優から監督に轉じた根岸東一郎の野心的な作品として注目された映畫である

即ち河合徳三郎原案總指揮、根岸東一郎原作監督でマキノ全盛時代と同じやうな行き方、狙ひどころが現はれて來たとも見られる作品である

而も前後篇十五卷が殆ど劍戟で終始してゐる點、全く大衆ファンを目安とした時代劇であり、根岸東一郎はそのマキノ時代に培はれた所謂マキノ趣味を盛りいろ／＼變つた手法を見せ、その點またそれが例へ模倣であるにせよ河合の時代劇としては大きな飛躍を志した異色ある作品である

ストオリは三人の男と女の三つの女出入を扱つたやくざものだが組立が亂雜であるのが缺點である、これは事件を面白く多角的に展開しサスペンスを盛らう／＼としたところから生じたもので、それだけ河合映畫としては珍らしく複雜なストリオであり思ひ切つた今日までの河合ファンへの態度轉向でもある、これは判で押したやうな河合映畫にファンが倦怠を覺えて來た今日、明かに示された河合の方向轉換である

キヤストも葉山純之輔以下青柳龍太郎松本榮三郎五味國枝橘喜久子らを總動員してゐる光つてゐるのは葉山純之輔と五味國枝である

好きな風を自分で選ぶ事
おぐし
◇大連に多い關東風の髪
伊賀とら子

○…私は年中東京と京都との間を半々位に忙しくかけまはつて居りますが、美容師といふ私の仕事をとほして東京と京阪地方の婦人方を見ますとそのおぐしの形からお召物の好みは申すまでもなく、氣風まではつきり違つてゐるのが見えまして大變興味深く存じて居ります、東京のお孃樣方が非常に明るくハキ〳〵としていらつしやるのに較べて京都方面のお孃樣は何處までもおとなしやかな日本娘であることは、例へば私のところへ結髮にいらつしやいましても東京のお孃樣ですと豫じめあゝしてかうしてと御注文なすつて指圖して下さいますから私共の方でも却て氣が樂なのですけれど、京都あたりのいさはんは何もかも私共まかせで氣に入つても入らなくても默つておかへりになるといふ風です

○…このごろのお孃樣はなかく個性にめざめていらつしやいますから御自分で無造作にお結びになつたおぐしの方が、私共が苦心して綺麗に揃へ上げた髮より遙かによく御似合ひになる場合が多うございます、それで私ば御自分で無造作にお結びになつたそのおぐしをとく前によくその形を研究して長所をとり入れるやうに努めてなります、一般に關東の方はすつきりしたあまり技巧をこらさない髮をおよろこびになりますし關西方面の方はなるべく華やかな惡くいへば少しこつてりしたものをお好みのやうで

○…それが又お召物や全體の感じにそれ〳〵調和するのも面白く思はれます、同じ鬘型から押出したかのやうに見える日本髮でも東京好みと上方好みとを二つ並べて見ますと全く感じのちがふのに驚かされる位です、東京風の日本髮は髱がつまつて前髮も小さくどちらもあまり前へ出さずにお顔の線をなるべく自然に出すやうにいたしますので非常に智識的な明るい感じです、そして根は幾分高目にして後へ引き髱は幾分小さ目にたぼは思ひ切つて長くして全體をふつくらと結上げます

○…關西風になりますと鬢にも前髮もずつと大きくして前出し顔を幾分かくし氣味にしますし髱の形も大きく根が低くてたぼが比較的短いのですからすつきりした感じはないが大變派手になります、今度御地へまゐりまして大連の婦人方の日本髮を二、三拜見いたしましたが、こちらは關西風より關東風が多く這入つてゐるやうに感じました

○…東京風、上方風いづれがよいとも惡いとも申せませんがそのお人柄によつてそれ〴〵好きな風を御自分でお選びになつたら間違ひが無からうと、たゞ私の感じましたことを前後もなく述べさせて頂くわけでございます（談）

風呂敷世相觀

●…風呂敷に表れた世相……を考へた人があるであらうか、今から十五六年前までは、女學生がメリンスの風呂敷を持つことでさへ大層贅澤なことに思はれてゐた、それが最近では富士絹、羽二重、中には錦紗の風呂敷さへ持つてゐるものがある

●…家庭に於ても、臺所の買物風呂敷にメリンスのものを使ふ主婦や、又は木綿のものを備へて置いても、メリンスのが用ゐたくつて、自分自身の風呂敷をソツと持ち出して用ふ女中さんをよく見かける、しかもこの風呂敷を見ると一度も洗つた模樣がない

●…女學生が富士絹や羽二重の風呂敷を持ち、女中さんが臺所買物にメリンスの風呂敷を使ふ、これが時代の進歩であらうか、要するに見榮坊の外なにものでもない、斯樣な生活をしてゐては到底女性として家運を盛ならしめることも、又目下の非常時難局を切りぬけて行くことも出來まい

●…樂しい生活は贅澤でもなく、又見榮坊でもない、働くことを樂しむ、働くことが何より愉快であると云ふ境地こそ眞に樂しい生活である、何んなに忙しく働いてもそれが何より嬉しいといふ氣持を、まづ婦人は持たなければならない、これが家庭を幸福にし、國家を盛んにするもとと考へる

眞珠の齒並
ふだんの心掛けから

▼▼…齒の綺麗なのは文明國人の一つの特長だと申します。美人の必然的條件のうち第一に數へられるのは眞珠の齒並です、少しばかりの叡覗みも天井を向いた鼻も或る人にはそれがかへつてチヤーミングを增すものですが、齒のきたないのだけは何時の場合にも美人を臺無しに致します。所が毎朝磨いてゐるのにどうしても綺麗にならない。といふ方があります。實際叮嚀に磨いてゐるのに拘らず黃色く汚れの取れないことがあります、わけて煙草を喫む方などは殊にさうですが、これは本當の磨き方を御存知ないからです。

▼▼…先づ齒ブラシは少し奮發して買ふ時に高いのを買ひます。安物のブラシは二三度使ふとすぐ毛が柔かになつていくら磨いても……それでは效がありません。毛のこわい事。毛の端が山形にギザ〳〵に切つてある事。毛の植目は相當離れてゐる事等が條件です。齒を磨くには少くとも五分間は使はねば駄目です。表面だけでなく、内面も、上下も側面も、ブラシを前後左右上下に使ひわけて磨きます……きれいにならない、とおつしやる方はたいていこの磨き方が足りないのです。

▼▼…普通の方は一分間、少しぞんざいな方は三十秒位で磨いたとおつしやるのですから、それではとても磨いた部には入れません……出來得れば食事の都度ですが、少くとも就寢時と起床時の二回だけはぜひ缺かさず實行します。齒磨粉等はそんなに莫迦に澤山つける必要はありません。一回五分の齒磨時間は隨分手間が惜いやうな氣がしますが、それによつて消化器官を健全にして、あなたの生命と美しさを長く保たせるわけなのですから、誰方も充分な埋め合せが出來る筈です。

ミルク愛用運動

最近ホリイウツドの女優さん達のこの簡便にして安い滋養物であるミルク愛用運動を起しだしました、近の世界恐慌の結果ではないさうです【寫眞はその運動の首唱者メリー……レーション】

ミルクが立派な滋養物であることを今更事新しく……でもあることを……

滿洲婦人歌壇
森谷つたゑ

○うす闇の海はほの……わくのぼれり
○星あかりの波を……ら立つる聲のほ……
○ゆかた着て出づる……おぼゆる
○父あらば母いま……た秋は來にけり
○今日明日と待ちて……雨降りて來ぬ

生活改善に關する座談會（5）
妻から夫への要求
共三

妻をあなたに同化させやうとするならばあなたも妻に同化すべく努力して下さい

世の夫はあまり妻にだけ要求しすぎる。自分の我儘ばかり徹さうとしすぎる。これは何も彼も押無理御尤もで夫に屈從して來たこれまでの妻の罪でもあるが夫もまた反省しなければならぬ。夫婦は互に半身である。家庭は夫だけでは成立つものでない。妻の家庭内における仕事は夫の社會に立つての仕事に對して決して劣るものではない。たゞ直接目に見えて金錢が得るといふことのために落しも夫が妻を輕く見たり大きな顔をしたりするのであれば全く認識不足といふ他ない。

×……×

ところが世の中には家へかへれば我樣天下といつた調子で自分の身のまはりの事さへ縱のものを……する位の勞を惜み、かと思ふと自分のしたい事なら妻や子供の……や不愉快は犧牲にしてもや……す樣な夫も決して珍しくはない……うだ。かうした家庭に生長の子はしらずしらず父の感……けて母を輕んずるやうにな……には女性に對して尊敬の念を……得ないやうに習慣づけられ……供に母を尊敬させやうとす……ば（それでなければ家庭教……底は望まれないが）先づ夫……尊重しなければならぬ。夫……が、子供が、それ〴〵互に……ひ愛し合つてこそ家庭が圓……

家庭顧問
幼兒の齒ギシリ治療する方法はないか

【問】七年四歲になる男の子です……

【答】……何れにしても強壯療法で體質を改善なさい
日下卓四郎

魅力となるいろく禿頭・缺齒・ゆび・斜視
妙な所に戀をした男・女

皆樣は何に魅力を感じますか？

美しい女性に戀をする、のは尋常一樣のこと、世の中にはまた妙な所が好きな者も多いです。

禿頭 外國の文獻に依ると……るが故に戀したと言ふ例があります……受けます。其の禿げ振りが……で、と言ふのではなく、頭……た人は酸いも甘いも嚙み分……勢人と言ふ所がぞつこん參る原因と思はれます。

缺齒 イヴン・ブロツホ氏……して居ます。……

貴女の秘密を語る頸と眼！

惱ましき瞳

汗と戀
ダンスと

◇全くダンスといふ…… ない宿命を持つて居ます。……に使ふ地方があります。シユーレジア、ボヘミヤオルデンブルグの如きは、林檎やパンを腋の下に挾んで汗をしみさせて想ふ人に食べさせます。またユーゴスラヴアの乙女達は、ビスケツトを內腰に挾んで踊り、ぐつしより汗をしみこませて戀する人に捧げます。かうすると其の戀の成就する事ニッポンのいもりの黑燒よりも確實だとされて居ります。何と恐ろしい汗の效果ではありませんか。

近代人と明眸運動

スマイルは消毒作用又は貧血作用に依る一時的な眼藥ではありません。結膜炎角膜炎ホシ目トラホーム血膜炎等の眼疾を癒し進んで眼の各細胞に榮養を與へて積極的に眼を更生させて疾患を豫防し眼を輝やかな魅力的なものとする最も理想的な高級眼科藥です。全國藥店百貨店に販賣、定價二十五錢四十五錢一圓

▽映畫觀賞觀劇に疲れを知らぬスマイル
▽スポーツに頭腦を明敏にするスマイル
▽旅行に行樂に、心身爽やかなスマイル
▽オフイスに讀書に能率百％のスマイル
▽家庭に快適明朗と團欒を生むスマイル
▽サロン街頭に異性を魅了するスマイル
▽齡齢前の一二歲年齢を超越さすスマイル

『明眸に輝く國、日本を作りませう』といふモツトーで、スマイル愛用者が猛烈な明眸運動を起して居ります。文壇映畫劇壇舞踊壇多數名士は擧手を擧げて贊同シークなスマイルランドと言ふグラビヤ刷のパンフレツトまで發行して居ます。入會希望者は東京日本橋區……戶町玉置合名會社へ二錢切手封入ご紹介あれ。

淚のちから

イギリスの科學者サー・アルキス・ライト氏はふとした事から淚が驚くべき殺菌力を持つ事を發見しました。爾來六ケ月研究の結果確實にそれを實證する事が出來たのです。即ちアルモス氏は小さな試驗管に數百萬の黴菌を入れ、それに一滴の淚を投ずると、忽ちの中に其の黴菌が滅滅する事實を多くの科學者の前で實驗成功したのです。又更らにアルモス氏は、淚の中に含まれて居るリゾジムと名付ける細菌撲滅素な人體各部の……生組內に發生した黴菌に注射し撲滅し得る事も實驗しました。恐るべき淚の力！されば一人一人殺すなどは易々たるものがあるのでせう。

……と其の店に入つ……彼の立ち止つた前……た黑髮と、それより……鋒がありました。十……生れの少女です。……に此の若き女性の眼……まつたのです。其の……の少女はハイネ夫人……恐るべき眼の力！

ニコポン・タロー（18）

滿日各地版

滿洲國、大英斷で度量衡を改革
ドイツの行つた先例に倣つて 經濟發展のため斷行

【新京】從來滿洲國内には度量衡の不統一のため經濟發展の上に種々の不便を來すのみならず農民はこれが不統一のため不良官憲の搾取を受け困窮甚だしきものがあり度量衡の改正については建國以來叫ばれてゐた問題であり新國家上にも三擬議され來つたが實業部當局に於ては目下鋭意研究中である、而してこれが改正は滿洲國の經濟上一新紀元を來すのみならず從來搾取に苦しめられて來た農民は統一と共に大體三割の利益を示し自然購買力を増加することゝなり斯界の發展を示す事明であるしかしながら急激なる改革は教養のない現住民に多大の不便と錯誤を與へることになるので關係當局でもこれを慎重に考慮中であるが曾てドイツで世界大戰直後大英斷を以て改革に當りドイツ産業界に幾多の利益をもたらしたに鑑み滿洲國に於てもこれにならひ一大斷行を試みんとしてゐる

故渡邊上等兵の守備隊葬を執行
瓦房店稀にみる盛儀

【瓦房店】九月十三日午前七時四洮線開通驛附近の激戰に於て獅子奮迅の働きをなし赫々たる武勳を現はし壯烈なる戰死を遂げ護國の神となつた故陸軍歩兵上等兵渡邊春次氏の守備隊葬は佛式により十月十三日午前二時半より市民倶樂部に於ていと壯嚴裏に執行された

祭壇正面には故陸軍歩兵上等兵渡邊春次之靈と名旗を揭げ白布に包まれた悲しき姿の遺骨を上段中央に安置しありし日生前勇氣溌溂たる俤を偲ぶ半身像を奉安儀伏兵四名左右に着劍いかめしく靈を護る祭壇には大内警察署長越智地方事務所長石井驛長林保線區長廣本分區長警察署員一同其他より贈られたる供物を備へ松井中隊長及第四中隊將士一同より心を込めた活花を左右に立て武藤關東軍司令官關東長官井上守備隊司令官滿鐵正副總裁岩田三大隊將校團第四中隊將士一同荒川領事大内警察署長越智地方事務所長遼陽時局委員會熊岳城時局委員會國境警察隊其他より贈られたる十數對の花環を左右に飾る陸軍側岩田大隊長西川大尉山元中尉片山中尉第四中隊松井中隊長以下三十六名鐵道事務所長越智地方事務所長大内警察署長其他各所屬長滿洲國李縣長代理荒川參事張實業局長其他日滿官民及沿線各地より多數參列式場は狹き迄にギッシリ滿ちたが流石に水を打つた樣に寂として靜かである

先づ伊藤中尉戰死の報告を指示して詳細なる戰況の報告次ぎに大連本願寺鈴川草野瓦房店龍原本願寺小川昭和寺妙法寺五ケ寺の僧侶の讀經香煙縷々として立ち昇る次いで松井中隊長の弔詞に一同哀愁の涙を誘ふ、續いて越智地方事務所長大内警察署長李縣長代理張實業局長大內在郷軍人分會長滿鐵現業員代表林保線區長弔詞朗讀、次に山の内中尉は武藤軍司令官井下守備隊司令官滿鐵正副總裁其他數十餘通の弔電を讀次ぎに弔詞の順序で燒香其他守備隊家族代表松井中隊長婦人婦人會代表大内署長婦人沿線代表熊岳城地委員古川議長山路校長雪本校長吉村國境警察隊長の燒香最後に松井中隊長參列者に懇篤なる謝辭を述べ併せて第四中隊將士一同は元氣で警備の任務を果してゐるからどうぞ御安心下さいと挨拶をなし午後四時終了したが斯くも盛大なる慰靈祭は生前の勳功を語るもので故人の冥福を心から祈つて退散した

野本巡査部長 署葬執行

【撫順】撫順署應援警官として警防中十二日夕管外塔連に於て七名の潜入匪賊の一隊と交戰し賊彈に心臟部を打ち貫かれて現場に即死した大連警察署勤務關東廳巡査部長野本隆治氏の葬儀は十五日午後一時から撫順警察署々葬として同署構内に於て嚴かに執行の筈である

氏は原籍地新潟縣中頸城郡津有村上野田に生れ昭和五年一月高田歩兵第三十聯隊第二中隊に入營、六年一月滿洲駐屯を命ぜられ四月旅順に駐屯聯隊に加はり昨秋の事變勃發と同時に多門師團の麾下に加はつて江橋を初め吉林、大興、チチハル錦州、哈爾濱と南北全線の大戰闘に參戰して顏面、手等に負傷し赫々たる勳功をたてゝ今春四月二十日大連出港內地に凱旋し五月歩兵伍長に任ぜられ滿期退營し、越へて六月一日關東廳巡査を拜命大連署に勤務中本月三日撫順署應援隊に加へられて來撫附屬地附近の警防に勤務してゐたものであるが沈着剛膽なる勇士で今回匪賊と衝突の際も身に一彈を受けながら四發まで發砲應戰して居り所持の騎銃には銃把に賊彈が深く喰貫し當時の激闘を偲ばせてゐる

撫順縣下被害者を縣公署當局で救濟
匪賊に蹂躪された跡

【撫順】匪賊に蹂躪された撫順縣下千金堡外六ケ村の住民は目下家は燒かれ衣食はなく秋風冷たい昨今全く氣の毒な狀態にあるので撫順縣公署では右各村の罹災民を救濟するとゝもに各村の復興をはかるべく今回右に關する布告を公布するとゝもに夏縣長を委員長として救濟委員會を組織し又奉天省公署より四萬元、撫順炭礦より三萬五千元の救濟基金を仰いで目下着々救濟の望みをあげてゐるが、委員會では中央に民會、建築、計畫、宣傳調査の各部を設け又各村には現地委員若干名宛を設けて罹災の程度其他を査定連絡してゐるが罹災民に對しては目下一日一人十錢の食費を支給し又家屋建築補助として五人を一戸として五十圓を支給しつゝあり、罹災民はこゝもと感謝してゐるが、被害狀況を示せば

村別	人口	死者
千金堡	二、七九一	八六
大東州	一、二八八	三七
小東州	七九四	七
東州河	九二〇	八
寨承濟	八九六	七五
平項山	一、三六九	四〇〇
揭柏堡	二八	一三
計	八、〇五八	六二〇

この苦心、この美擧
馬占山討伐戰から(一)

本稿は北滿の曠野で降雨と洪水と泥濘と蚊軍と戰ひながら文字通り惡戰苦鬪、馬占山討伐に當つた部隊將兵たちの手記である

敵出る迄

此處小興安嶺の西の端劉家店の一軒家、時七月廿七日夜正子夕刻より泣き出した空、雨は次第に强く軒を打ち暗澹たる夜に一入凄愴の氣漂ふ、乏しき蠟燭の光の敵に漏れるを恐れて、天幕を以て掩ひ中に集ふは大隊長、副官外二三名千餘の馬軍殲滅を期しての配備に一兵一銃をも惜みて第一線に出し大隊長の下には警備に任すべき一兵もない。

身を浸する草原を豪雨に打たれて傳令が歸つて來る「敵の無電が入ります」……無線通信手金成上等兵が報告する「ローマ字暗號で……」距離は「二十四日のより非常に近く四粁乃至七粁半徑内に敵の居ること確實であります」通信手の自信ある判斷に、忍び入る夜風に大隊長の鬚が微に動く、燃ゆるが如き信念と鐵の如き決心、此間總ての作戰計畫を立てゝ命令は下達せられた、遠隔の部隊に傳ふべく傳令が一人、二人闇に消へて行く、二十四日徹宵警戒し、馬軍全滅の大計畫のもとに翌二十五日午前一時、急遽正白旗六井より三井五井の間に出動、陣地を占領し濃霧に掩ばれ東進の狀を知り憩ふ間もなく郭家店東方地區に轉進した大隊主力、東進する馬軍千を王林廠附近に奇襲せる江澤部隊數十年來の豪雨に道といはず畑といはず、山の頂迄が膝を浸する北滿特有の泥地を行程十餘里、休憩の暇を惜む、急迫せる情況に、濕地に「モガク」戰友を銃を以て援け出し、圓匙に馬脚を掘て救ひ出し、斯くすること數度、全身泥まみれとなる、此頃携行する糧秣既に乏しく文字通り連日不眠不休不食にて疲勞其極に達し、漸くして馬軍北進の要路劉家店附近に到着した。

企圖秘匿が此處もと最大重要事で工事は勿論、喫煙、談話も愼まねばならなかつた、小康を得た空は次第に暗く險しく、夕刻に到り豪雨沛然として來り、山脚といはず山頂に到る迄濁流氷草を靡かせ雨宿りする一木なく全身濡れ鼠の如くなり、加ふるに膝よりは水に浸り遠雷に「銃聲か」と耳をそば立て時折り來る雷光に透視し「敵影近づき」と疑心暗鬼を生ずるとは此の心情を譬へたものか、加ふるに蚊群の攻擊は口といはず眼といはず、追へども盡きぬ、車がかりの陣備へと許り猛襲し、一代の怪傑馬占山を物の數とも思はぬ、上州健兒の「つはもの」も此處許りタジ〳〵の態、未だ宵ながら明ぬべき夏の夜も、今宵のみは長きこと未だ曾て見ない所、斯くして徹宵豪雨と蚊群に惱まされ明くれば七月二十七日、我軍旗拜授記念の日、夜來の豪雨も小止みとなり、朝靄の漸く霽て一面の草原眼前に展開する頃、時しも午前正に九時、突て出した展望哨より「敵縱隊見ゆ」定めの信號あり「脊が高い」と[illegible]する戰友一分、二分敵の大縱隊は刻々迫る、伏す、三百餘名の心中や如何。

幸ひなる哉、努力は報ひられ、二十七、二十八兩日大追擊の後二十九日拂曉文字通りの全滅を敵に行し、軍人最高の名譽たる感狀を授與せられ、我が軍旗の榮光をして輝かしめた(小池軍曹)

敵から糧秣給與

劉家店附近の戰闘より追擊に追擊を加へられた敵は携帶糧秣(砂糖、馬鈴薯、干葡萄)を捨て、命からがら遁走する、家ある毎に其處にて馬鈴薯を煮る、未だ煮へ切らない内に吾が追擊隊が到着する彼等は其れを捨てゝ遁走する……此等馬鈴薯、砂糖等を食ひながら(勿論空腹を滿たすことは出來ない)追擊する吾が追擊隊ほく〳〵、誰か云ふ「敵は吾々に糧秣を給す」と、實に遁走する身の悲しきぞ。

頌の形變る

馬軍殲滅戰より正白旗十六井に歸つた或日の午後、〇〇一等兵が手拭で顏を覆ひ襦袢袴下を洗濯して居ると〇〇上等兵曰く「ニーニー早く水を持ち來れ」と、一等兵は支那人に間違へられたのだ、一等兵は憤慨した、一等兵曰く「顏は蚊に食ばれて變形するし頭髮は伸びる、それに榮養不良で痩せ衰へ「變大藏」支那人と間違へられても仕方がないと

高粱刈取で匪賊は附屬地へ
奉天署嚴重な警戒

【奉天】沿線匪賊の跳梁に際し奉天附屬地は我軍警の不眠不休の嚴重なる警戒で一歩も寄りつけず一件の强盜事件さへなくて濟んだが今後高粱も刈り取られ隱蔽物がなくなつて橫行の自由を失つた賊團は四散して漸次沿線附屬地內に潜入する模樣あり奉天署では更に之が警戒を嚴にしてゐるが是等不良分子の潜入で市内にコソ泥が殖えないとも限らない旣に附屬地境界線ではこうした事件が多くなつて來たので一般市民もこの際大いに注意されたいと

鮮農逃げ歸る

【撫順】撫順南方三里岡家堡子の鮮農崔元德外五名は最近時局稍安定したるため現地に歸農し永稻刈取中匪賊に拉致され平山子部落に於て匪賊のため耳を切落される等の惨行をうけたが、匪賊團が討伐隊と衝突した隙に乘じ十三日身を以て當地に脫出して來た

特産の出廻遅延で吉林の經濟界寂寥
金融界も著しい閑散ぶり 注目される出廻後

【吉林】朝は早くから夜は遲くまで愛と汗で働き續け、豐年や萬作を祈り、且樂しみながら植え附けた農作物が既に刈取りの時期が來て居るにも拘らず匪賊の横行甚だしきため折角汗の賜として豐に實つた田園を眺めながら手を付ける事も出來ず、一般農民は困窮の極に達してゐたところ過般來我が官憲の應援保護のもとに漸く刈取を

開始

したが、これが例年ならば九月頃より本月頃は頻りに活氣を呈して各經濟界にも相當な景氣を見出せるべきであらうが前記の如き有樣にて本年度の特産物出廻り期は約二ケ月の遲延で、先づ本月末より來月がその動搖期と見ろべきが至當である、これに依つて現在經濟界は如何なる程度に動いて居るか、某經濟通の言に依るならば現在の吉林經濟方面は全く今の處話にもならない樣な有樣で、特産品の出廻期になるまでは其の豫想も付かないと、しかし追々刈取りも進んで居る現在、遲くも來月頃は多少の活氣を見せるものと豫想されてゐる、更に金融機關は如何なる

方面

に動いてゐるか、數字的にこれが統計を示せば大體左の如くであるが、これは吉林滿銀支店に於ける預金及び貸金を區別的に示すものである

昭和六年より

預金の部

▲(八月)日本人四〇六、五九六圓、支那人三四、六九一圓、外國人五、〇八四圓合計四四六、三七一圓▲(九月)日本人三九三、九一八圓、支那人八、一五四圓、合計四〇二、〇七二圓、▲(十二月)日本人金票四八二、〇七二圓、銀票六七、五六六圓支那人金票一〇、三八九圓、銀票二二、三〇〇圓、合計金票四九二、四六〇圓、銀票八九、八六六圓▲(昭和七年三月末)日本人金票四〇四、三五二圓、銀票一七、一九九圓、支那人金票二九、三四五圓、銀票五一、二三〇圓、合計金票四三三、六九七圓、銀票六八、四二九圓▲(九月)日本人金票八四一、二二二圓、銀票七六、六〇〇圓、支那人金票四八、八六八圓、銀票五三、三二一圓、合計金票八九〇、〇九〇圓、銀票一二九、九一二圓

貸出しの部(昭和六年度)

▲(八月末)內地人四九、一八二圓、支那人二四八、八八〇圓、合計二九八、〇六二圓▲(九月)日本人四六、〇〇一圓、支那人二五五、六九九圓、合計三〇一、七〇〇圓▲(十二月)日本人金票三八、五三二圓、銀票四六、一〇〇圓、支那人金票二二七、二二九圓、銀票八、〇〇〇圓、合計金票二六五、七六〇圓、銀票五四、一〇〇圓▲(昭和七年三月末)日本人一一八、一〇九圓、支那人金票二二、三二四圓、銀票三七、三五〇圓、合計金票三三〇、四三三圓、銀票三七、三五〇圓▲(九月)日本人五二、二四五圓、支那人一八二、九五〇、合計二三五、一九五圓

右の通りであるが一般的に日本人の方は木材關係が多く 支那人は貿易關係の取引多くして、統計表を見ると貸[illegible]六年度九月以後の減少は事變の影響を受けたものと、昭和七年度九月の如きは例年に比して實に減少を示して居る、然し十一月に入つてはこれ等の減少も稍恢復するものと思はれるが、現在の處此の位のものであらう、預金の方は日本人側では相當增加を示して居るが、これは事變に際しての軍部關係が多く、一般商人には大差無く、支那人の方は事變當時以後が其の影響を受けて少く現在は稍向上の域にあり、果して此後の出廻期を控へての經濟界の動きに注目されてゐる

特産運搬に滿洲國の警備策
裝甲自動車を配備

【新京】特産物出廻り期をひかへ地方匪賊の横行の爲めに百姓の特産物運搬に支障を來し爲めに特産業の打擊大なるものあるが實業部では重大問題とし之等の運搬方法を考究中であつたが軍部滿鐵の了解を得て地方の各主要都市に裝甲自動車を配置し匪賊の襲擊にそなへる事になり豫算約十五萬圓を計上具體的方法に就いて研究中であるが既に大連及奉天に部員を特派了解運動中である、而して兩方面も大體に於て之を諒としておる模樣で近く實施されるに至る筈である

學童使節の手紙 各學校に配布す
お友達への返信に懸命

【安東】曩に來滿した可愛らしき訪滿學童使節一行は各地に於て日滿親善の意義深き足跡を印し多大の收穫を齎して無事歸國したが、日本全國學童より安東の學童に贈られた心からの親愛な文章に認めた繪葉書數千枚並に滿洲語に譯した鳩山文相よりのメッセーヂ(去る三日大和校に開催の日滿學童交驩會に於て朗讀したもの)約五千枚は十一日安東縣公署に屆けられたので直に各學校に配布することゝなつた、尚日本側は既に各校生徒にそれ〲配布ずみで母國のなつかしいお友達への返信を認め滿洲國の眞實の姿を紹介しようとしきりに文案を練つてゐる模樣である

リットン節
正論を天下に示すため 廿日奉天から放送

【奉天】リットン報告書に對する日本朝野の激憤は今や底止する處を知らぬ有樣であるが滿洲樂界の耆宿樂童村岡氏はその正當なる批判を天下に呼びかけるため人口に膾炙し易いリットン節を作り來る二十日樂童氏自ら奉天放送局より全滿及び內地へ放送することになつたその歌詞左の如し

津上蒼洋作歌 村岡樂童作曲

一
認識不足の聯盟が
調査委員を派遣して
支那と滿洲を調査する
調査もよいがリットンさん
顯と二人で水入らず
お舟に乘つたも乙なもの
アラ……リットンサン
オヤ……リット サン

二
海陸分離の三班で
滿洲入りの調査員
之から先が命懸け
懸ける命は一つきり
顯が惜むも無理ぢやない
お腰を拔かして惡宣傳
アラ……リットン
オヤ……リットン

三
調査の結果は知れたこと
我が朗かな大滿洲
三千萬の民衆が
學良飽して建てた國
極東淨土の平和鄕
文句つけるな調査員
アラ……リット サン
オヤ……リットンサン

開通した洮昂線發着時間表
當分一日一往復

【チチハル】北滿未曾有の大水害により洮昂線は去る七月下旬以來不通となつたので洮昂鐵路局では一時的便法として船車連絡により貨物旅客の輸送を實施すると共に一方破壞個所の復舊を晝夜兼行で急ぎつゝあつたが最難工事の江橋鐵橋も此程漸く修繕を終り十日試運轉の結果成績良好なりしため十一日より洮南龍江間の列車運行を復舊することゝなつた、然し匪賊の横行甚だしき爲め當分の間晝間のみの一日一往復とし龍江、洮南兩驛發着時刻は左の如くである

△洮昂線上り(各等)
龍江驛發 午前九時
洮南驛着 午後五時二十五分
△洮昂線下り(各等)
洮南驛發 午前七時三十分
龍江驛着 午後三時十分
△齊克線下り(各等)
龍江驛發 午前七時
泰安驛着 午前十時二十八分
△同 上(二、三等)
龍江驛發 午後〇時十分
泰安驛着 午後四時
△齊克線上り(二、三等)
泰安驛發 午前七時
龍江驛着 午前十一時
△同 上(各等)
泰安驛發 午後二時十分
龍江驛着 午後五時四十五分
△中東線上り
龍江驛發 午前七時四十分
中東驛着 午前八時三十分
龍江驛發 午後一時五十分
中東驛着 午後二時四十八分
△中東線下り
中東驛發 午前九時十分
龍江驛着 午前十時十五分
中東驛發 午後三時三十分
龍江驛着 午後四時二十分

沿線往來

▲森權吉氏(全權府情報課勤務)十三日着任
▲瓶田博夫氏(奉天驛事務助役)今回滿鐵々道部庶務課に榮轉となり不日赴任の筈
▲濱田耕作氏(文博京大教授)十六日奉天城内皇宮博物館を視察午後三時發安奉線で平壤へ
▲梅田潔氏(東大教授) 同上
▲清水遼陽署長 警察會議列席の爲め十四日朝奉天へ
▲東北帝大小野教授は十六日、平壤燃料廠角大佐は二十二日來撫の答

日本の對滿支持は道德的行動の延長
松木師團長、團結の威力を强調
齊々哈爾の承認慶祝會

【チチハル】滿蒙三千萬民衆が日本帝國の滿洲國承認の喜びを表徴する慶祝大會は秋色深き重陽の佳節を卜し全滿一齊に擧行されたが黑龍江省の省城チチハルに於ても他省に劣らぬ盛況裡に終了した、菊香秋天に匂ふ重陽の佳節、慶祝承認大會の當日の八日は朝來一點の雲影もなく秋空高く澄み渡つて戸毎に樹てられた日滿

兩國旗

と主要道路兩側を連れた慶祝旗は朝風に飄飄と飜へり會場たる龍沙公園は掃き淸められて秋の香り一しほ高く日滿兩國の憲兵警官等の水も洩らさぬ警戒に滿場肅として音もなく紅白の幕美はしく紅葉と相和して晴れの大會時刻を待つものゝ如くである午前八時頃より日滿官民、各學校生徒續々として會場に入り來り韓張、劉正副會長並に松木師團長等を最後として數千の日滿官民が會場に參集し同九時振鈴を合圖に晴れの大會は開かれた、軍樂隊の

奏樂裡

に一同起立して省長以下全員溥儀執政の寫眞に最敬禮し建國歌唱和の後韓會長執政敎書を捧讀すれば、滿場水を打ちたる如く肅として襟を正し續いて張副會長より國務總理の訓辭を朗讀の後省長並に警備司令官が開會の辭を述べ來賓の祝辭に移り先づ松木師團長が朗々たる音聲にて次の如く祝辭を讀む

黑龍江の巨流、興安の峻嶺皆之れ一滴の水一塊の土、集積して克く其の雄を爲せるものなり、嗚呼團結の力偉なりと謂ふべし玆に滿洲三千萬の同族諸卿は遂に大同元年三月一日一致

團結し

て新たに光輝燦然たる新國家を建設し纔に僅か半歲にして萬世不動の基礎を確立す、其潑剌たる勢は旭日の天に冲するが如し是實に世界史上稀に見る鴻業にして卿等の歡喜推して知るべきなり

惟ふに我が日本帝國が此の壯圖を永遠に支持する所以のものは唯是れ道德的行動の延長にして我が大和民族天賦の使命なればなり、之を以て我帝國は曩に舉國一致示他列强に先んじ滿洲國を承認し以て範を世界に垂る、今や國際上最も

善隣の

親交友邦となれり貴國と我國とは之れを過去四千年の歷史に徵し、又之れを地理的經濟的に鑑みるに常に唇齒輔車の關係を有し決して相離るべからざるものなり此兩雄邦の確乎たる存立は、實に東洋永遠の平和を確保する所以にして、而して又世界の平和を招徠する所以たり、卽ち知る貴國の建設は寔に世界人類の福祉なることを本日玆に最も親善なる我帝國が滿洲國を承認したるを記念し、黑龍江省公署、同協和會主催の下に官民相謀り慶祝承認大會を開催せらる、予此の席に列し卿等と親しく歡を俱にし、喜を頒つて欣幸とす、冀くは今後兩國の國交益々醇く、親善彌々深くして

世界の

平和を確得し、人類の福祉を增進し、滿洲國王道文化の光輝ある精華を悠久に貽さんことを、聊か蕪辭を述べて祝辭とす

昭和七年十月八日
日本帝國第〇〇師團長　松木直亮

之に續いて内田領事、濱崎民會長金鮮人民會長、王商務會長の祝辭あり來賓演說に入り地方紳士、宣傳部、男學生、女學生各代表者の祝賀演說に聽衆は感激の拍手を送り續いて大會決議及

通電を

滿場一致議決した、斯くて省長の發聲にて參列者一同滿洲國、日本帝國、黑龍江省民衆の萬歲を三唱したが其聲は秋空に波打つて大興安の嶺を越え遙か西歐にも響かんばかりにて三千萬民衆の喜悅を表徴するに充分であつた、斯くて大會は有意義に而も盛會裡に終り

軍樂隊

の奏樂裡に一同退場し祝賀宴會場にと歩を運んだ餘興は正午より祝賀宴會場に於て開催されたが在齊日滿美妓の酒間斡旋と出演に觀衆は和氣靄々として祝賀氣分を滿喫し折柄秋空高く飛翔しつゝあつた祝賀飛行機は會場上空を低空飛行して敬意を表し機上より撒布された祝賀ビラは頭上を舞ふて時ならぬ五色の花とまがひ一同歡を盡して午後四時散會した

出動した警官隊匪賊と交戰
擊破して渾水泡到着

【安東】（十一日午後三時安東守備隊着鳩通信）現地保護の爲め大東溝に出動した安東署平光警部の率ゐる〇〇〇名の警官隊は十日午後零時大東溝發渾水泡に向つたが十一日午前八時同地西方二里坎子下邊崗嶺の高地に差しかゝつた時突如同山脈約四千米突に亘り各所に集結中の匪賊四百の猛射を浴び直に戰鬪開始同九時半同高地を占領、更に進擊して午前十時大樓房東方半里張家灣の高地に於て頑强に抵抗を試みた一團をも擊破し午後零時半警官隊は右、左、中央の三方面より步武堂々と目的地たる大樓房に入城したが匪賊は逃走の際鮮人家屋に放火した、然し直に消火し平光警部は部落民にて匪賊に通ずるもの、又は抵抗、良民に危害を加へんとする者に對しては容赦なく鐵槌を加へる旨の訓示を爲した、本戰鬪は戰線數千米突に亘り四時間の交戰で敵の損害多大の見込であるが張家灣の戰鬪に於ては死體四、支那洋砲一、槍、長刀、靑龍刀及彈丸多數を遺棄してゐたので之を捕獲し我々は何等の損傷なく同道した渾水泡部隊は同日午後二時歸還した

兵匪に我兵慘殺さる

【遼陽】遼陽附屬地居住後備步兵一等兵五十川七造氏は數日前黑谷部隊の通譯として出動東進中去る十日城東大安平（邦里六里）附近

に於て匪賊の爲め慘殺せられたることが十二日同地方搜査の爲め出動せる隈部部隊の鳩便に依り判明死體は十四日遼陽に到着した

匪賊と交戰中警備兵逃亡

【營口】十二日午後八時半頃四道溝方面より河口信號所に匪賊六十

激戰を物語る血染めの槍
警官隊殊勳の鹵獲品

【鐵嶺】十二日縣下長寨子に於ける鮮農現地保護警官隊と大刀會匪の交戰は午前十時半頃より午後三時半頃まで實に五時間に亘る激戰で敵は多數の死傷者を出し、警官隊にも倉橋恒吉巡査が敵の手榴彈破片で睾丸に爆傷を負ひ右足は盲貫銃創を受けたるが生命に別條なく、卽日大甸子に引揚げ十三日朝六時澤村部長以下戰友十七名、公安隊二十名、鮮農十六名に護られて午前十一時鐵嶺を出發した中村警部補の一隊と熊官屯に於て合して歸路につき午後四時無事本署に到着した、倉橋巡査は共儘滿鐵醫院に運ばれ應急手當の後入院したが長途擔架に搖られ急所の重傷にも屈せず頗る元氣である、澤村部長一行は鹵獲品たる十數本の紅槍や長銃其他を攜へて來たが、紅槍には鮮血塗られて激戰を物語る充分なものあり、敵匪は警官隊來ると知るや長寨子附近の山岳に伏兵し警官隊接近するや紅槍を振翳して山を馳下り殺到し來り警官隊の放つ機關銃を物ともせず斃るゝ者を踏越え乘越え勇敢に突擊し一時は警官隊も頗る苦戰に陷つたが武運に惠まれ一名の負傷者を出したのみで完全に擊退したと

警務局長より慰問電

【鐵嶺】長寨子の激戰倉橋巡査（本年四月鐵嶺署着任）負傷の報關東廳に到着するや十三日警務局長より左の如き激勵電が警察署に寄せられた

優勢の賊と遭遇寡を以て衆を制し敵に多大の損害を與へたる鮮農保護派遣部隊の勞を多とし負傷巡査の快癒を祈る

沼澤に追込み敵匪五百を斃す
中山支隊の殊勳

【チチハル】東支線昂々溪方面に逆襲を試みんとして某方面の援助の許に武器彈藥の補充を急ぎつゝありし敵の大部隊は、我軍の急激なる追擊に陣地を保つ能はず、漸次西方に向つて移動しつゝあつたが、我中山支隊は九日午前九時敵入城せる爲め、敵は遂に同地方の陣地を捨てゝ八日夜より九日拂曉にかけて西方に退却を開始し、先を爭ふて汽車に乘る者、或は汽車に乘る能はずして徒步にて遁走又は沼澤に陷りて逃場を失ふ者等極めて多く、敵の損害約五百、九日朝來の追擊戰に於ける我損害戰死兵二、負傷兵二（十月十日午前十一時松木師團司令部發表）

中山支隊更に急追
敵匪損害多大

【チチハル】九日早朝富拉示基に入城した我中山支隊は斥候を四方に放つて敵狀を探つた結果、富拉示基の前方卽ち西方約二里の雇動呼拉驛に三百餘の敵兵が陣地を占領しつゝあるを聞知し、同日午後攻擊を開始し遂に之を占領した、敵は多數の死體を遺棄して更に西方に逃走した、此戰鬪に於ける我損害負傷兵僅かに二名（十月十日午前十一時松木司令部發表）

嫩江鐵橋破壞
但し損害は輕少

【チチハル】江橋に於ける嫩江大鐵橋破壞の計畫を立た敵匪賊百名餘は去る八日夜、夜暗に乘じて遂に破壞を決行したが大なる損害を與ふるに至らず僅かに其一部を破壞せるのみにて列車の運行は修繕の上ならでは出來ざるも徒步通過には何等の故障なし（十月十日午前十一時松木師團司令部發表）

自警團員二十名脫走

【鐵嶺】新臺子東方怒路自警團團長以下團員二十名並に村内不良の一名の襲來あり、同所警備の王殿忠軍二十名は之と交戰中、五十名の應援隊直に驅付けたが、賊は旣に何れにか逃亡して居た、同所の警備兵二十名も何れにか失踪し翌日に至るも消息不明、或は賊と共同動作を取り共に逃走したるものにあらずやとの噂であるが、十三日には更に二百餘名の警備隊を增派し警戒中である

二十名は十二日午後三時頃一團となつて兵匪の群に投ずべく脫走したるが附近部落の自警團も雷同するやも知れずと嚴戒中である、脫走原因は村民が自警團の行爲に對して要路に投書したる爲め豫て村民の薄情を怒つてゐたところへ數日前縣政府より團長に出頭命令あり或は共解職されるやも知れずとの懸念から十二日村長、稅捐分局長以下村内有力者を集めて萬一の場合援助方を嘆願せしも快く承諾を與へなかつた爲め遂に村民の薄情を怒れる餘り不穩の擧に出たものであらうと傳へらる

奉天に强盜

【奉天】十二日午後七時頃奉天西北市場第五區鮮人趙用財（三二）方へ二人組の强盜押入り金品十九圓餘を强奪逃走したので目下犯人嚴探中である

日滿婦人會に滿洲婦人出席

【奉天】本月二十四、五兩日大阪で日滿婦人聯合會が開催さるゝことゝなり滿洲婦人聯合會から多數出席する筈であるが滿洲國協和會の斡旋で滿洲國人婦人團體よりも代表者五、六名を出席せしむることゝなり目下人選中であるが旣に四名は決定を見、十六七日頃には日滿婦人代表の顏合せをなす運びに至らうと

旅順醫院五周年祝賀會

【旅順】關東廳旅順醫院は本年恰も開院滿二十五周年に相當するを以て來る三十日同院庭に於て祝賀會を開催支那手品の餘興、模擬店等がある

全滿弓道大會
十五日撫順で

【撫順】撫順體育協會主催秋季全滿弓道大會は十五日午前十時から永安臺弓道場に開催の筈であるが奉天を始め沿線各地からも多數參會する由

奉天交通デー

【奉天】奉天署では十四、五の兩日を交通デーとて左記事項につき徹底的取締りをなすと左側通行の勵行、步道通行の督勵、緩行車の外側通行、人力車、馬車の並立走行禁止、道路中停車の禁止、自動車通過に對する人、馬車、步行、走者に對する注意

大藏男來安

【安東】貴族院議員大藏公望男（元滿鐵理事）は議會開會前六十餘日間を利用し滿蒙諸般に亘る大調査を爲す爲め十二日午前六時十五分着來安ホテルに投宿したが同日多田安東地方事務所長、小川勸業係長その他を招致して安東及びその附近に於ける諸般の現況と今後について詳細を聽取するところありなほ二三日滯在の上各方面の關係者と共に詳しく種々の調査を重ね北行する筈

吉林

小學校長着任

前撫順新屯尋常高等小學校長寸田政吉氏は今回吉林小學校校長に轉任する事となり十一日午前十一時三〇分着列車にて着任した

鐵嶺

凱旋部隊慰問

鐵嶺時局後援會では去る十一日四ケ月振りに凱旋した鐵嶺守備隊に對し慰勞の爲め酒肴料金一封を贈り將兵を慰問した

鐵嶺雜聞

▲體育協會小野前田兩氏より野球部に寄贈された優勝カップは十三日到着した近く優勝チーム實業軍に授與される筈
▲前田地方事務所長は社宅改修工事のため八月以來松花ホテルの前に假移轉してゐたが工事完成したので舊社宅に戻つた
▲本日午後三時から小學校に於て官衙軍對列車區軍の優勝爭奪野球準決勝戰がある

撫順

地方委員會

撫順區地方委員會は十五日午後一時から中央事務所に於て開會の筈であるが例會とて特別の協議問題はなく東七條小學校邊永安橋の落成竣工に關する報告其他席上提案者の議題につき懇談すると

炭礦定期昇給

撫順炭礦中央事務所では十二日久保次長、宮澤庶務課長、其他各課長列席の上今期社員の昇給に關し會議したが昇給者は月數に依つて大體定まつてゐるし略前期同樣であるが昇給基金の減額其他で多少昇給額は惡い模樣である

小林氏講演會

炭礦庶務課では目下本社地方部學務課後援の下に沿線各地を遊說視察中の米國救世軍日本人部長少佐小林政助氏を聘し十四日午後六時から實業協會樓上に於て「日米問題を如何に見るか」の題下に講演會を開催する由

千金校記念式

撫順千金尋常高等小學校の創立二十五周年記念式は十三日午前九時から舊市街の同校講堂に於て來賓多數臨席の下に職員、生徒、父兄卒業生等參列し盛大に擧行された式は君が代合唱に初まり勅語捧讀に次いで奉答歌を合唱し、學校長瀧川富一郞氏の式辭、管理者宮澤炭礦庶務課長告辭に次ぎ少年團長中島右仲氏、寺田撫中校長、撫順縣長代理子秘書等來賓の祝辭及び坂口保護者代表、梅田卒業生總代佐野在校生總代祝辭ありかくて校歌合唱を以て永年勤續……の表彰式に移り、瀧川校長は廿五年勤續王慶山外望月乘吉、小貫篤輝、小泉ソノ萬豐久の五氏に對し記念品を贈呈して表彰し一同退場、それより故職員生徒十九名の慰靈祭を營み正午閉式、一同別室にて祝宴を張り一時頃散會したが、校内には兒童書畫作文の展覽會あり夜は六時半より兒童達の記念音樂會が催され盛會であつた

罹災鮮人追悼會

【撫順】鮮人同友會では近く罹災鮮人の救濟及び死亡者の追悼會を擧行すべく準備中である

安東

弔慰金に謝電

事變一周年記念に際し安東市民大會より贈られた弔慰金に對し富山縣礪波郡福野町に住む大居のぶ子未亡人は十日多田市民會長に吹懇なる感謝狀を寄せた

遼陽

小學校記念式

遼陽小學校は本年創立廿五週年記念に相當するので十五日午前十時から講堂に於て記念式を擧げ兒童の學藝品展覽會を開催すと

營口

巡邏船羅州丸

當港における燈臺船、航路標識其他の港灣設備實地調査のため來港の遞信省燈臺局巡邏船羅州丸は十二日入港燈臺船の設備調査をなし更に浮標の調査をなす豫定のところ、十二日夜河口信號所に匪賊襲來のため取止めとなり十三日出港した

凱旋將校を招待慰勞宴

大石橋守備隊は時局發生後當地の警備に任じ、更に北方に出征し各地に轉戰して先般凱旋歸隊したので門岡所長、青木署長、王司令、楊縣長發起となり十五日岩田大隊長、葛目少佐森重大尉、岡本副官酒井大尉、岩瀨主計高崎通譯の諸氏を招待慰勞宴を張ることゝなつた

鄕軍射擊練習

在鄕軍營口分會は十二日評議員會を開き警備の繼續及び團員の勤務に一層の緊張を加ふる件等を附議したるが十六日午前十時から野砲機關銃及び拳銃の射擊を行ふ筈である

旅順放送

▲大連新聞旅順支局勤務塚田新一氏は今回中原峰吉氏夫妻の媒酌に依り林良一氏長女信枝孃と婚約整ひ十七日華燭の典を擧げ同夜六時から德興樓に於て披露宴を催す事となつた
▲土屋町二柿沼德氏方では二十七日三男武文君が出生
▲吉野町一四一一蝦原滿興氏方では七日四男順三君が出生
▲戰跡リレー旅順選手後援の爲め十三日午後二時から市役所に於て各委員集合當日の應援方法に就き協議を爲す處があつた
▲胡家屯知公理三郞氏方では二十八日長女時子孃出生
▲北滿水害救濟金は總計四百五十圓九十二錢を算し十三日締切の上發送手續を爲す
▲支那町料理店の九月中に於ける水揚高は藝奴十六名酌婦百二十二名、遊興人二千四百六十六名に對し酒肴料が千二百十三圓花代が九千五百三十八圓總計一萬七百五十一圓で前月に比し千三百三十三圓の減少である
▲出雲大社敎では來る十七日より三日間秋季大祭を執行野口淸香軒社中の生花奉納大會がある

各地の卸賣物價
關東廳調查課調査

安東

安東に於ける昭和七年九月分の卸賣物價を調査するに其の概要次の如し

▲騰落割合（重要商品三十九種に付算出）△前月に比し五分三厘騰貴△前年同月に比し二割一分七厘騰貴△昭和五年一月に比し指數九一二卽ち八分八厘下落

△昭和六年十一月に比し指數一二二三卽ち二割二分三厘騰貴／餘類別に依る指數を示せば次の如し（對比は百）

		前月對比	前年同月對比
食料品（七種）	一〇六、一	一二〇、四	
調味料（八種）	一〇二、四	一一三、四	
飲料及嗜好品（六種）	一〇二、四	九九、七	
衣料品（二種）	一二六、四	一三五、八	
燃料（二種）	一〇四、四	一〇八、五	
建築材料（十一種）	一〇五、三	一三五、〇	
雜品（三種）	一〇四、四	一〇七、一	
總平均（卅九種）	一〇五、三	一二一、七	

▲騰落品目（調查品目五十三種中前月に比し騰落したるものを揭ぐ）▲騰貴三十三種淸酒菊正宗（二割二分一厘）生鷄（二割二分五厘）蒲團綿（二割二分二厘）鰹節土佐本節（二割）挽角紅松（二割）鷄卵（一割六分一厘）角砂糖（一割二分五厘）玉葱（一割一分一厘）柳角紅松（一割一分一厘）麥粉寶船印（一割〇分八厘）小袖綿（一割〇分八厘）麥粉竹印（一割〇分四厘）淸酒白鶴（一割〇分三厘）亞鉛引瓦板（一割）板硝子（九分二厘）木炭（九分一厘）挽角白松（九分一厘）洋釘（八分七厘）麥粉綠ダイヤ印（八分三厘）板白松（八分三厘）生石灰（七分七厘）茶川柳（六分五厘）氷砂糖（五分九厘）板紅松（五分九厘）白砂糖（五分七厘）丸鐵（五分七厘）燐寸羽鹿印（五分三厘）牛紙（四分七厘）塗料（四分六厘）茶正喜撰（四分五厘）醬油龜甲萬（三分六厘）洋紙（三分二厘）▲下落四セメント（一分七厘）鹽鮭（四分）白米檢査一等（三分四厘）種馬鈴薯（三割二分）白米無檢査一等（一分二厘）▲保合十六種

第九回煖房展覽會

十月 15日 16日 17日

於大連民政署横空地

電氣ストーブ

經濟・衛生・便・輕

文化生活は電化から

賣價 六圓より 各種 (第一次 燈 暖 兩用)
御貸付損料 三圓より

南滿洲電氣株式會社大連電燈營業所

粉塊炭兼用 國神ストーブ

安價な粉炭燃料を使用して一冬の節約實に「ストーブ」代金が只になります

發賣元 三菱商事會社發賣

家庭繪讀本 (卷一) ガス

煖房界の最高權威=連續完全燃燒 煤煙防止の模範 『モハンストーブ』

和洋室煮炊兼用 No. 3號

滿洲中國總代理店 大連市監部通 大德洋行 電話五七三三番

最高權威 ニットーストーブ

烈火久燃 節約自在 強熱耐久 熱料節約 放燃調優美價格低廉

大連市山縣通二一 昌和洋行 電話三二三五

斷然他品を壓倒し 絶大なる贊辭と好評を博した アルバンストーブ

三二年型新製品

滿洲總發賣元 合資會社 原田組

セメンタースードブ

ストーブの御選擇

大連伊勢町 久保洋行

比無秀優界斯 標準型 榮光ストーブ

代理店

ヘルス

名實一致 信用第一

滿洲總代理店 鳥羽洋行

昭和七年最新型 特許 センロクストーブ

製造元 埼玉縣川口町 愃六總本店

代理店 大阪 湯淺七左衛門商店

販賣所 滿洲金物株式會社

大連市浪速町二丁目 大連商品館

專賣特許 ユタカストーブ

絶對無煙 構造簡單 完全燃燒 放熱倍加 點火容易 炊事兼用

定價 ¥14.50

滿洲石炭指定販賣 總代理店 大連石炭商組合

驚嘆すべき內容の進歩 新裝せる タイハンストーブ

=人氣の標的=

滿洲發賣元 出光商會大連支店

特許 村上式ストーブ

事實は有力なる宣傳! 革命的權威斯くべき高熱煖爐 飛ぶ様な賣行は何を語る?

滿洲總發賣元 水上洋行

(家庭炊事用)

煖爐界の霸王として君臨せる 本溪湖ストーブ

發賣記念奉仕大特價提供

製造元 本溪湖煤鐵公司

一手取扱店 猪谷悅治郎商店

大連特約店 滿洲金物會社 大連商品館

キヨーワストーブ

乾燒鍋燃燒式 32型新製品

此の驚異的作用價値 炊事方式純理の解決 粉炭燃燒の合理的整理

炊事用正味金拾圓

大連市山縣通三六 蘆田洋行

世界に誇る フクロクストーブ "FUKUROKU"

日、英、米、佛、伊、獨、露、支、各國專賣特許

滿洲發賣元 美風堂營業部

君命をかしこみて 東へ往く答禮使

敬肅の態度に噤む唇を破り 覺えず風發の氣焰

滿洲國承認特派日本國答禮專使、外交部總長謝介石氏は赴日の途次十三日「はと」で來連した、普蘭店まで出迎へて車中刺を通ずれば謝專使は例によつて暖やかに談論風發するが、重要な使命を帶びてゐるからとて謹嚴な口調で左のごとく語つた

今度私は日本の滿洲國承認の御禮に執政の名代としてその親書を携へて日本の天皇陛下に捧呈する大役を仰せつかつて東京へ行くことになりました、古來一國の元首から他國の帝王に使するといふことは非常に重大な役目で、使者は齋戒沐浴してその任に膺つたものであります、故に私も拜命以來、最も謹愼し、大任を終るまでは一切の事に拘らぬつもりで、奉天でも宴會などの招待もあつたが斷つたやうな次第です、私の渡日はこれ以外に何らかの役目を帶びてゐるやうに世間では噂さしてゐるやうですが、私に與へられた役目は全くこれだけです

不可侵條約? さア、知らないね

……ご呆けながらも如才ない謝外交總長

ソウエートと東京において不可侵條約の交渉するとか、日滿蘇協約の下話が出るとか色々の說が傳はつてゐるが、今までの所正式に何ら話は出てゐません、治外法權撤廢の交渉が行はれるとの說も出てゐるがそんな豫定も全然ありません、たゞこの問題は私見では裁判官に日本人を入れたゞけでは十分でなく、警察にも上海の工部局のやうに日本人の警官を入れる必要がありませう、しかし眞に日滿兩國が合作すれば自ら解決する問題で單に形式上のことではないと思ひます、尤もこの種の話も答禮の大任が濟んだ後或は出るかも知れませんが、現在のところでは全く豫定がなく、東京の滯在期間も一週間です、歸りはまた船で大連を通りますから、その時は土産話がありませう【寫眞は謝氏筆蹟】

全く私としては一生涯に最も重い仕事を仰せ付かつたわけで無上の光榮と思つてゐます

と謙辭した、一行の列車が大連驛に到着するや驛頭には八田副總裁以下、官民多數の出迎へあり、新聞寫眞班のフランツユを浴びながら自動車に乘りヤマトホテルに投宿した、一行は謝專使の外隨員として葉蓁公、勝田重直、岡野誠治の三秘書官ら十六名で、十四日うらる丸にて一路東京に赴くはず【寫眞は八田副總裁と握手する謝專使】

觸つてくれるな 艶めいた『古疵』

若き想出もチョツピリ

◇…何、ロマンスの一件? 若い頃のれいゝゝ、今度は公けの大任を帶びてゐるから勘辨して下さいと、徹頭徹尾、專使の大任を恐懼し、記者が記念にと差出した手帳に「萬幸に邂逅す」と認めて

「箱」動く

三業紛糾解決

石井大連署長は三業組合紛糾の調停に立ち十三日午後三時組合分離派の代表淡月、八千久、湖月、喜奴多の各主人及び總會決議の無效訴訟提起中の菊田鉢之助氏をも本署に招致して應接室にて會見內訌もこゝに至れば双方不利であることが諸君に判つたことゝ思ふ、當局としては分離派にも一つの檢番を認めるといふことは往年三つの檢番を三十萬圓にて合同させた主旨に反することから絕對新らしい檢番の設立は許さぬ方針である、さうなれば箱止されてゐる分離派は自滅の外なきに立ち至ると思ふからこの際自分に白紙を以つて解決を委されたいと諄々論すところあり、分離派代表者も署長の意を諒とし一任することに決定したので、石井署長は然らば目下四十一名連署の下に組合に提出してゐる清算分離の要求書を本日直に撤回されたい又菊田氏は訴訟取下げをするやう希望する、然るうへ組合へは同夜直ちに箱止を解くやう命ずる考へである、斯くしてこの問題はこれを以つて永久に水に流し從來通り手を携へて圓滿に斯界の發展に盡すやうと希望したのに對し分離派代表者も白紙を以て署長に一任した以上署長の希望通り清算分離要求書を撤回するを誓つたが一方菊田氏は關係辯護士と相談のうへ訴訟を取下げるか否を決定兩三日中に回答する旨を答へ午後五時會見を終つた、なほ石井署長は十三日午後六時田中副組合長以下幹部を招致し分離派の意向を傳へ箱止を解くやう勸告の結果組合でも分離派の釋然たる態度と石井署長の意を諒とし十三日午後七時分離派三十八名の箱止を解き、揉めに揉め拔いた美濃町騷動もこゝに急轉直下表面の解決を見るに至つたが殘る問題は菊田氏の態度と分離派三十八名のダンスホールに對する態度とでなほ前途に一脈の暗雲が漂ふてゐる

答禮使來連(十三日夜大連驛にて)

出發午後五時七十二道河方約三里三隊に到着し約二千の匪賊と交戰す、十一日拂曉二道江に向ひ前進せんとす【奉天電話】

二萬三千圓を黨中央部へ

殘金の使途なほ不明 銀行ギャング事件捜査

【東京十四日發】赤色ギャング犯人の取調べにより各種の陰謀が暴露したので警視廳で全國的に手配をなし全面的に共產黨に大彈壓を加へる方針で引續き大活動を續け續々關係者の檢擧を續けてゐるが今泉の取調によりピストル關係は三十七挺を發見し大體終了した形であるが川崎第百銀行大森支店で强奪した三萬二千餘圓の行方に就いても嚴重取調べの結果二萬三千圓は黨中央部に渡し殘る八千餘圓は今泉が處分したと自白したが八千圓の中六千餘圓の使途が全然不明で各關係者に撒播かれた疑ひがあり自動車も購入したと云はれてゐるのでこの點に就き追究中である

犯人を乘せた運轉手目星つく

【東京十四日發】赤色ギャング團犯行後之を乘せて逃走した怪自動車運轉手は犯人等の自白で大木俊雄と云ふらしいが既に本件發覺の端緖となつたピストル密輸入團の伊藤定一は六月廿日單身自動車を運轉し今泉方を訪ひピストルを購入した男が大木となつて來た事實判明同一人と見られてゐる

又一味犯行の六日朝矢張り大木と稱し芝區大東京自動車會社に大木と稱して來り自動車を借り去つたものあり且つ其の自動車は七日九段坂下に乘棄てありたる事實があつたがこの大木と酷似せる男が十三日午後逮捕され同社員の實見により自動車借り受けた男と違ひなきことを確められ之等大木と稱するは總て同一人に非らずやとの嫌疑濃厚にて警視廳は嚴重取調べ中である

田中教授は無關係

【東京十四日發】赤色ギャング事件にピストル隱匿者と見られ十三日家宅搜査檢擧された成城學園田中宣太郎教授は警視廳で取調の結果全く無關係なる事判明午後五時釋放された

銀行からシンパ四名を引致

【東京十四日發】川崎第百大森支店出納係脇坂久平を取調の結果共產黨シムパとして同行から四名の靑年を引致したが更に各會社內に手を延ばして十三日夜來シムパ關係二名を引致した今後はシムパ網の潰滅を圖る豫定である

軍用鳩が活躍殊勳

未訓練地翔破

安東守備隊の軍用鳩は臨江西北方三隊から鴨綠江流域の山岳頂上の三百キロの全く未訓練の地域を破よく任務を遂成し、その戰功を稱へられてゐる、これは特筆すべき殊勳であつてその傳書鳩の齎した報告は左の如く重要なものであつた

石家部隊は九日午前二時臨江を

力作揃ひで期待さる滿洲展

搬入締切は二十四日

搬入期日もこの二十四日に迫つたといふが滿洲美術展も漸く活氣づいて主催の滿洲文化協會では照會やら電話やらで早くも忙しがつてゐる、搬入の一番槍は大石橋の島岡竹聲氏が東洋畫を持込んだ出品者はいづれも年に一度の滿洲サロンを賑はすべく鳴りを鎭めて製作に精進してゐるが、今年は希望が叶つて大連公開後、奉天、新京にも進出し、大滿洲國祝賀の意味も含ませて公開する手順であるから一層油が乘つて全滿洲を通じて思はぬ收穫があらうと觀測されてゐる、本年は珍しく東洋畫の伊藤順三氏は少女裸像を扱つた「露草」を河野洋陽氏は六曲半双に「改造山河讃」を、石田吟松氏は「廬山と城塞」を、甲斐巳八郎氏は「奉天德勝門」を更に洋畫部では平島信氏山城竹次氏などが五十號の風景を始め、奉天、新京その他も製作中である、いづれも二十日過ぎ頃から搬入されるであらうが早くも開催を期待されてゐる

謝答禮使の日程

來る廿六日まで滯京

【東京十四日發】愈々十七日神戶入港のうらる丸で來朝する承認答禮使謝介石氏の日本滯在中の日程左の如し

▲十七日神戶入港▲十八日午前九時二十五分臨時列車で入京、同日參內大宮御所、宮家等に伺候(旅館は帝國ホテル)▲十九日公式參內、午後明治神宮、靖國神社參拜▲二十日多摩御陵參拜夜外務大臣晚餐會▲二十一日濱離宮で鴨獵、夜陸軍大臣晚餐會▲二十二日夜海軍大臣晚餐會▲二十三日を以て帝室の接待を了へ二十六日まで滯京の筈だが同使節は明大出身なので同大學ではこの間何等かの催しを行ふ筈

宇治茶行商の商業實習成功

銘茶宇治の本場山城國宇治の京都商業實習學校生徒一行六十四名は去る六日東村、今山、島崎、武藤四教諭に引率されて來連以來旅大に於いて各戶毎に「銘茶の本場宇治の玉露は如何ですか」と行商し乍ら鄕土名物宇治茶を宣傳し商業實習を兼れ、この賣上げを合せて奉天、撫順、新京の見學旅行を行つてゐたが十四日午前十時出帆うらる丸にて各生徒は多くの收穫を修めて賑やかに歸國の途についた右につき東村教諭は語る

皆非常に元氣で事變後の滿洲は特に生徒の心を打つものがあつた樣です、携えて來た玉露並びに煎茶はお蔭で旅大を行商中盡ち賣りつくしてしまひました、宇治茶の宣傳は滿洲では充分行き屆いて居りこれからは益々進出し得るものと生徒自身感じた樣です

飛んだ灸點師

旅順で擧げらる

福岡縣人會鹿兒島縣人會有志後援と看板を揭げ東京熱炎心療法研究所長高山要(四)(福岡縣人)が溫熱療法の講習を兼れ、その醫療器械を販賣してゐたが、同人は去る四日より旅順乃木町寶來館において右醫療器を販賣中、十二日正午ごろ同所二十九番地居住の二十歲になる婦人が胃腸治療のため溫熱療法を受けに赴いたので、高山は直に治療部屋に入れ用意の布團に橫臥せしめ施錠の上身體各部を檢診しつゝ危ふく落花狼藉の場面が展開されんとしたので、右婦人は大いに驚き逃げ出した、旅順警察署では直に高山を呼出し嚴重取調の結果、前記の模樣を逐一白狀したので直に收監、猥褻罪として近く一件書類と共に送局することゝなつた

照國丸流血譚

十三日午前八時頃大連港中埠頭九番バースに碇泊中の病院船照國丸の水夫大成季司(二)は同船が同日午後四時戰傷兵をのせて出帆準備の爲め麻袋積み込み作業中胡某(二)と口論を始めたが胡のため袋たゝきにあひその口惜しさに大成は出刃庖丁を持ち出し胡の背部に切りつけ長さ二十五仙、深さ骨膜に達する重傷を負はせたが胡は直に赤江病院に收容手當を加へた結果約一ヶ月にて全治の豫定であるが加害者大成は直に自首し取調べを受けたが双方示談成立和解した

育成問題解決

旅順工大主催の全滿中等學校武道大會で育成學校の出場を忌避した結果滿鐵對關東州中等學校聯盟との對立は銳角化してゐたが十三日午前十一時より大連二中に各學校長武道選手は旅順より十二日來連の關東廳體育研究所主事山本喜太氏及び滿鐵體育協會林田主事等と集會種々協議の結果育成學校を前例に依りこれが參加を認めることゝし同大會名の下に「但し育成學校を含む」の文字を記入し豫定通り十七日午後一時より開催することに圓滿解決した

故國へ還る名譽の戰傷病兵

白衣の人ないたはり小川市長別辭

北滿の戰鬪に從ひ赫々たる武勳に輝く名譽の戰傷病兵石川航空兵少佐、碓井二等軍醫以下七十五名の白衣の勇士は愈々內地へ歸還することゝなり十三日午後四時出帆照國丸にて廣島より出迎への西村一等軍醫以下看護兵に附添はれ華々しく凱旋の途についた、この日埠頭には官民有力者を始め各學校、各社會團體等多數見送り五色のテープと日の丸の旗に埋もれ傷ける勇士を慰めたが、出帆に先立ち小川市長は市民を代表して白衣の勇士の功を讃へ凱旋の喜びを祝しその病痍の速かに快癒せんことを祈つた、斯くして萬歲と歡呼の聲に送られつゝ傷ける勇士は市民の熱誠に滿足して一路船の旅についた【寫眞は照國丸出帆】

滿鐵附屬地の匪賊防禦設備

滿鐵地方部は匪賊出沒のおそれある各附屬地市街地に匪賊防禦用として約五萬五千圓の經費を以て鐵條綱その他の設備を行つてゐたが最近全部の完成を見たので取敢ず今回はこれを以て防禦設備を打切ることゝなつた

溺死體浮ぶ

去る七日早曉大連西滙口に於て福昌華工苦力滿載の艀舩顚覆し一名溺死四名行方不明となつたがその後行方搜査中の處十三日午前八時頃甘井子に於いて苦力一名の溺死體漂着、同じく午後三時頃濱町海岸にて二名の溺死體を發見大連水上署に於いて出張檢視の結果前記行方不明中の苦力と判明したがなほ一名の死體は發見されない

神風義塾歸國

三重縣神風義塾旅行團一行十二名は楠森四郎塾教師に引率されて來滿奉天、新京、ハルピン等各地を訪ひ軍隊慰問を兼れて巡遊中であつたが十四日午前十時出帆うらる丸にて歸國の途についた

碇玉舟畫伯來連

全國繪行脚を企てゝ以來各地諸名士の後援を得て內地は勿論北海道樺太、朝鮮の旅行を終へて今回滿洲に入らんとして來連した碇玉舟氏は虎畫を最も得意とし花鳥、山水、人物をも描かざるはなく、この度は多數の作品を持參し濱速ホテルに投宿數日滯在の由【寫眞は玉舟氏】

明大勝つ

【東京十三日發】立明決勝戰は午後二時二十八分立敎先攻にて開始結局五A對四で明大勝つ閉戰四時半

奬學會運動會

大連奬學會では來る十七日午前九時より大連運動場に於て同會々員の第五回陸上競技を開催する

献金

相生由太郎氏は亡父追善供養として貧民救濟基金に五百圓献金方を大連署へ申出た

安樂椅子

今次北滿事變勃發當時の關東軍參謀長三宅光治中將は永い間關東軍にゐただけに馴染深いが、今度は運輸部長として出店の視察とやらに十三日夕刻天津から濟通丸で來連した、將軍はいつも乍ら氣さくな腰の低い本當にいゝおぢいさんであるが濟通丸が旅順沖を通つた時は流石に懷しさがこみ上げて來たさうである。

……◇……

三宅將軍は關東軍參謀長から參謀本部附に轉じ東京で家を見付けてやつとこさと店を開くとすぐ運輸部長に轉任、大急ぎで店を閉ぢて廣島市宇品に轉居しなければならず宮仕への何とかをしみ〴〵味はつたさうである。

……◇……

將軍曰く「家の中は何がどこにあるやらさつぱり判らないよ、コーヒ茶碗はあつても皿は見當らず、いつその事出さぬことにした、內地へ歸つても一生懸命御奉公してゐるが、滿洲では鐵砲たまが飛んで來るがその方が多いのに往生した、この夏は蚊が未だましだよ」とは將軍らしい述懷、賑かに啣かれた。

福券明暗

明 大連競馬の三等一萬圓の當籤者長春日本橋通六八番地古谷一方鈴山卯一郎君は貧民救濟基金として金二百圓を十三日大連署を通じ献金した

暗 市內西通三五番地電話金融業正直洋行こと中村德三次郎(三)は去る九日から發賣の安東記念大競馬の福券二回分を連鎖番號と稱し平石留吉外百餘名に對し二重發賣を爲し不當利得を行つてゐたが大連署藤吉高等係に探知され、十三日午後四時同署司法係に拘引取調の結果詐欺嫌疑濃厚となり六時藤井司法主任は拘留狀を執行、身柄を留置された

文藝欄

加藤武雄氏が講談俱樂部十一月號に發表の讀切大長篇『大東京の屋根の下』は、母を探す美しき田舍娘を主人公とし、魔の大東京の姿を赤裸々に描いた名篇で、文壇讀書界でも大評判である。

外人が怪撮影

【東京十四日發】外人スパイ事件頻々として傳へらる折柄去る二十八日某國會社事務エル、ピーガストンなるものは商用と稱し關釜連絡船に乘りたる際關門要塞、釜山、京城等の軍事關係地主要建築物を撮影した嫌疑があるので警視廳外事課にて秘密裡に內偵中である

曙の鐘 (437)

倉田潮　河野想多畫

曙の鐘（六）

通夜の夜更けになつてから平津が自動車で乘りつけて來た。彼はあけみの自殺したことを告げようと淺駒の小舍に行つて、そこでマリアの死を聞き、驚いてこゝへ馳せつけたのだつた。

一座の人はあけみの自殺を聞くと愕然と驚いた。が、誰もマリアが生前人の惡口を云つたことがないことや、惡人を讃美してゐたことを思ひ出して、あけみの薄幸のやうな生涯を批難しなかつた。平津はマリアの靈前に合掌してやゝ暫くめいもくしてゐたが、座にもどると一同に向つて、

「通夜の席で自分のことを申すのはおかしいですが、時が迫つてゐるので押て申上げます」と云つた

「私もこれでいよく自分の役目を果したつもりですし、それに昔の仲間からしばく督促をうけてゐるので、今夜を最後に皆さんと御別れして、また新しく海上生活をしたいと思つてをります。私は幾度も逢つてはゐませんが、マリアさんの言葉の中には今もなほ私の頭の中に忘れないで殘つてゐる名言があり、それが時々私の心を鞭うち勇氣づけてくれるのです。明日から取りかゝる私の海上の新生活も、その言葉に影響されることが多いだらうと、今も靈前に感謝の意を捧げたつもりです。それから此處へ來る前に辯護士のもとへ行つて、お夏より子芳川なぞが何のくらゐの刑をうけるものかと聞いて見ましたが、その云ふところによると何れも不能犯なので、それほど長いこともない、特に獄内の務めがよくて改悛の心が見えれば數年にして歸されると云ふことでした。彼等がもし無事に獄を出たなら、私は留守ですからマリアさんの生前の教を皆さんから傳へて新生涯に這入るやうに勸めて下さるやう御願ひ致します」

「承知しました」

と淺駒が答へると、よもぎは膝をすゝめて

「平津さんまでマリアの言葉に感じてゐるのですか。私達も今も話し合つたことですが御同様マリアの教へに深く動かされてゐるのです」

「特に私達は」と春木がたえ子をかへり見て云つた「私達は將來マリアさんの教へを金科玉條として世の中を送つて行き度いと思つてゐます。

「聖書の中に」とたえ子が言葉を繼いで「一粒の麥もし地におちて死なずば唯一つにてあらん、もし死なば多くの實を結ぶべし、と云ふ句があります。マリアさんは死んで多くの實を結びました。こゝにゐる人總てがマリアさんの主張に感じて甦生をちかつたのですから、マリアさんの實から生じた芽だと云つて差つかへないでせう」

「特に春木さんとたえ子とはマリアの實から生じた美しい雄花と雌花ですわ」

さう云つてよもぎは二人に握手させた。二人はその手を暫くの間解かなかつた。よもぎは言葉をついで、

「皆さん。私達はほんとにマリアの實から生れた新しい芽のつもりになつて、改めて人生の第一歩を踏み出しませう」

「さうです」

と一同はそれに應じた。その時夜はほのぼのと明けかゝつて、曙の鐘は一室に集つた甦生の人々の門出を祝福するかの如く、通夜の間を追つていん〳〵と鳴り響いた。

一同は首を垂れて、黎明の空氣に波紋を織つて廣がつて來る其の鐘の音に聞き惚れるのであつた。（をはり）

第十回 滿日特選碁戰

互先 先番 初段 宮下秀洋　初段 坂口常治郎

●六一ツの六　○六二カの十
●六三ワの十　○六四タの九
●六五ルの十　○六六ヨの九
●六七ワの九　○六八ヘの四
●六九ヘの五　○七〇リの四
●七一トの四　○七二リの三
●七三ヌの五　○七四リの五
●七五ヌの六　○七六リの六
●七七ヌの七　○七八リの九
●七九リの七　○八〇チの七

對局者の感想

黑七一の手は單に七三に打つて居る方本手だつたかも知れません

—【4】—

新刊紹介

▲農業の滿洲（十月號）關東州内に於ける支那人農業（柵橋民）北滿に於ける肉用鳥及鷄卵集散狀況（滿鐵哈爾濱事務所）在滿邦人農家の經營狀態、邦農移民に對する農業經營の指標（岡川榮藏）滿洲移民の水稻は母國の產業を脅威するが（黑澤謙吾）日本蠶業の將來と滿洲の養蠶（湯川秀夫）滿洲井戸、崑麻子油業の研究（福永端穗）自給肥料分析表、滿洲農作物作況（滿鐵農務課）農業低利資金融通請願書、連載講座は滿洲の果樹害虫（近藤鐵馬）滿洲特用作物の栽培―亞麻の巻―（稻留帶刀）緬羊の飼育（伏見寬）その他編輯部にかゝる滿洲主要市場に於ける蔬菜、果實副業品の價格表がある（定價三十五錢、發行所大連市紀伊町八十五番地滿洲農事協會）

けふの放送

大連 JQAK 十月十五日

▲午前六時ラヂオ體操
▲午後七時ニュース
（七時十分子供時間）尋常一、二、三年生程度
▲童話「バタになつた虎の話」香川岩雄
▲獨逸語講座「テキスト第六十課」大連語學校講師荻榮
▲筑前琵琶「加茂の宵月」桂小五郎法沈山上地旭靜
▲萬歲 川田梅丸、囃子連中
▲職業紹介事項
▲ニュース
▲氣象通報

東京 JOAK

十月十五日午後六時三十分
▲座談會（名古屋より）滿洲の科學を語る（日本側出席者）日本學術協會々員滿洲大學教授醫學博士久野寧、日本學術協會々員宇都宮高等農林學校講師農學博士山崎百治、日本學術協會々員滿鐵地質調査所技師ドクトル新帶國太郎、日本學術協會々員前滿洲（奉天）教育專門學校教授理學博士大賀一郎（滿洲側出席者）滿洲人科學者四名▲獨唱と合唱（七時）（一）獨唱（ロバートフランツ四十年祭）イ、憫む我胸、明本京靜譯詞ロ、清きラインの流れ、鹽入龜輔譯詞ハ、夜曲、ジンニン譯詞ニ、君よ再び明本京靜譯詞ホ、秋、鹽入龜輔譯詞（二）合唱「夢にも君」「輝く祖國」明本京靜譯詞、獨唱明本京靜、合唱ポリヒムニア、コール、ピアノ伴奏並指揮小松清▲詩吟（七時三十五分）玉木一雄（一）君が代（二）正氣歌、海軍中佐廣瀨武雄作（三）弘齋木戸公允作▲連續講談（七時五十分）「關根彌次郎第四席」田邊南龍